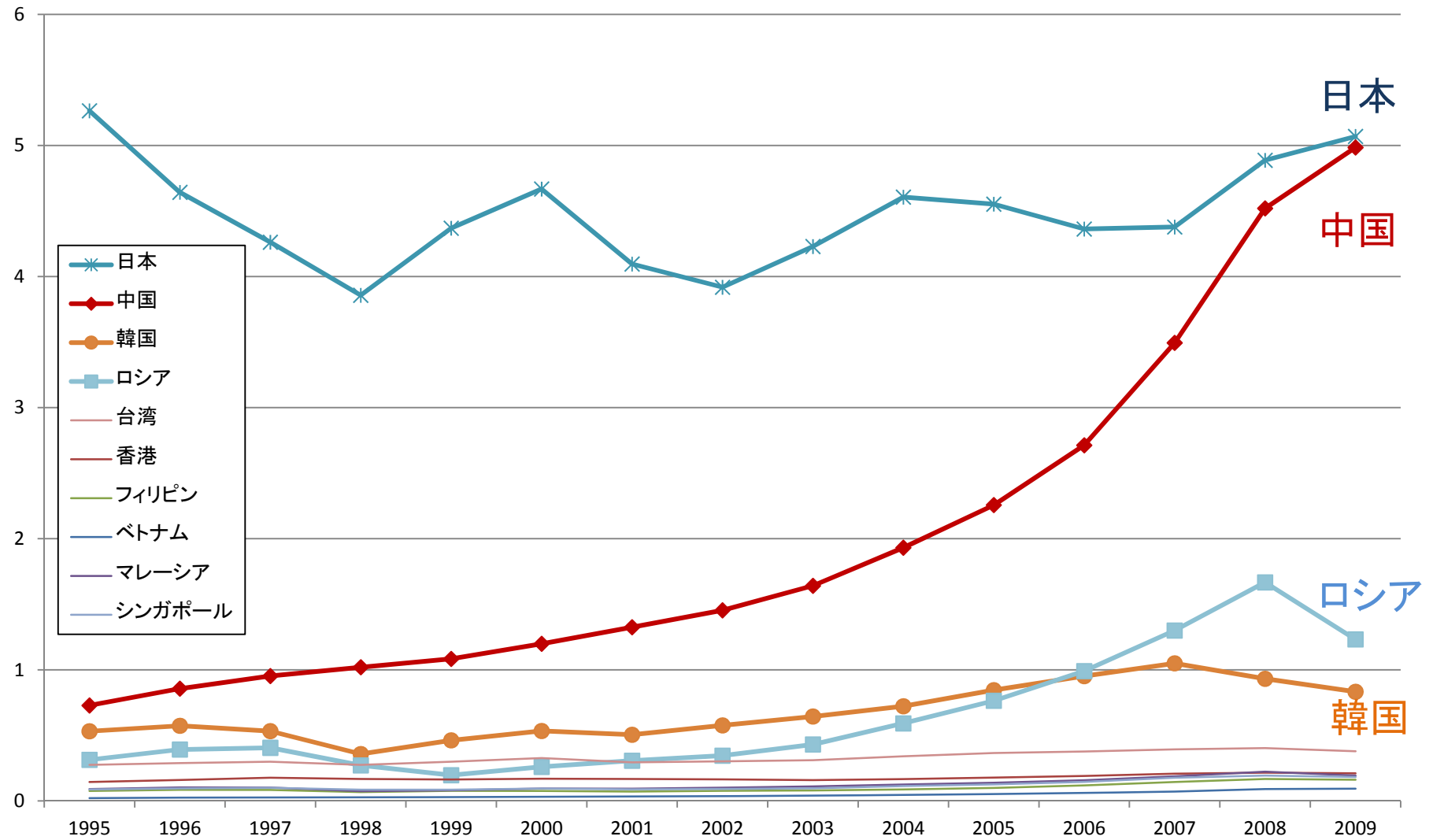


# 日本海側港湾を取り巻く状況

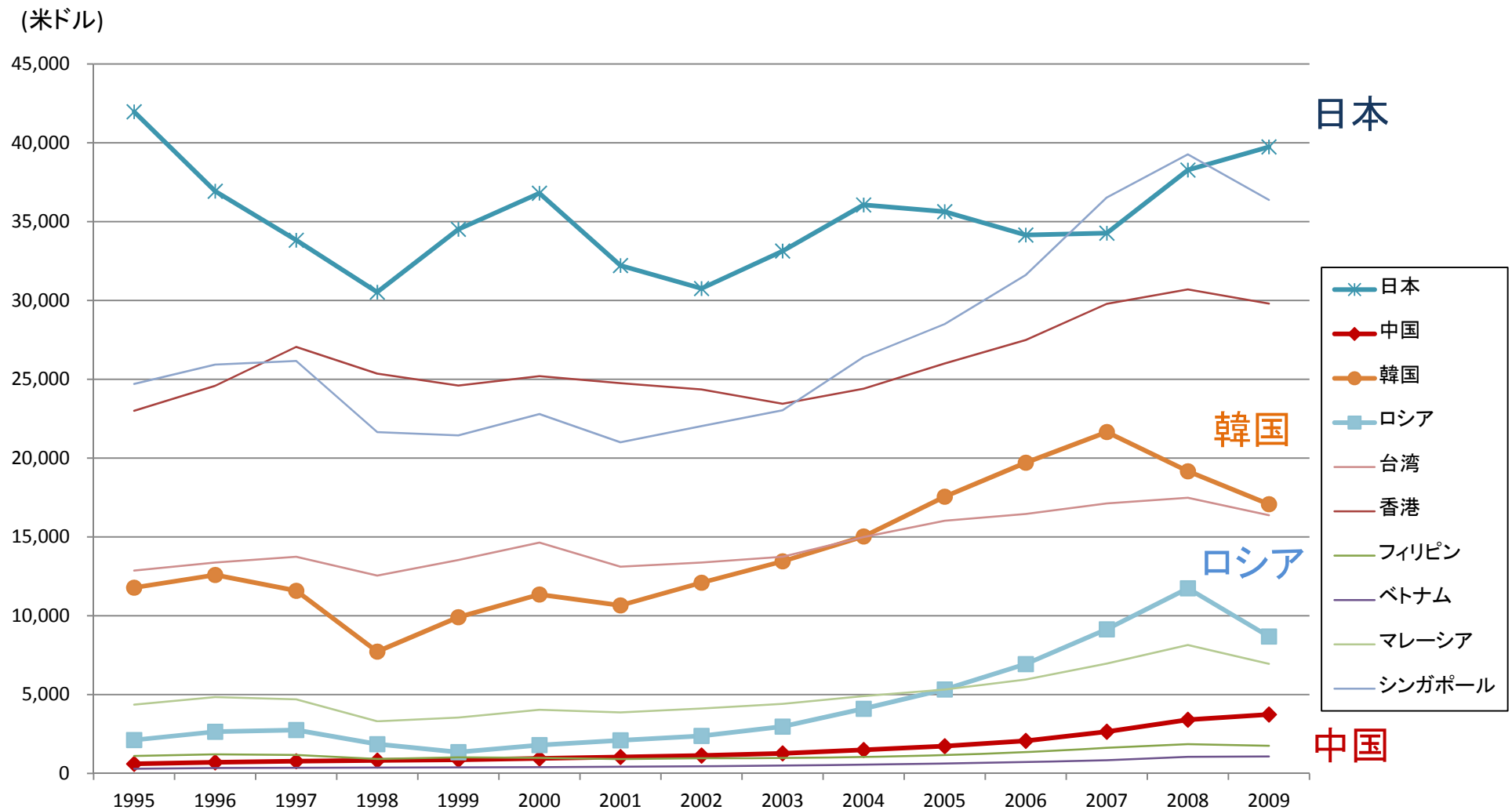
# 対岸諸国の発展状況

# アジア諸国のGDP(名目)の推移

(兆米ドル)



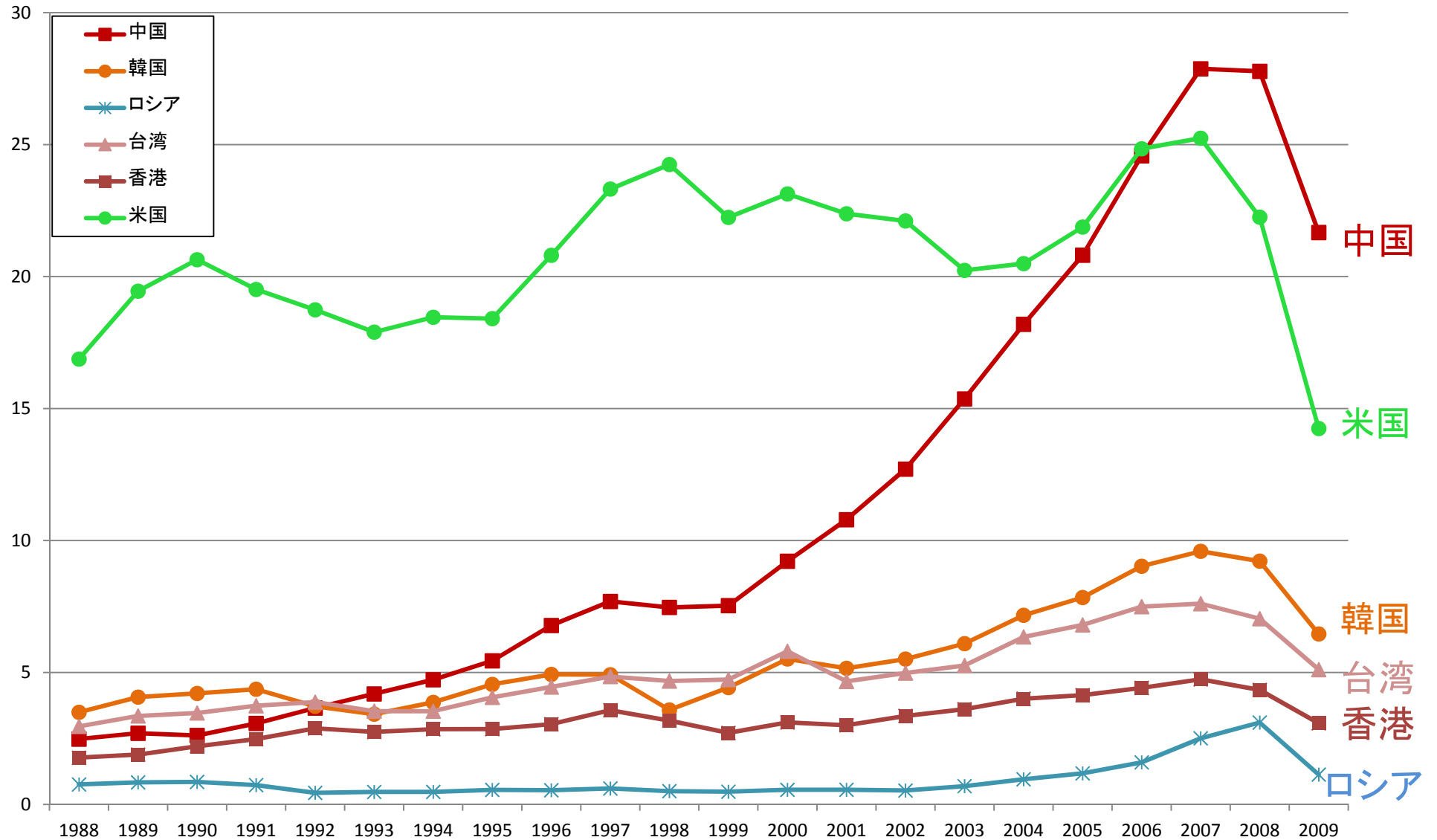
# アジア諸国の一人当たりGDP(名目)の推移



※以下のデータはIMFによる推計  
 日本: 2006~2009  
 韓国: 2009  
 フィリピン: 2008、2009  
 ベトナム: 2008、2009

# 我が国と海外諸国との貿易額の推移

(兆円)

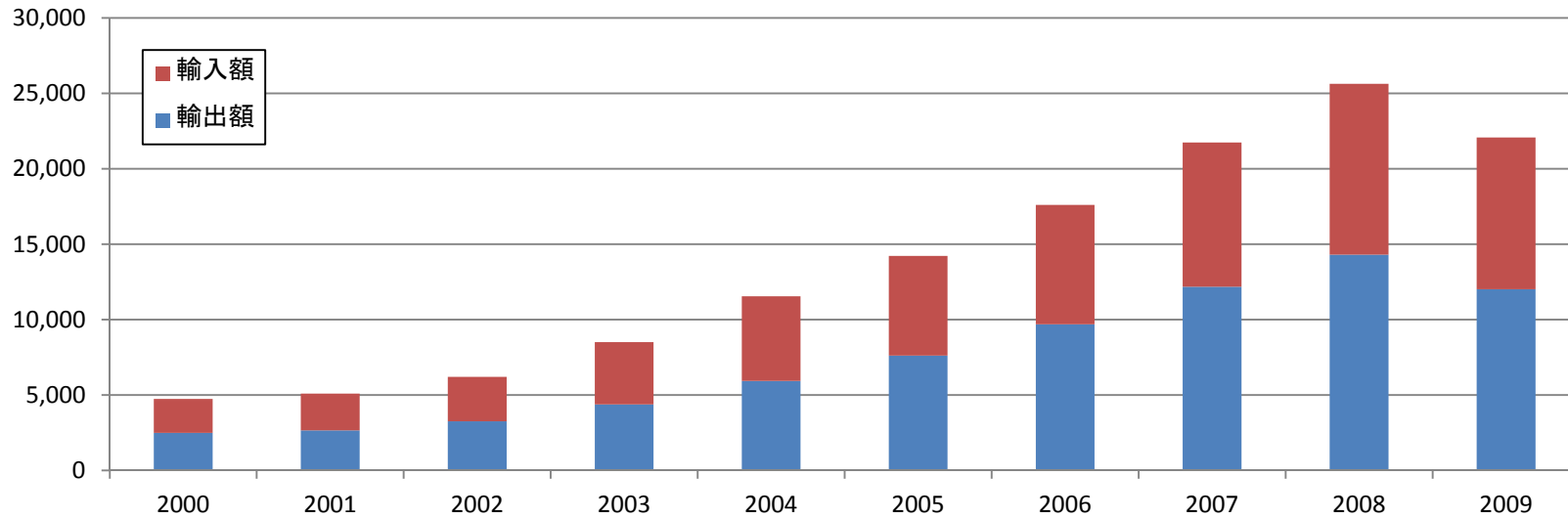


# 対岸諸国の基礎情報

# 中国の基礎情報①

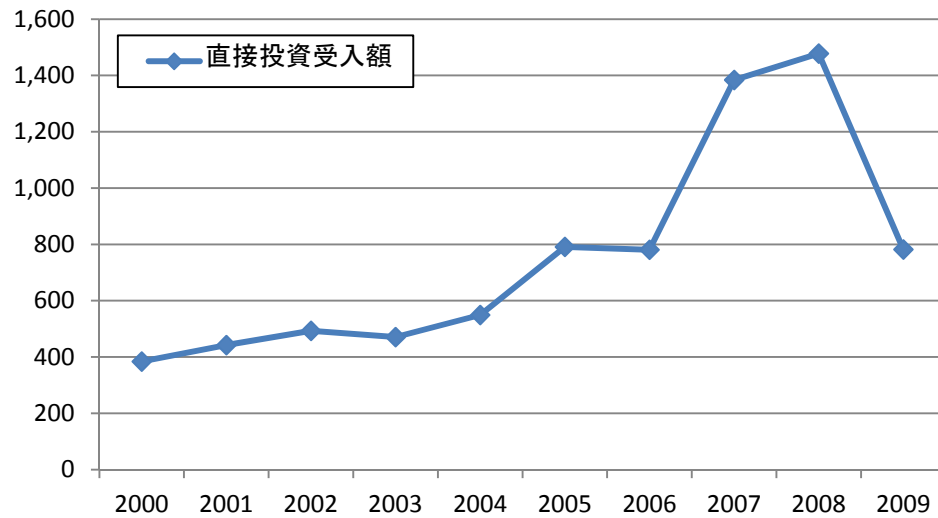
(億ドル)

貿易額の推移



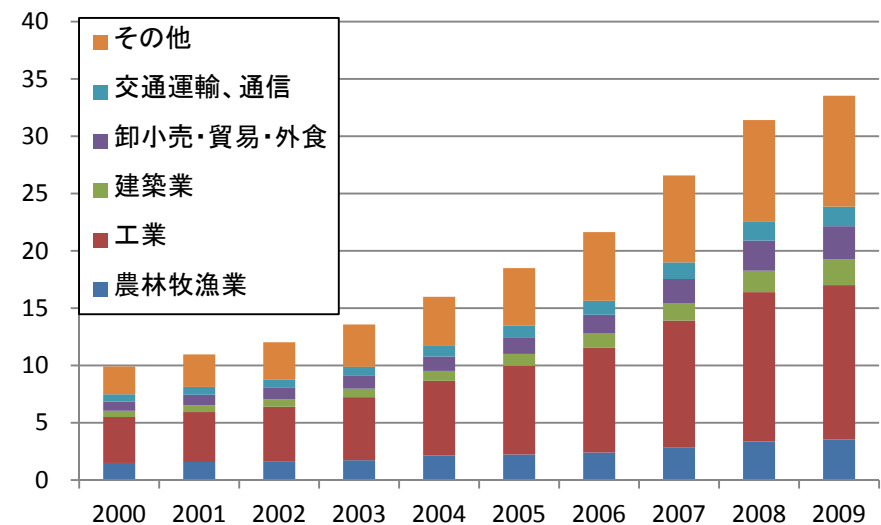
(億ドル)

直接投資受入額の推移



(兆元)

GDP産業別構成(名目)の推移



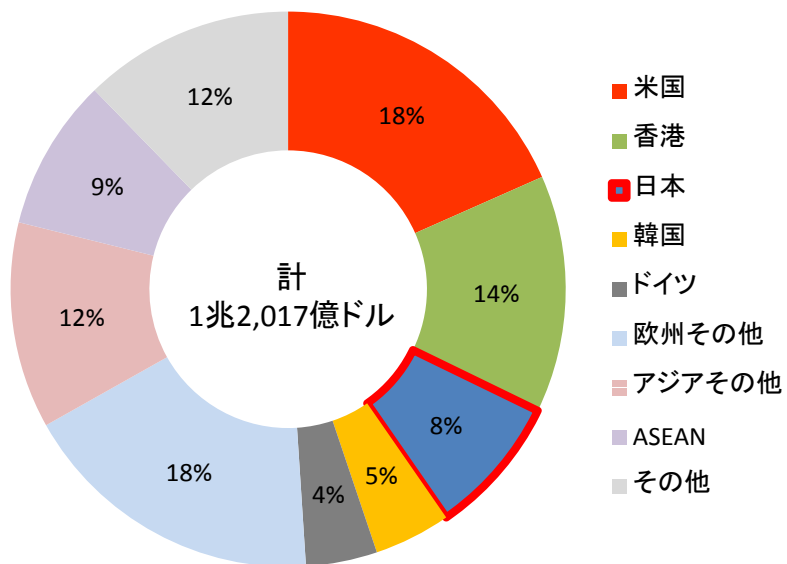
※国際収支ベース

1元=12.54円  
(2010.11.17現在)

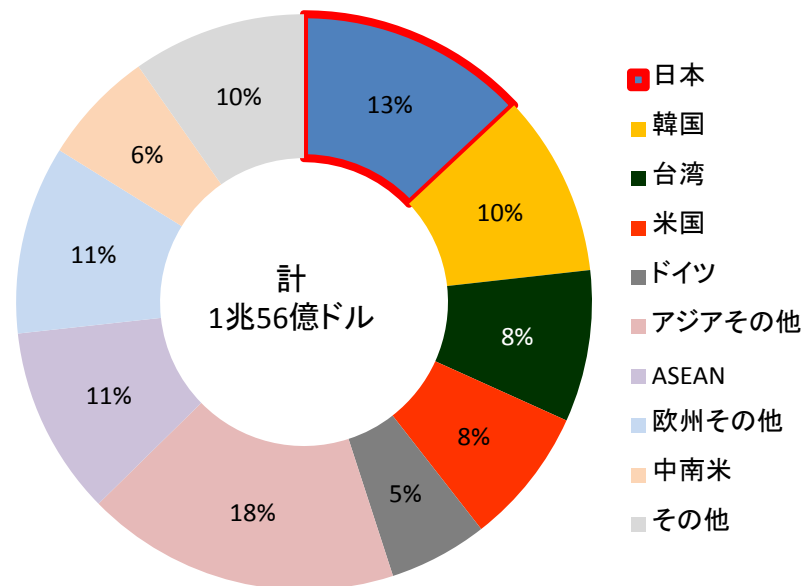
出典: ジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(J-FILE)より国土交通省港湾局作成

# 中国の基礎情報②

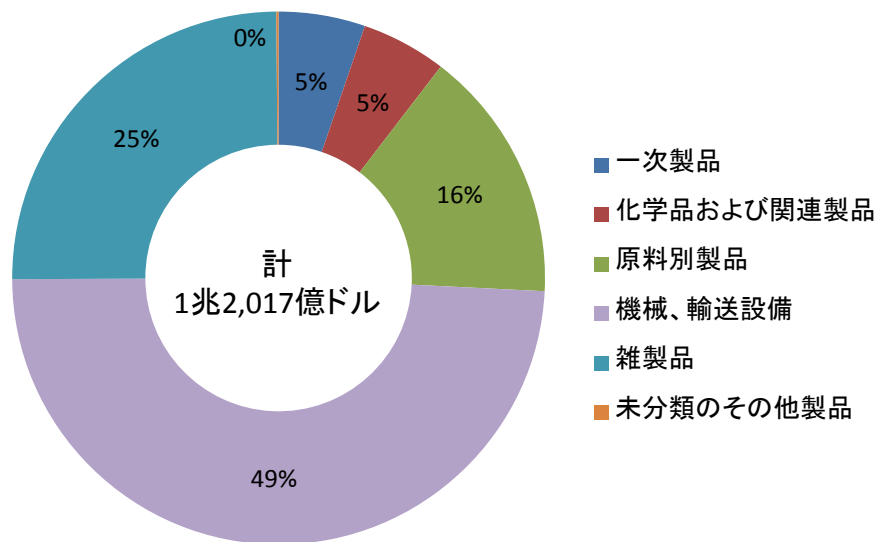
輸出額の相手国・地域別割合(2009年)



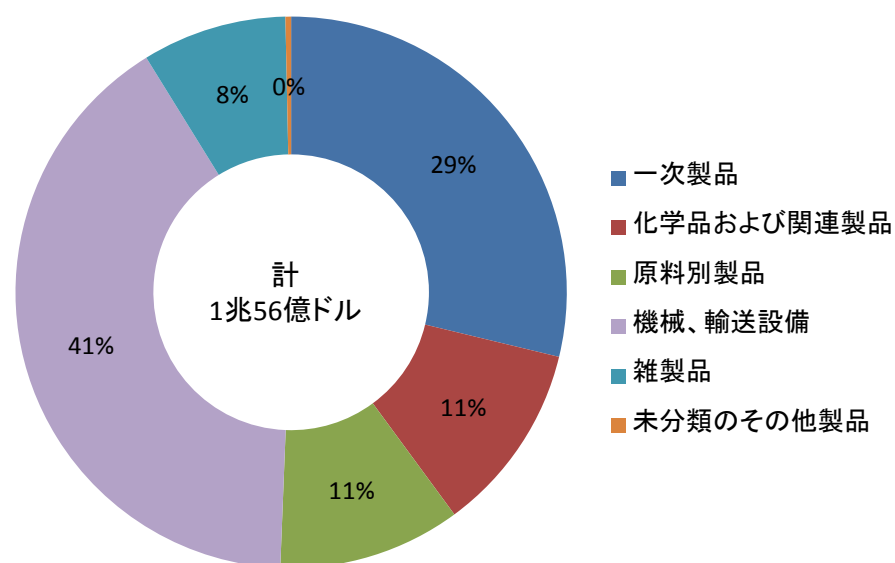
輸入額の相手国・地域別の割合(2009年)



輸出額の品目別割合(2009年)



輸入額の品目別割合(2009年)

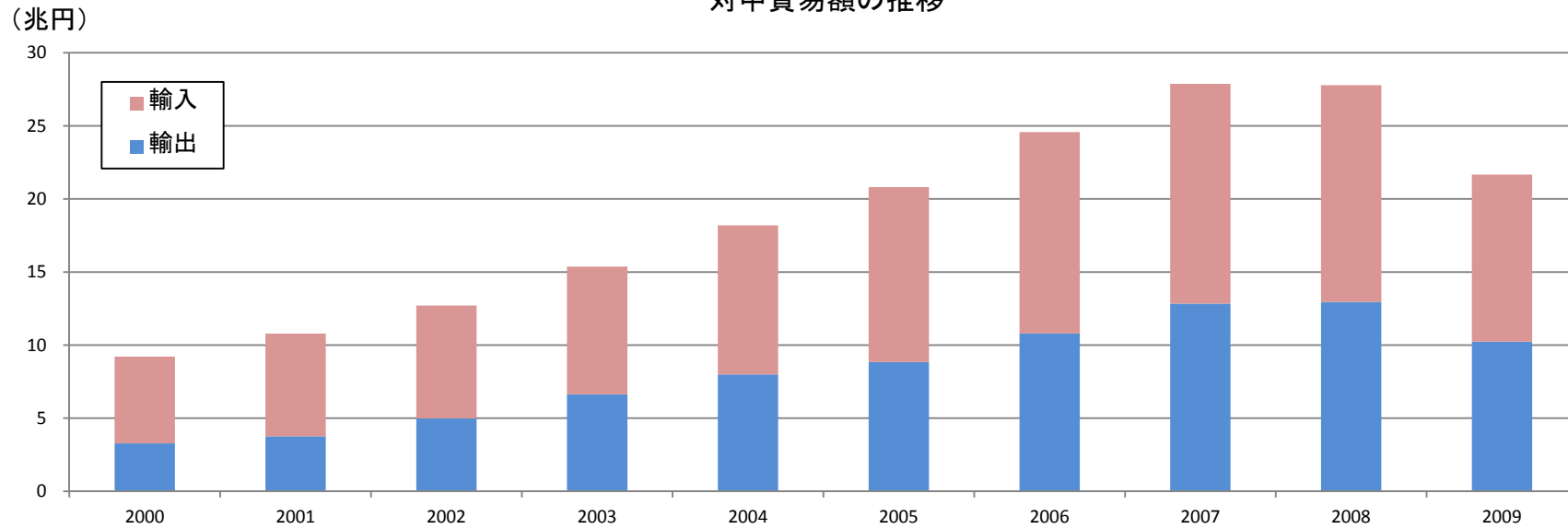


※通関ベース

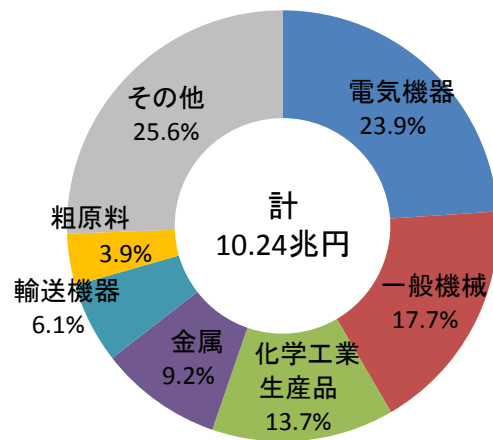


# 我が国における対中貿易の状況

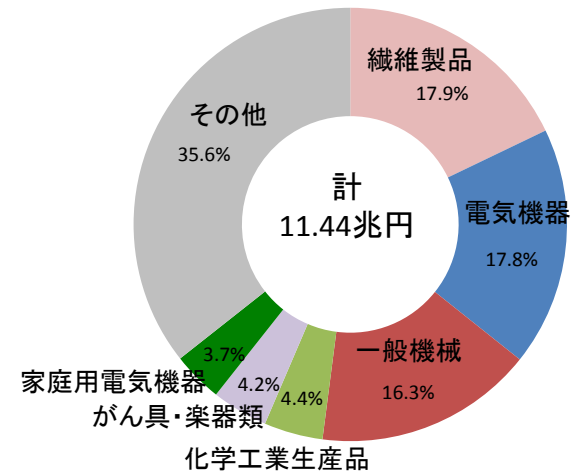
対中貿易額の推移



輸出額の品目別割合(2009年)



輸入額の品目別割合(2009年)

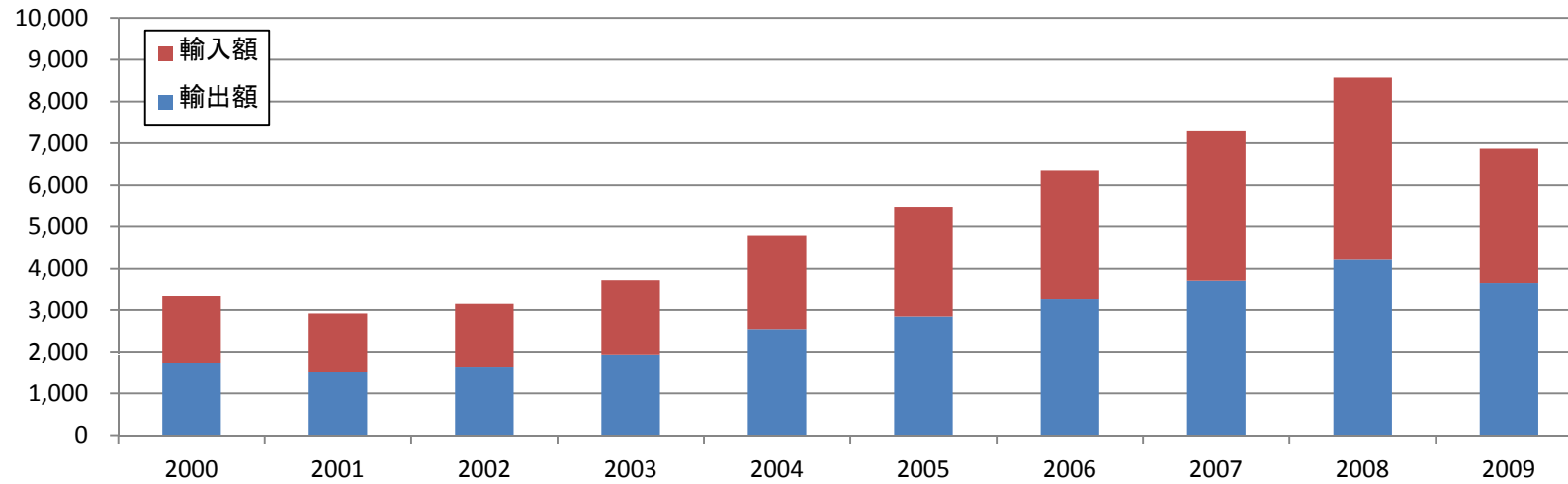


出典: 財務省「貿易統計」より国土交通省港湾局作成

# 韓国の基本情報①

## 貿易額の推移

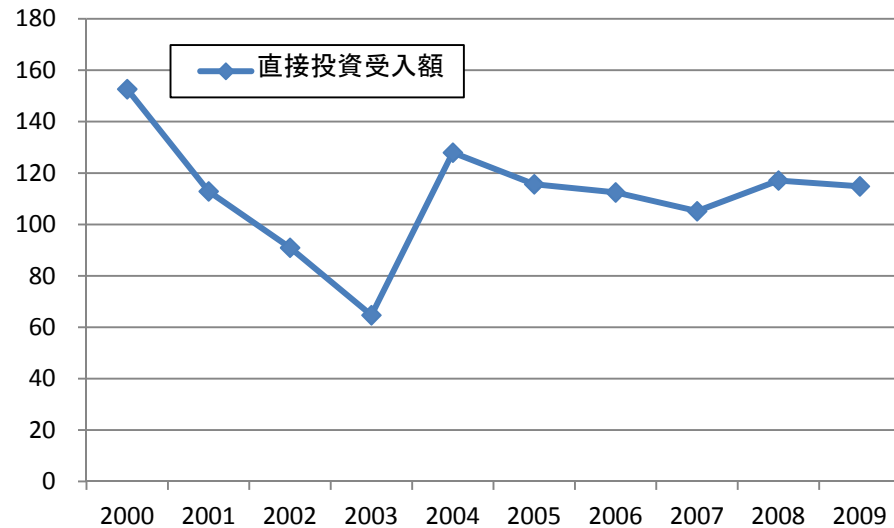
(億ドル)



※通関ベース

(億ドル)

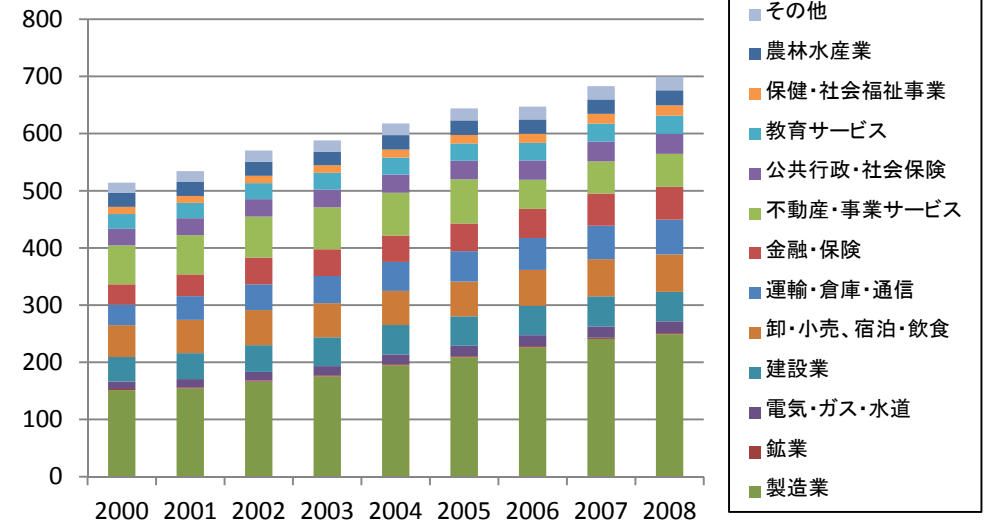
## 直接投資受入額の推移



※申告ベース

(兆ウォン)

## GDP産業別構成(名目)の推移



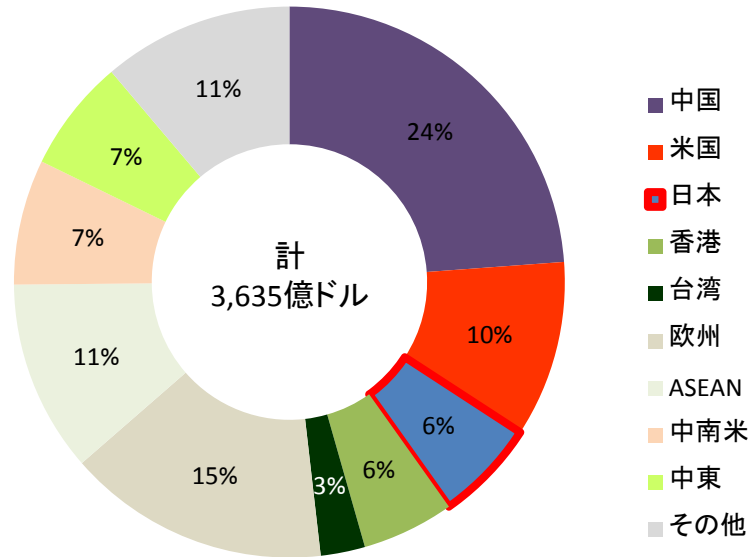
※純生産物税(生産物税-補助金)は含んでいない。  
 ※基準年: 2000年価格

1ウォン=0.07円  
 (2010.11.17現在)

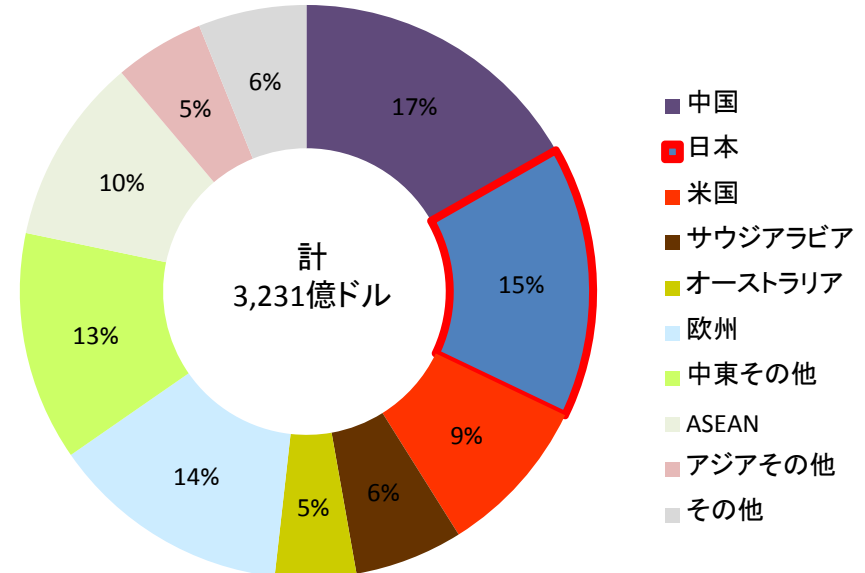
出典: GDP産業別構成: (財)環日本海経済研究所「北東アジアの基礎経済統計」より国土交通省港湾局作成  
 その他: ジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(J-FILE)より国土交通省港湾局作成

# 韓国の基本情報②

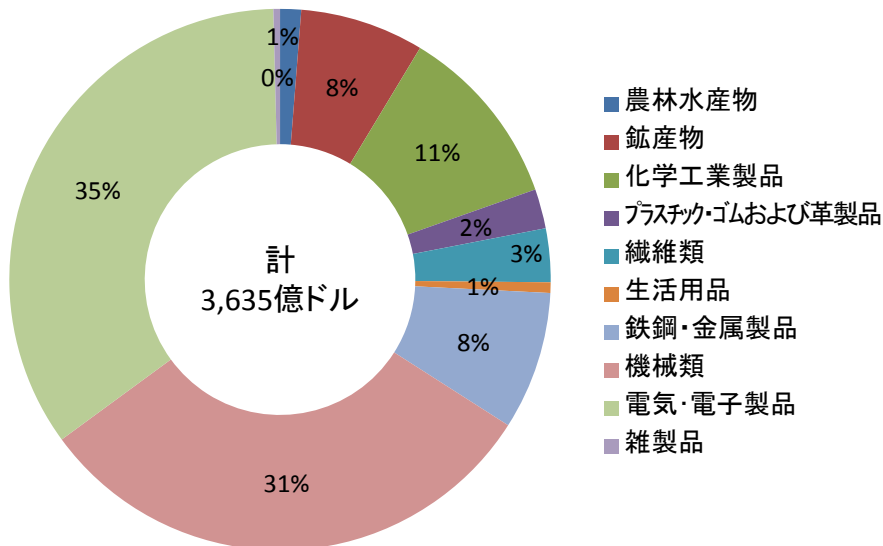
輸出額の相手国・地域別割合(2009年)



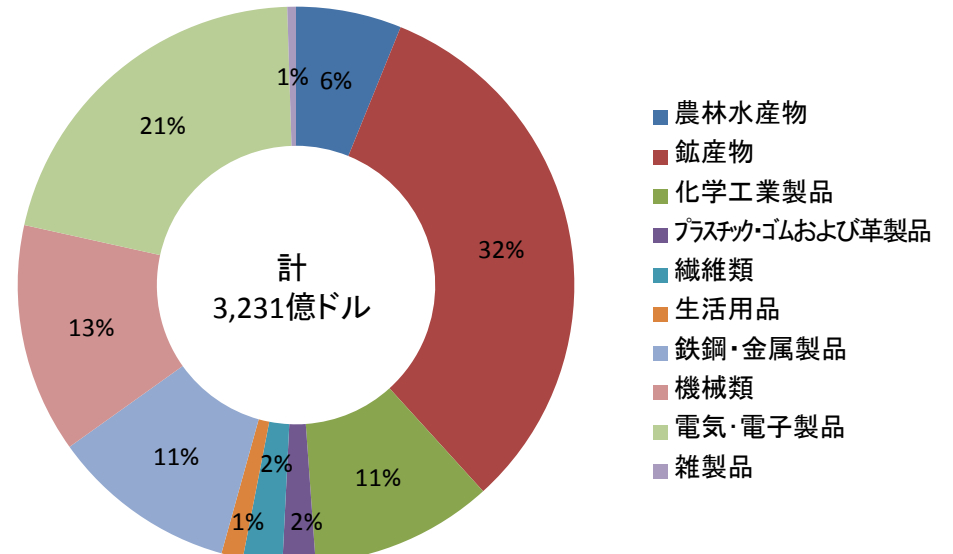
輸入額の国・地域別割合(2009年)



輸出額の品目別割合(2009年)

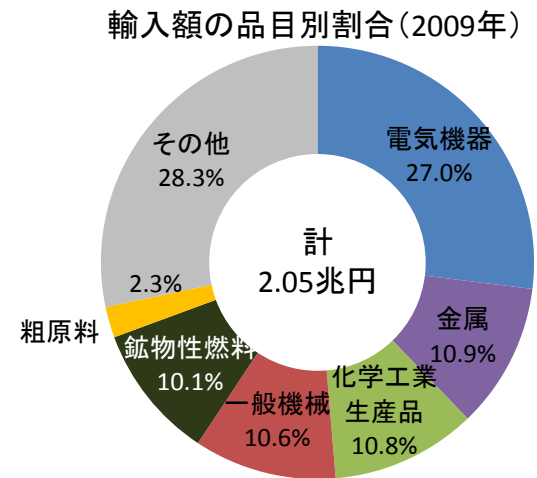
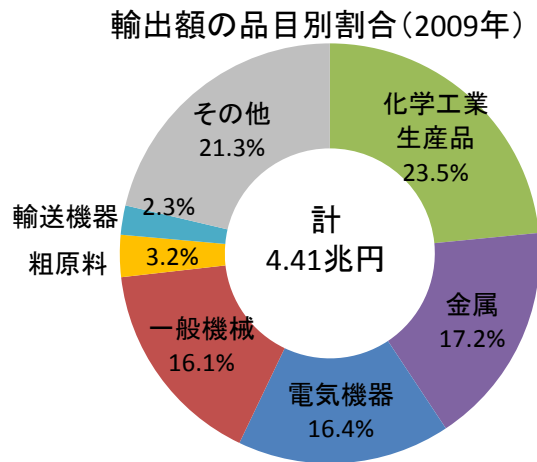
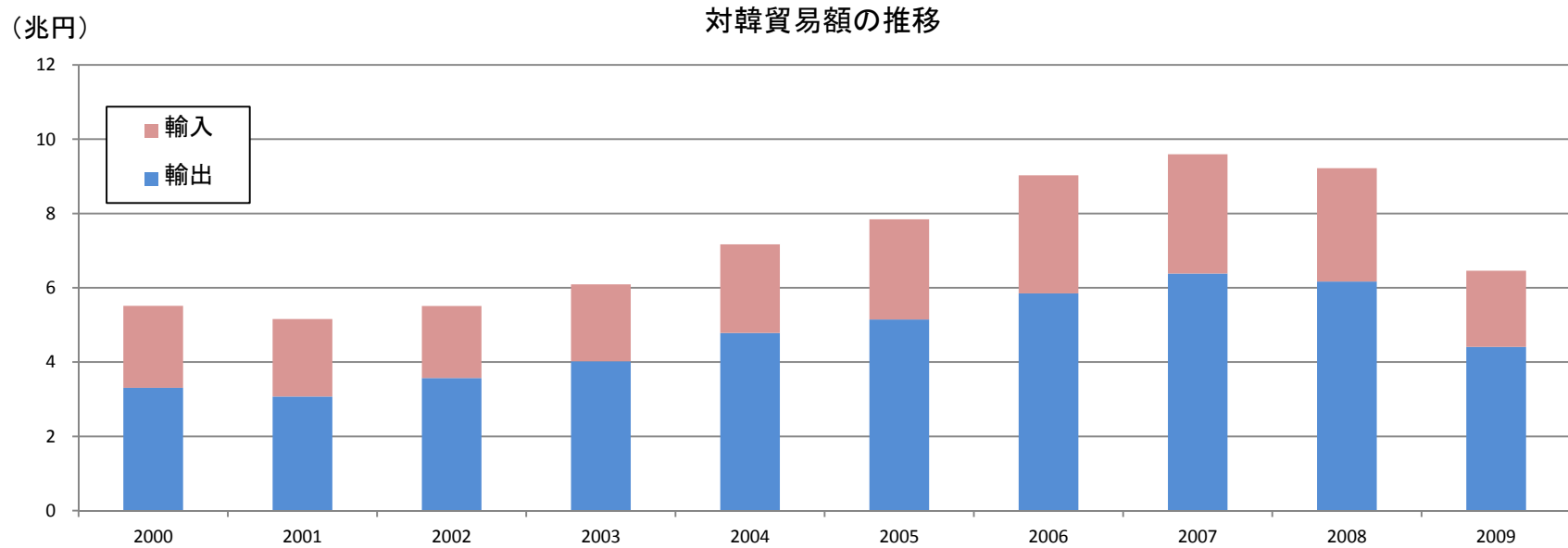


輸入額の品目別割合(2009年)



※通関ベース

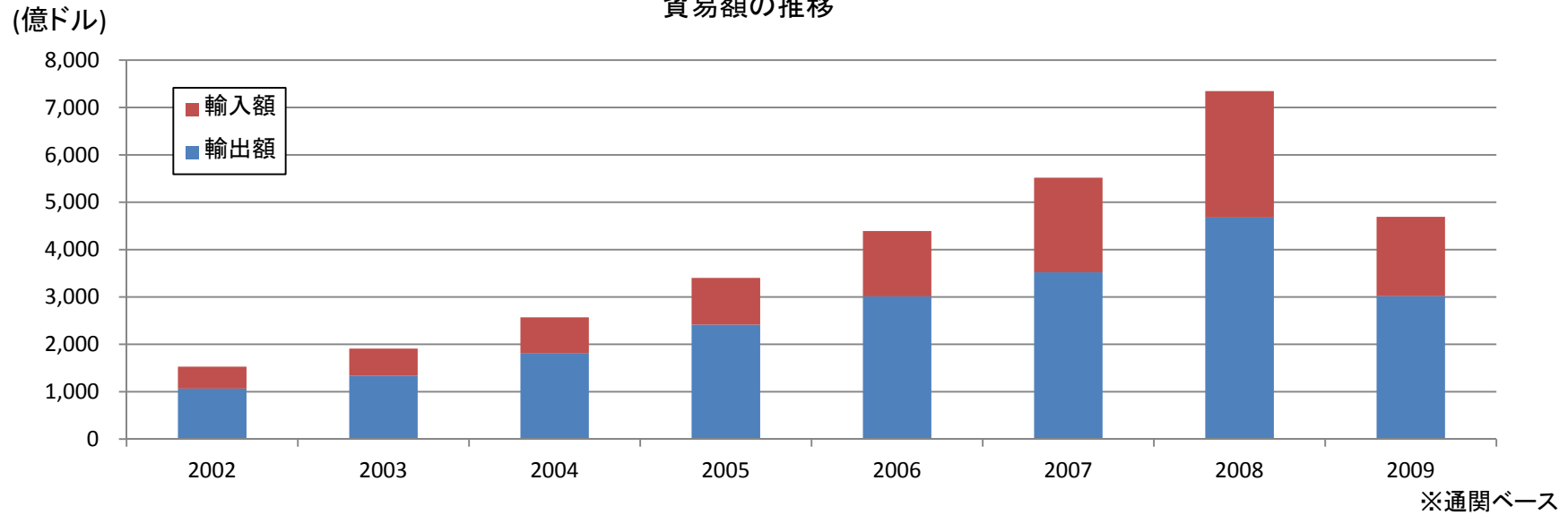
# 我が国における対韓貿易の状況



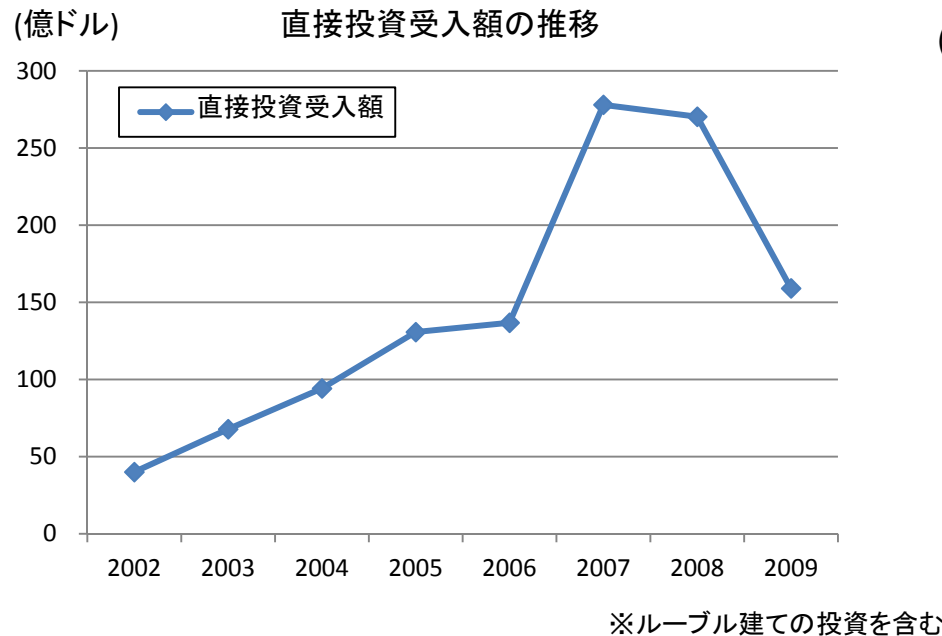
出典: 財務省「貿易統計」より国土交通省港湾局作成

# ロシアの基礎情報①

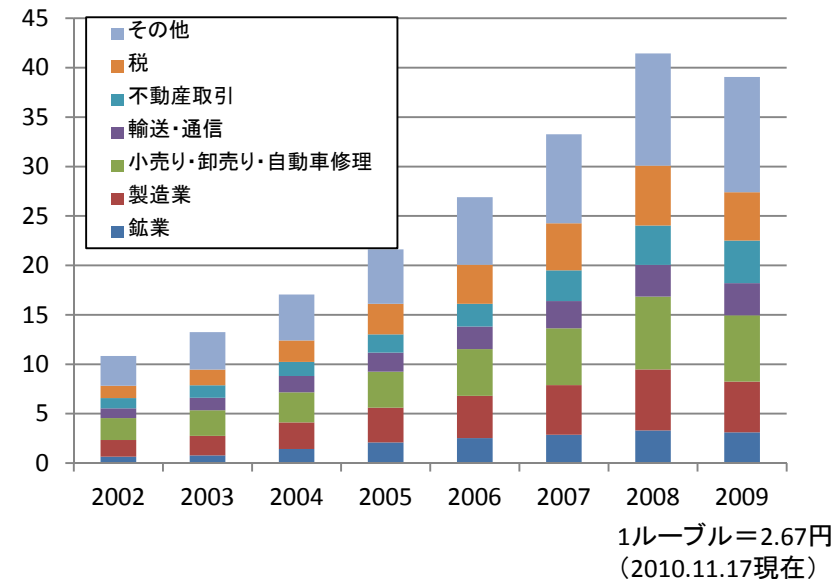
貿易額の推移



直接投資受入額の推移

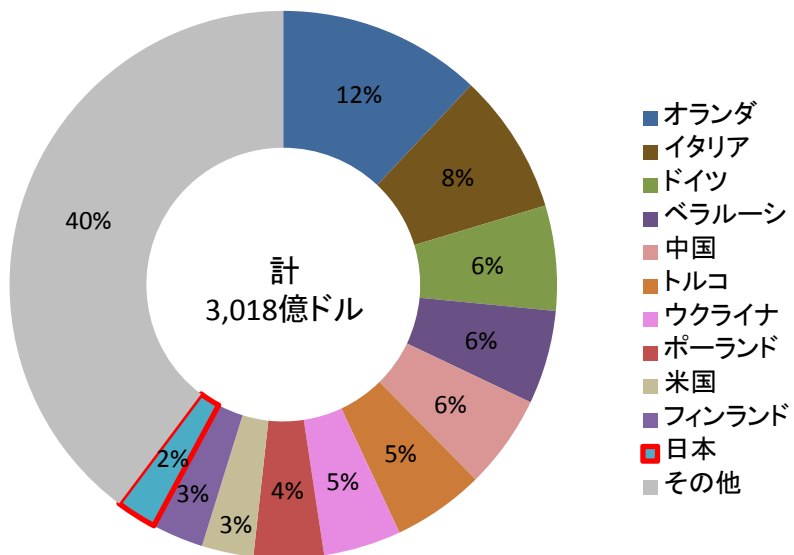


GDP産業別構成(名目)の推移

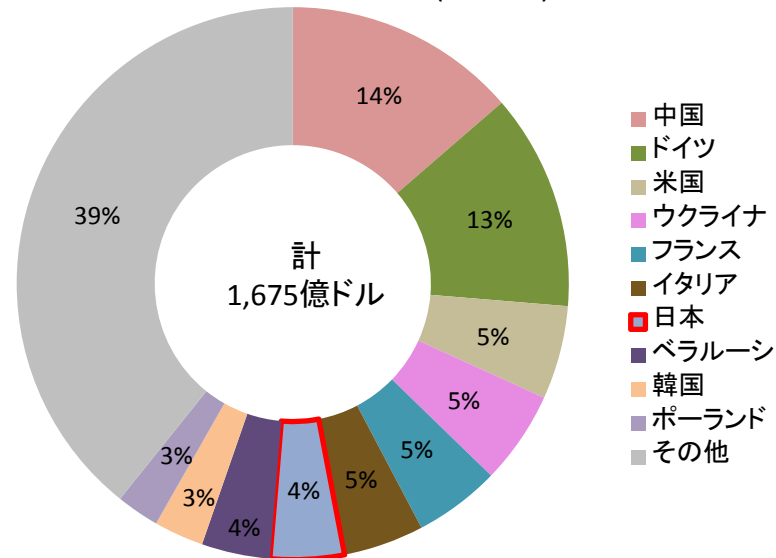


# ロシアの基礎情報②

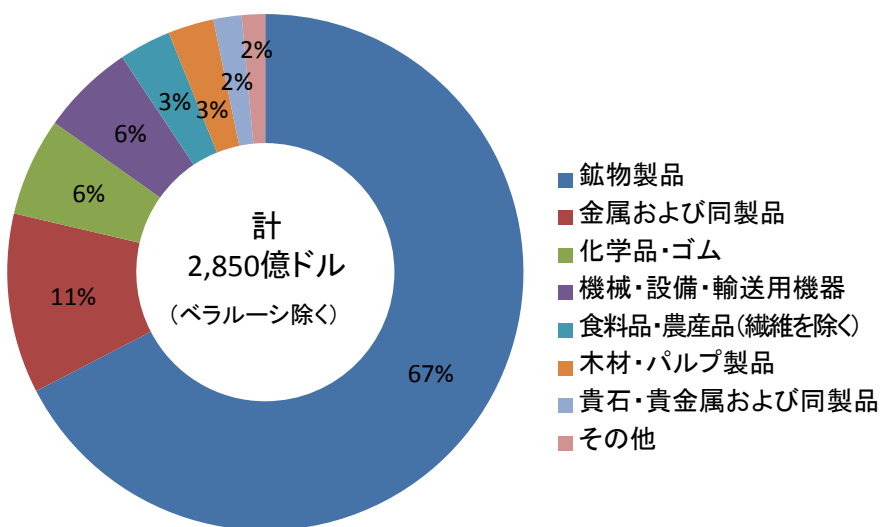
輸出額の相手国・地域別割合(2009年)



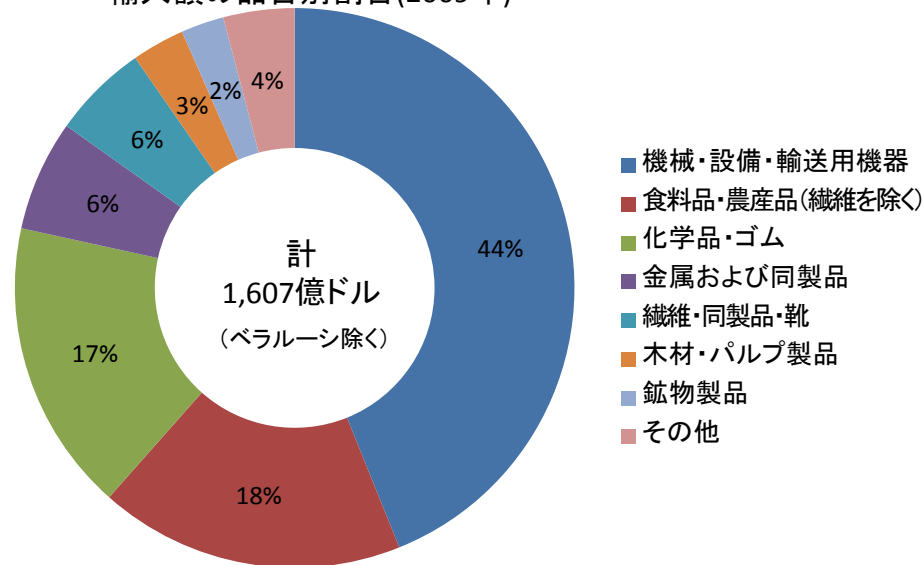
輸入額の相手国・地域別割合(2009年)



輸出額の品目別割合(2009年)



輸入額の品目別割合(2009年)

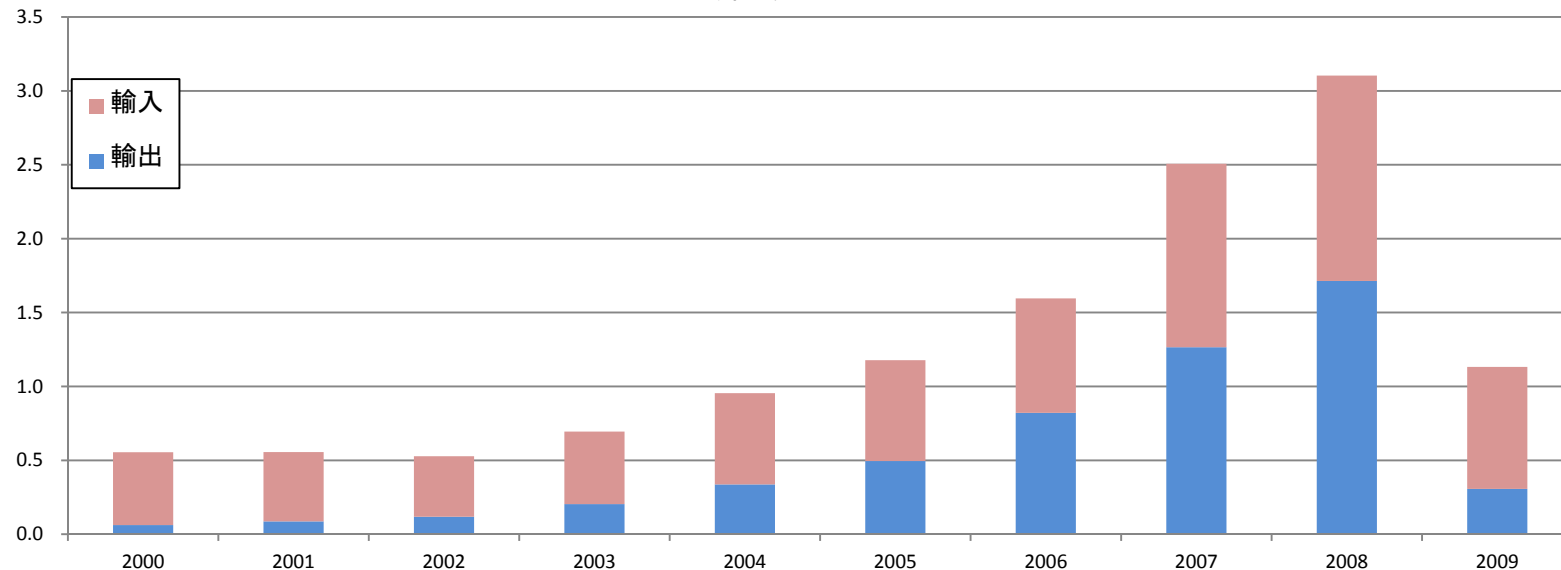


※通関ベース

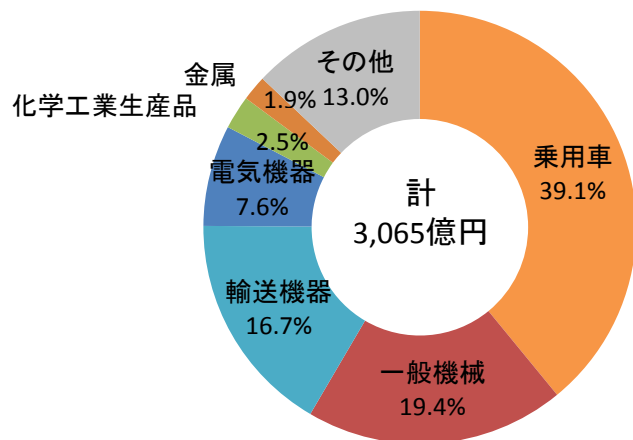
# 我が国における対ロシア貿易の状況

(兆円)

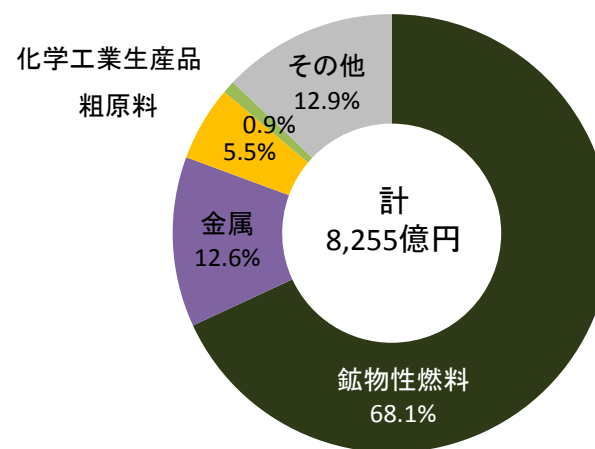
対露貿易額の推移



輸出額の品目別割合 (2009年)



輸入額の品目別割合 (2009年)

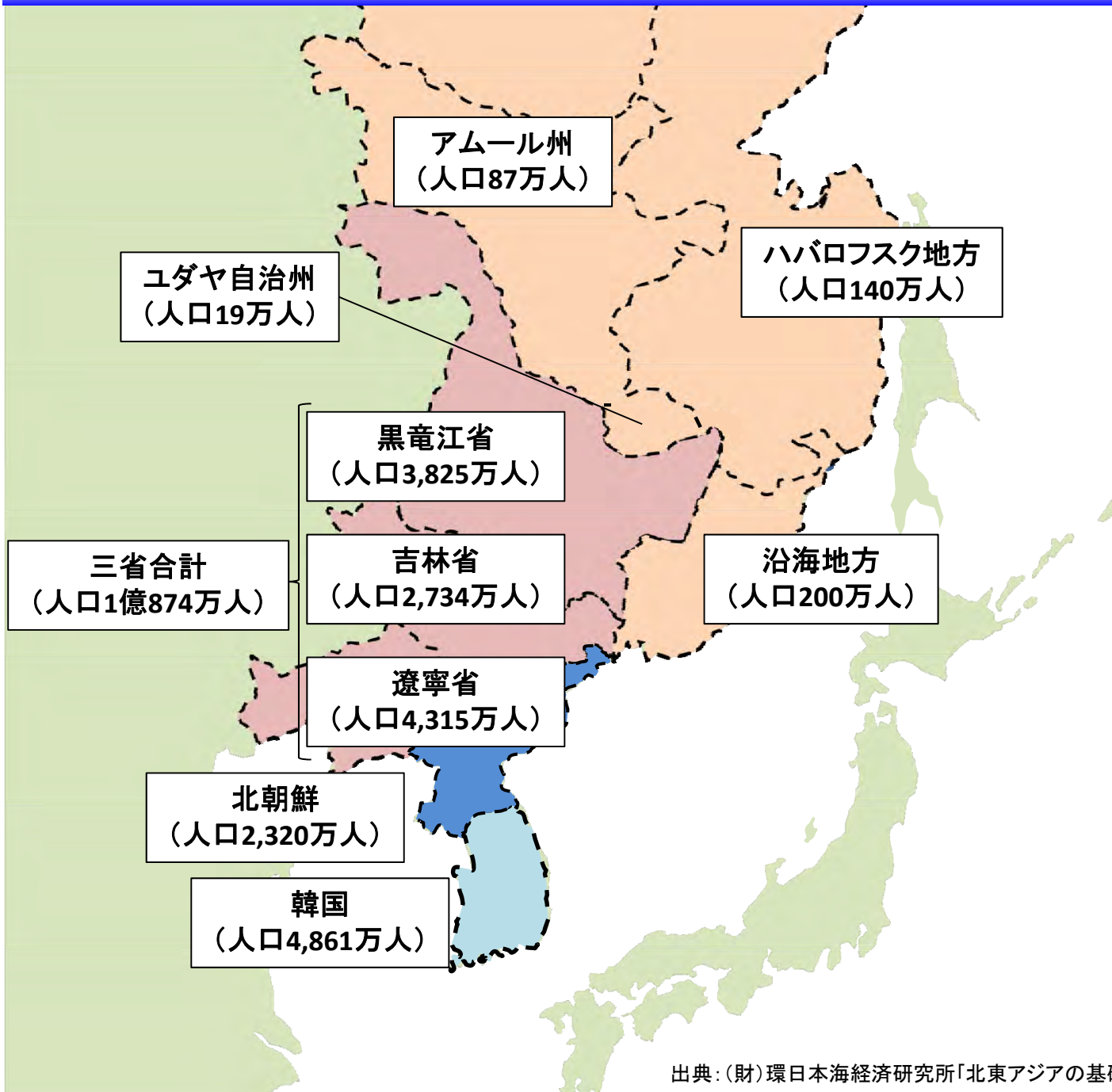


出典: 財務省「貿易統計」より国土交通省港湾局作成

# 対岸地域の情報



# 対岸地域の人口分布



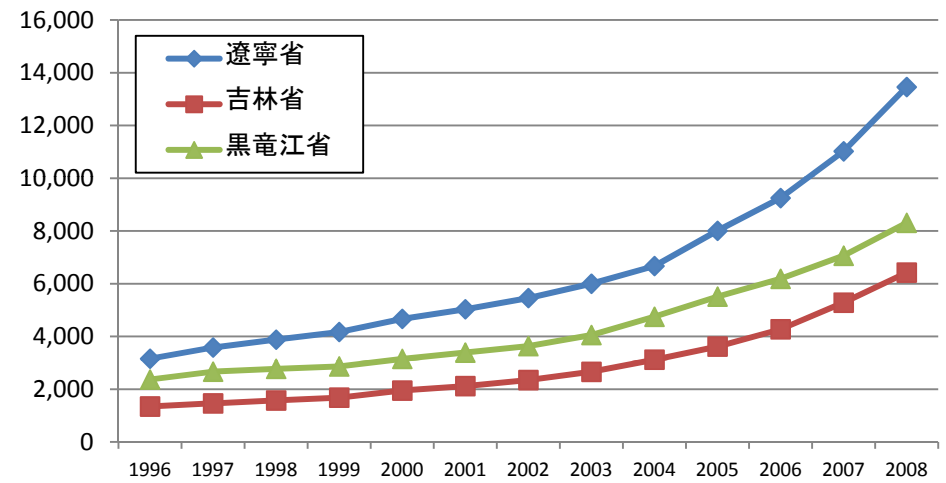
※人口は2008年時点

出典: (財)環日本海経済研究所「北東アジアの基礎経済統計」より国土交通省港湾局作成

# 中国東北三省(遼寧省・吉林省・黒竜江省)の発展

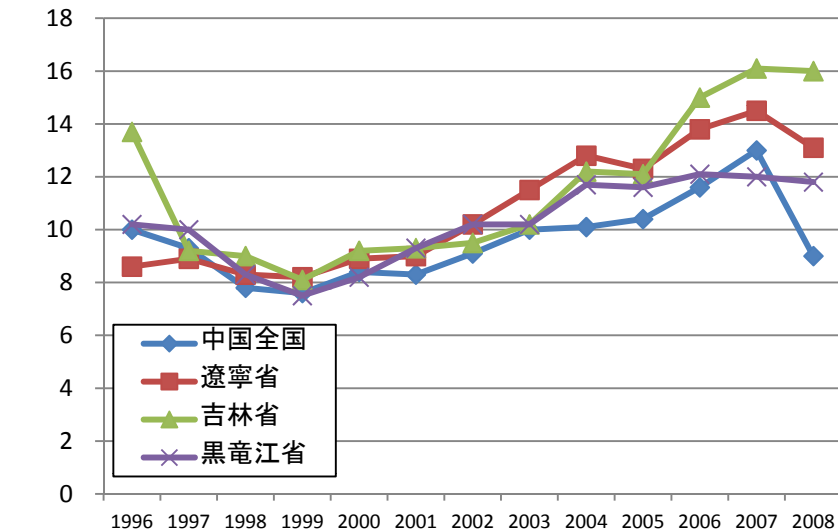


(億元) 東北三省の地域内総生産(名目)の推移



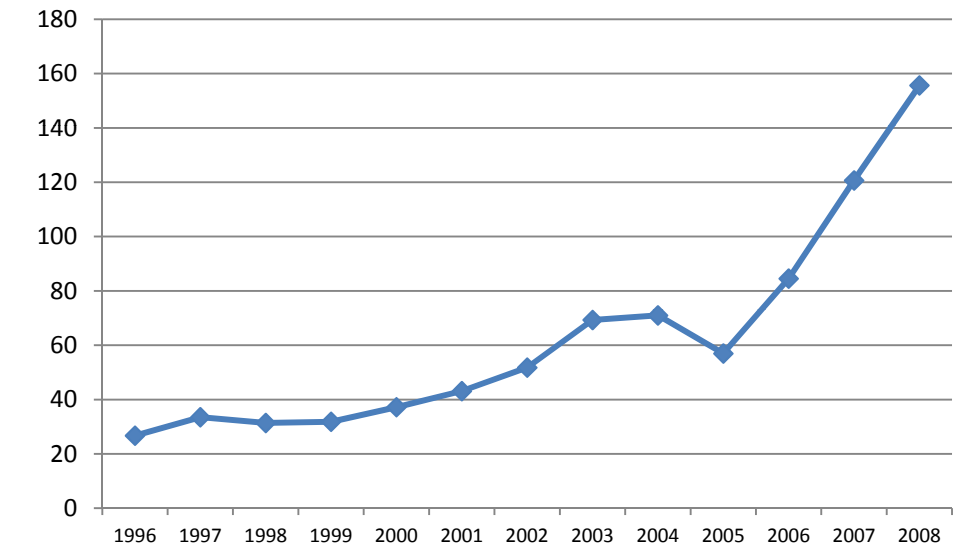
中国全国と東北三省の

(%) GDP・地域内総生産(実質)成長率の推移



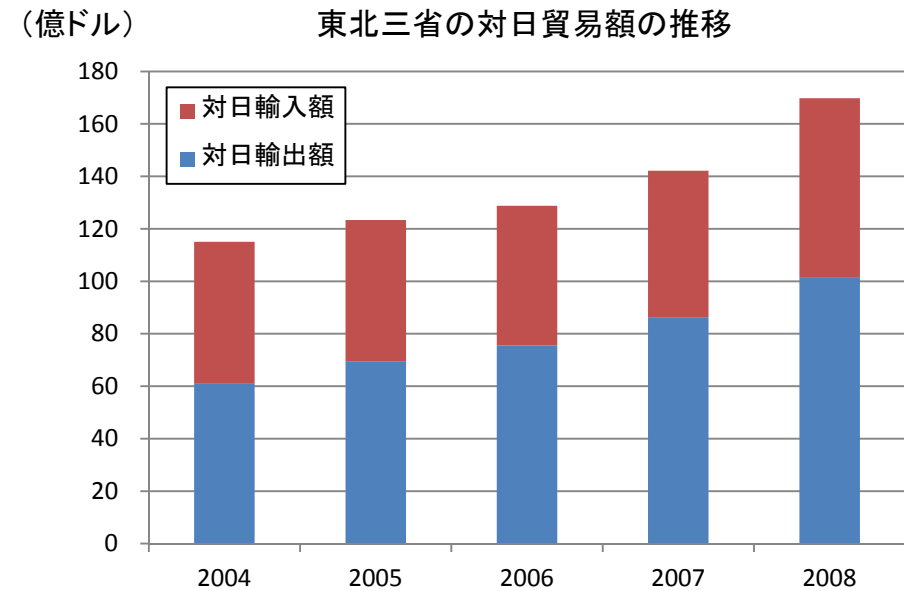
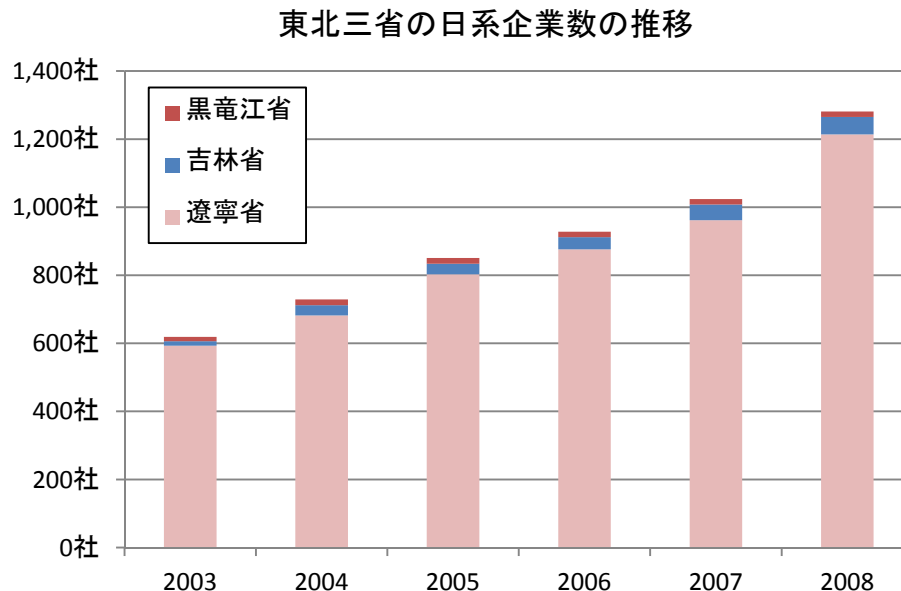
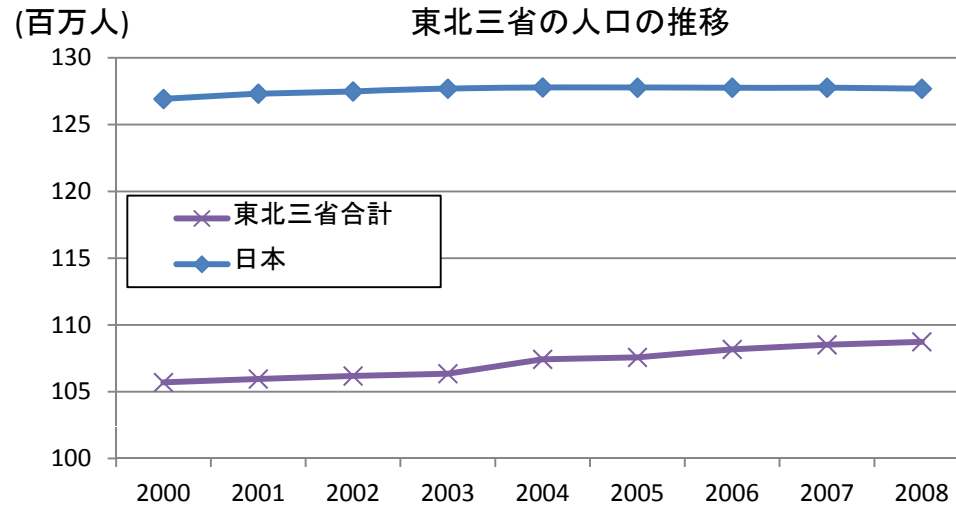
(億ドル)

東北三省における直接投資受入額の推移



※実行ベース

# 中国東北三省(遼寧省、吉林省、黒竜江省)の基礎情報①



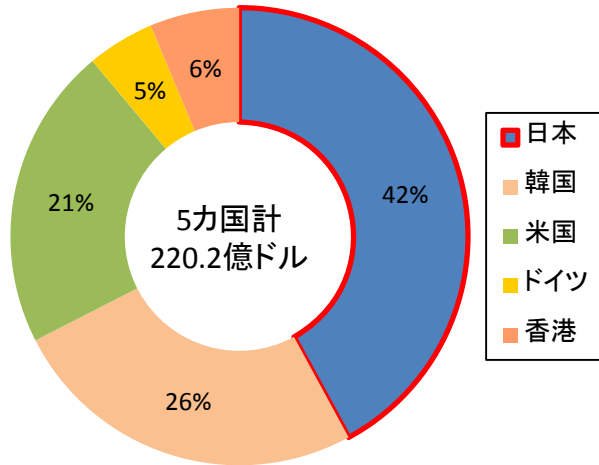
※各年10月1日現在

出典: 日本の人口: 総務省「人口推計」より国土交通省港湾局作成  
 東北三省の人口: (財)環日本海経済研究所「北東アジアの基礎経済統計」より国土交通省港湾局作成  
 貿易額: ジェトロ大連事務所「遼寧省概況・吉林省概況・黒竜江省概況」より国土交通省港湾局作成  
 日系企業数の推移: 在瀋陽日本総領事館資料より国土交通省港湾局作成

# 東北三省の主な貿易相手国

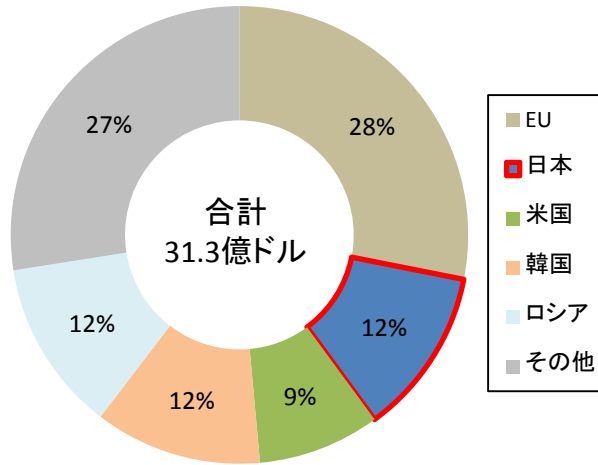
## 遼寧省

輸出額の相手国別割合(上位五カ国のみ)  
(2008年)



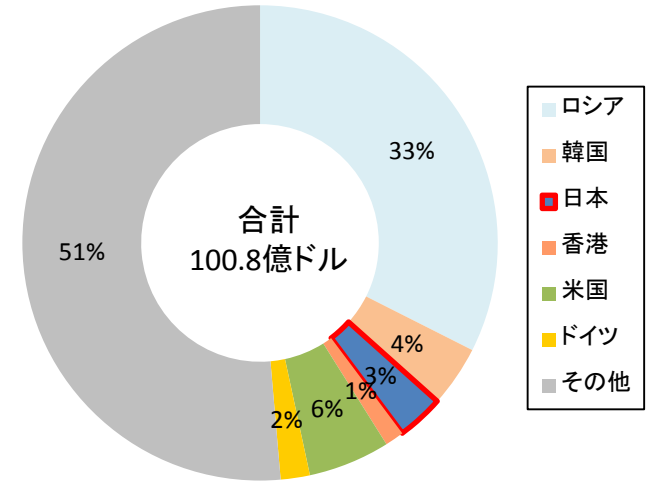
## 吉林省

輸出額の相手国別割合(2009年)

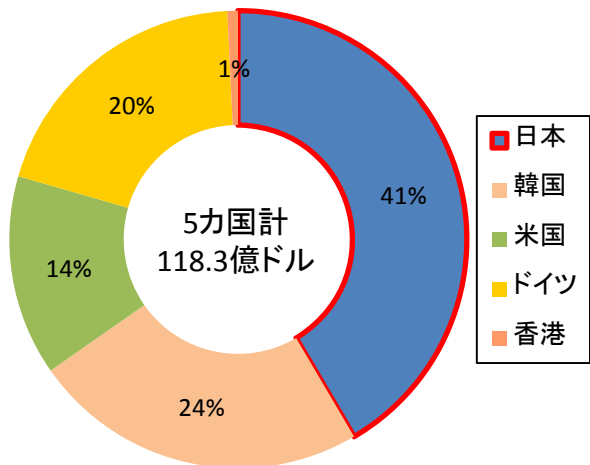


## 黒竜江省

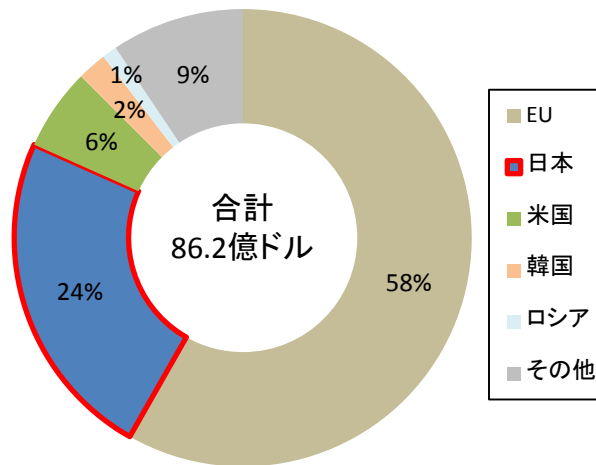
輸出額の相手国別割合(2009年)



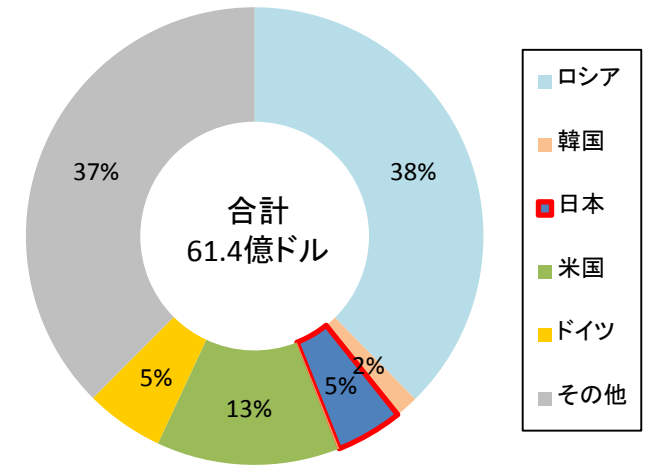
輸入額の相手国別割合(上位五カ国のみ)  
(2008年)



輸入額の相手国別割合(2009年)



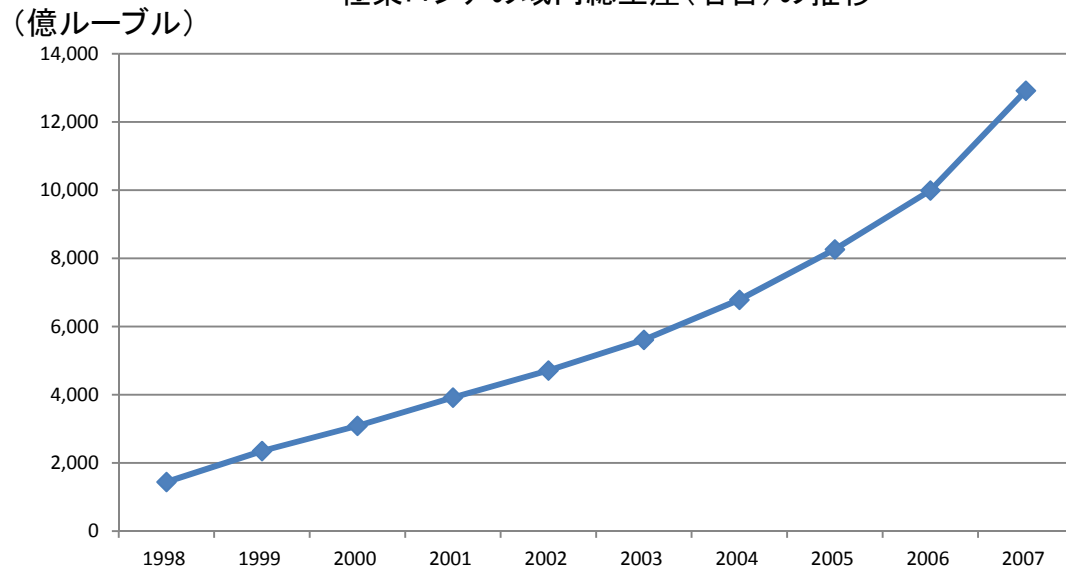
輸入額の相手国別割合(2009年)



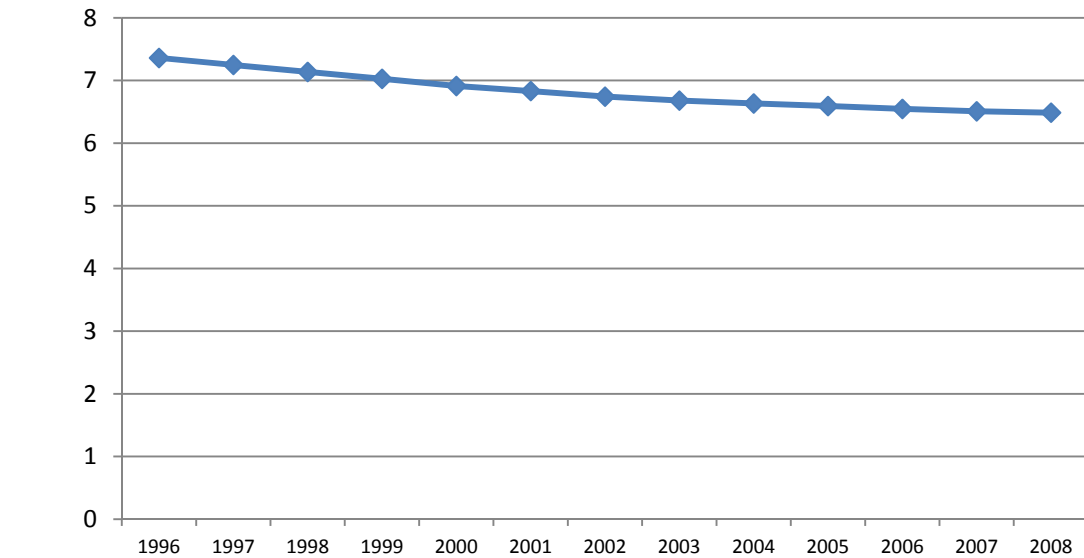
# 極東ロシアの状況①



極東ロシアの域内総生産(名目)の推移

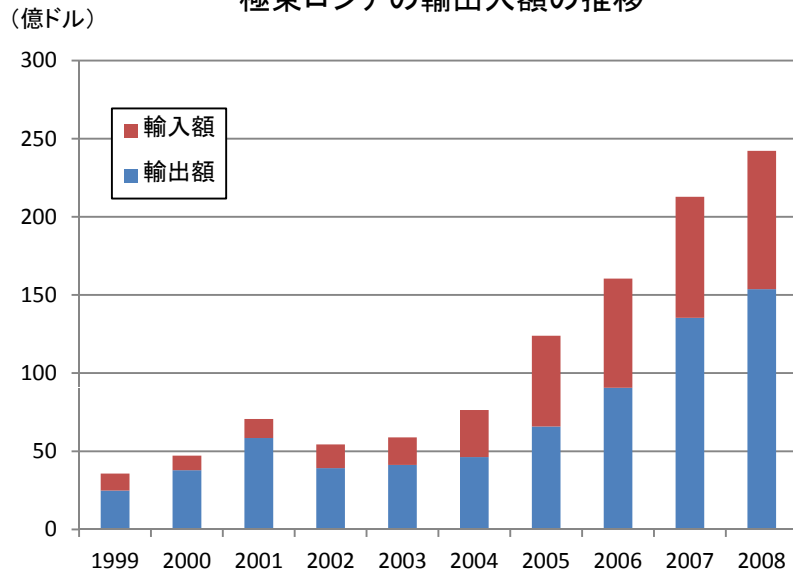


極東ロシアの人口の推移

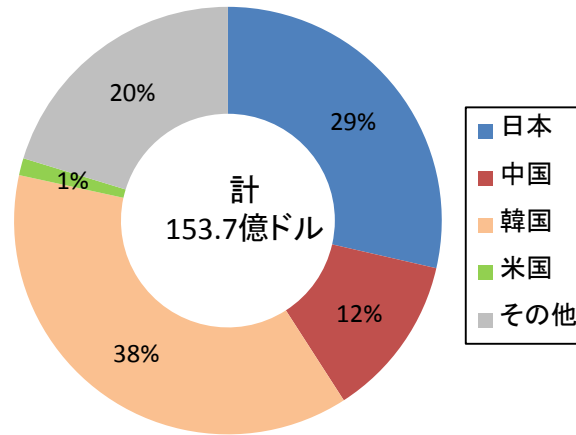


# 極東ロシアの状況②

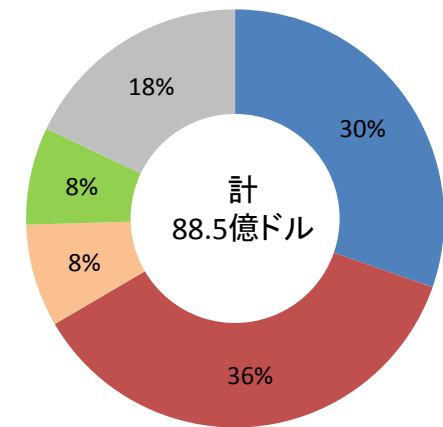
極東ロシアの輸出入額の推移



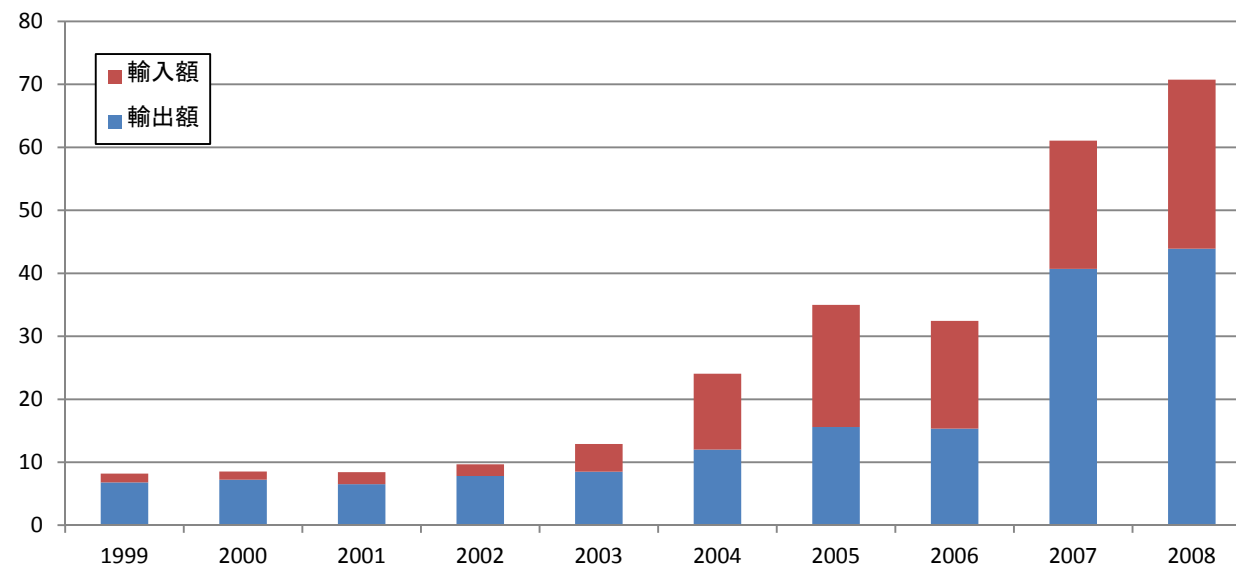
輸出額の相手国別割合 (2008年)



輸入額の相手国別割合 (2008年)

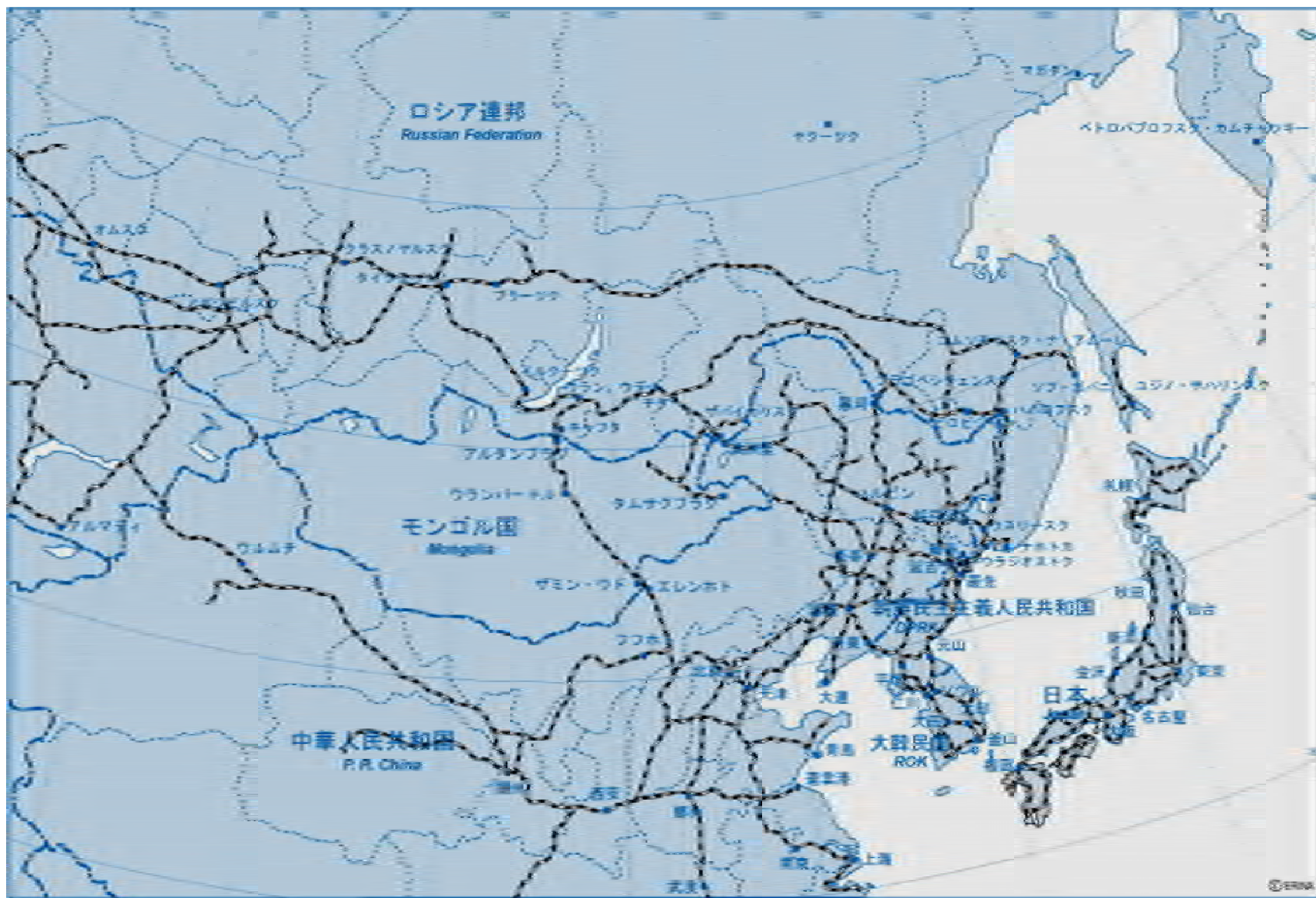


極東ロシアの対日輸出入額の推移



出典: (財)環日本海経済研究所「北東アジアの基礎経済統計」より国土交通省港湾局作成

# 北東アジアの主要鉄道網



# 北東アジアの主要道路網





# 「北東アジア輸送回廊」について

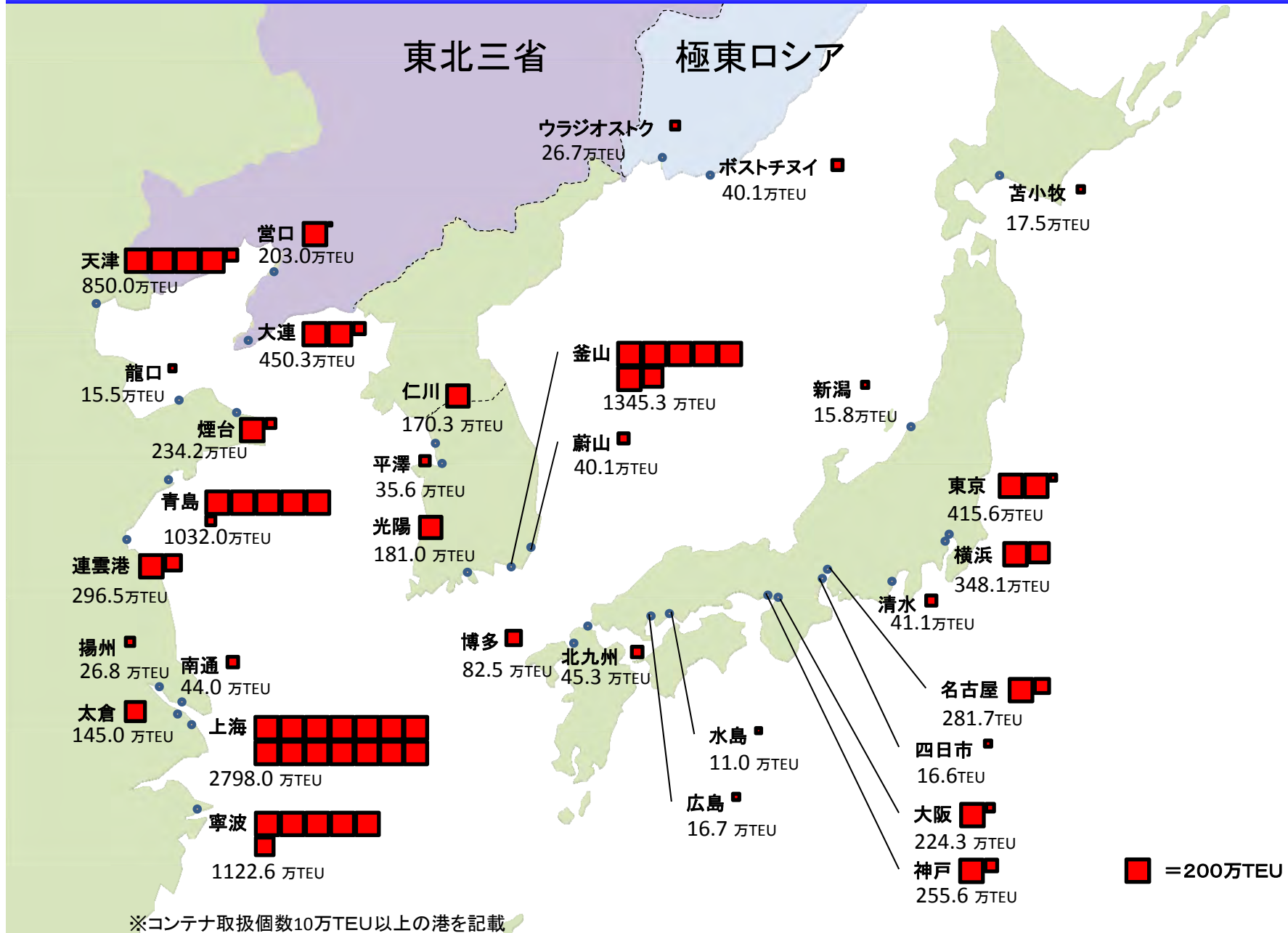
北東アジア経済会議組織委員会 運輸・物流常設分科会が北東アジアにおける基幹的な輸送ルートとなりうるルートを北東アジア輸送回廊としてとりまとめる。(2002年)

- ① ワニノ・タイシェット輸送回廊
- ② SLB輸送回廊
- ③ 綏芬河輸送回廊
- ④ 図們江輸送回廊
- ⑤ 大連輸送回廊
- ⑥ 天津・モンゴル輸送回廊
- ⑦ CLB輸送回廊
- ⑧ 朝鮮半島西部輸送回廊
- ⑨ 朝鮮半島東部輸送回廊



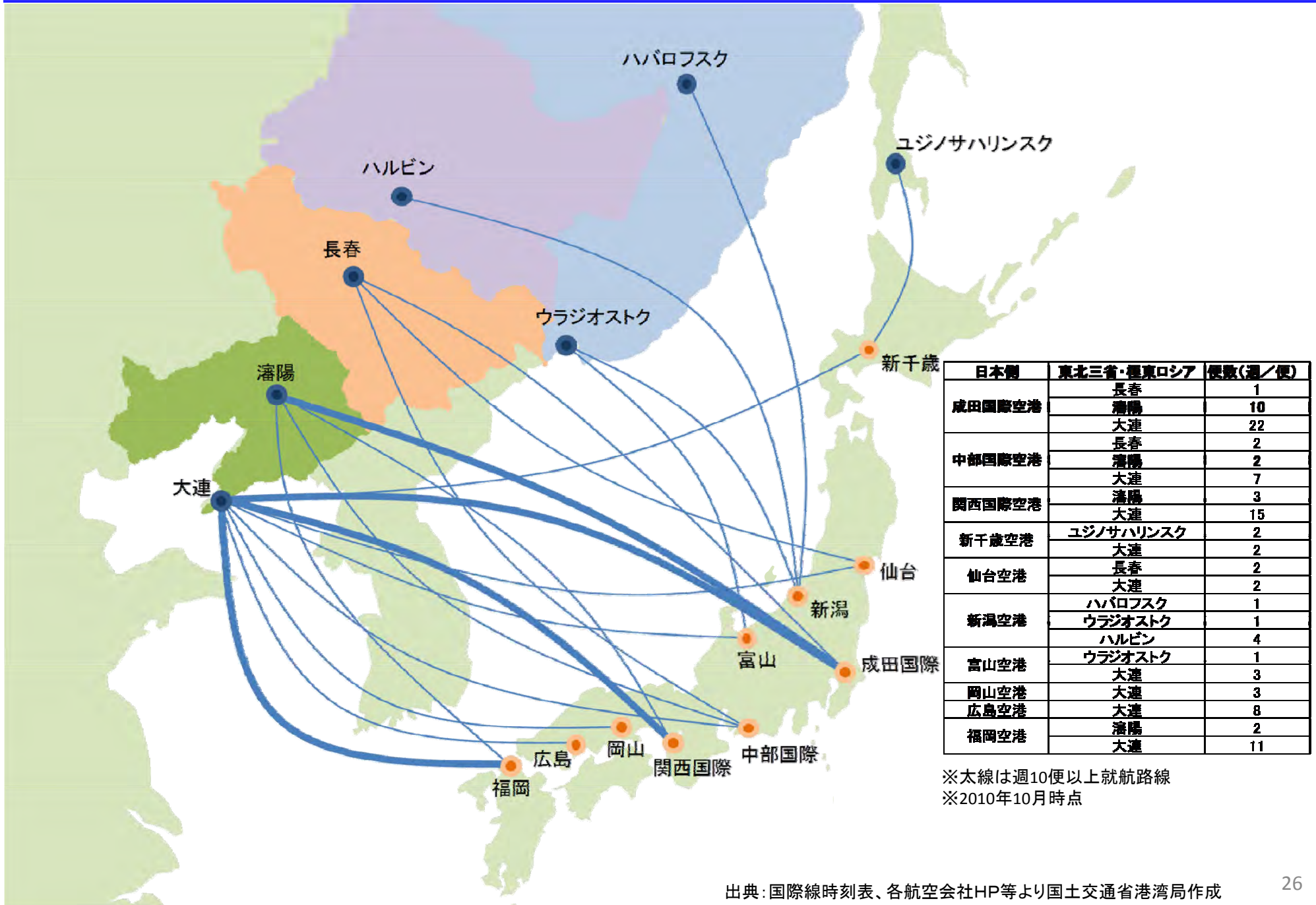
©ERINA

# 我が国及び対岸諸国の主要港におけるコンテナ取扱個数(2008年)



※コンテナ取扱個数10万TEU以上の港を記載  
 ※外内貿含む  
 ※TEU=twenty-foot equivalent units

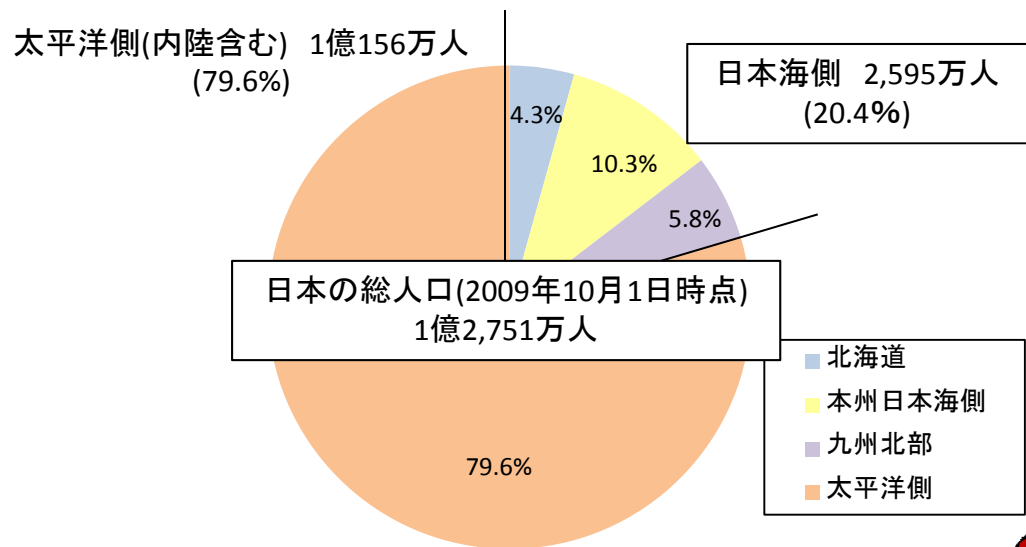
# 我が国と中国東北三省・極東ロシア間の定期航空路線



# 日本海側港湾の状況

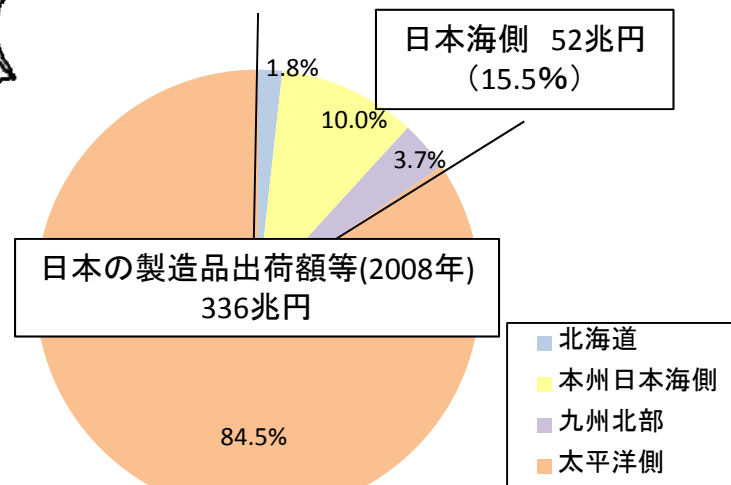
# 日本海側の状況

人口に占める割合



出典: 総務省「人口推計」より国土交通省港湾局作成

製造品出荷額等に占める割合

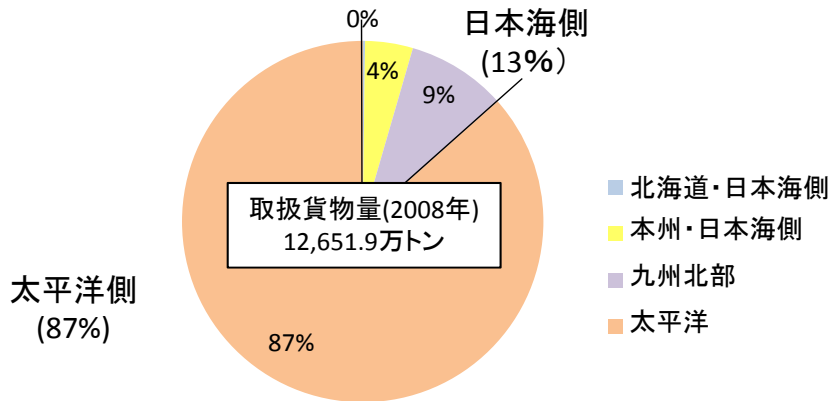


出典: 経済産業省「H20工業統計(市区町村編)」より国土交通省港湾局作成

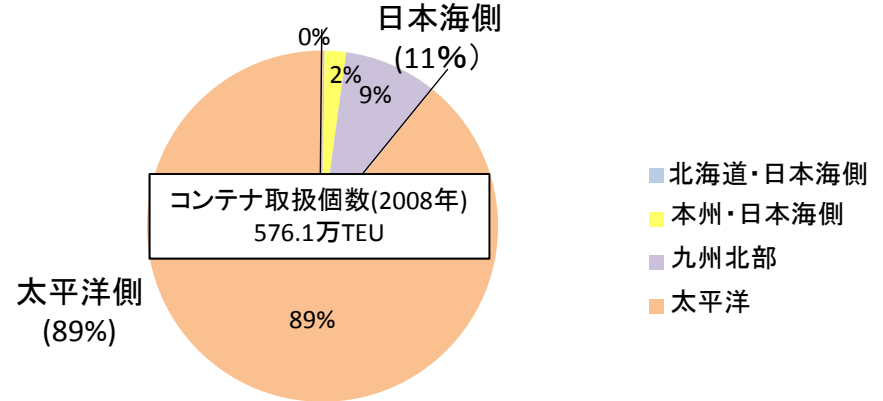
※北海道は日本海側、青森県、兵庫県及び内陸県は太平洋側として計算

# 日本海側港湾の状況(2008年)

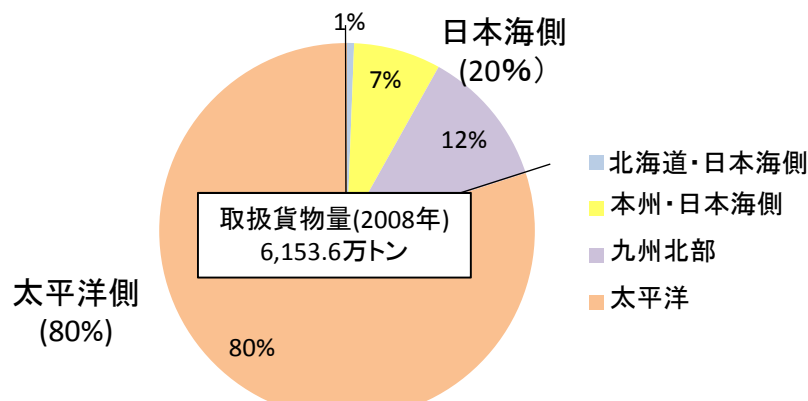
対中取扱貨物量に占める日本海側港湾の割合



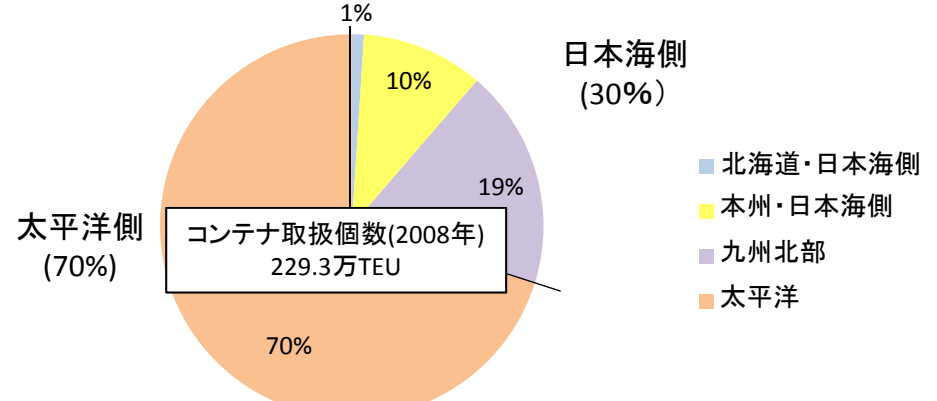
対中コンテナ取扱個数に占める日本海側港湾の割合



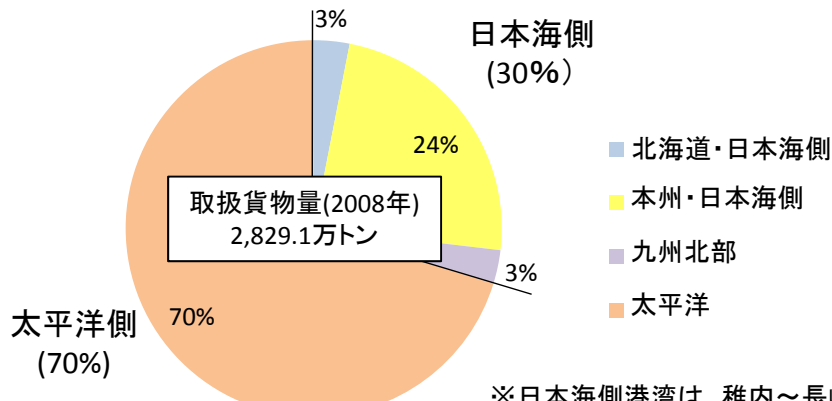
対韓取扱貨物量に占める日本海側港湾の割合



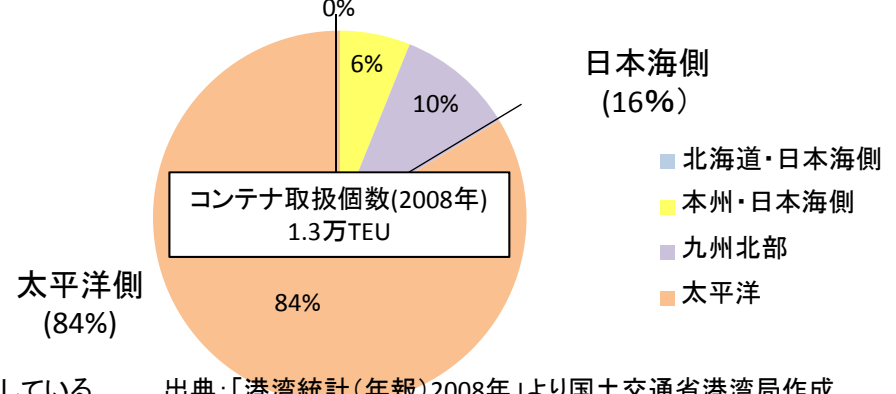
対韓コンテナ取扱個数に占める日本海側港湾の割合



対露取扱貨物量に占める日本海側港湾の割合



対露コンテナ取扱個数に占める日本海側港湾の割合



※日本海側港湾は、稚内～長崎としている。

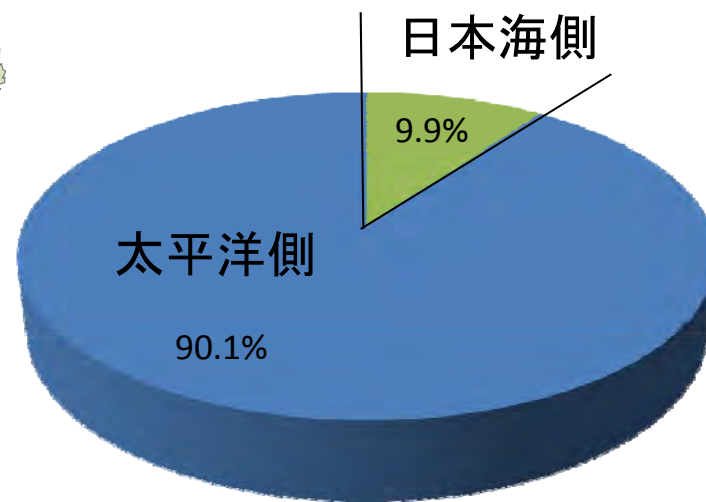
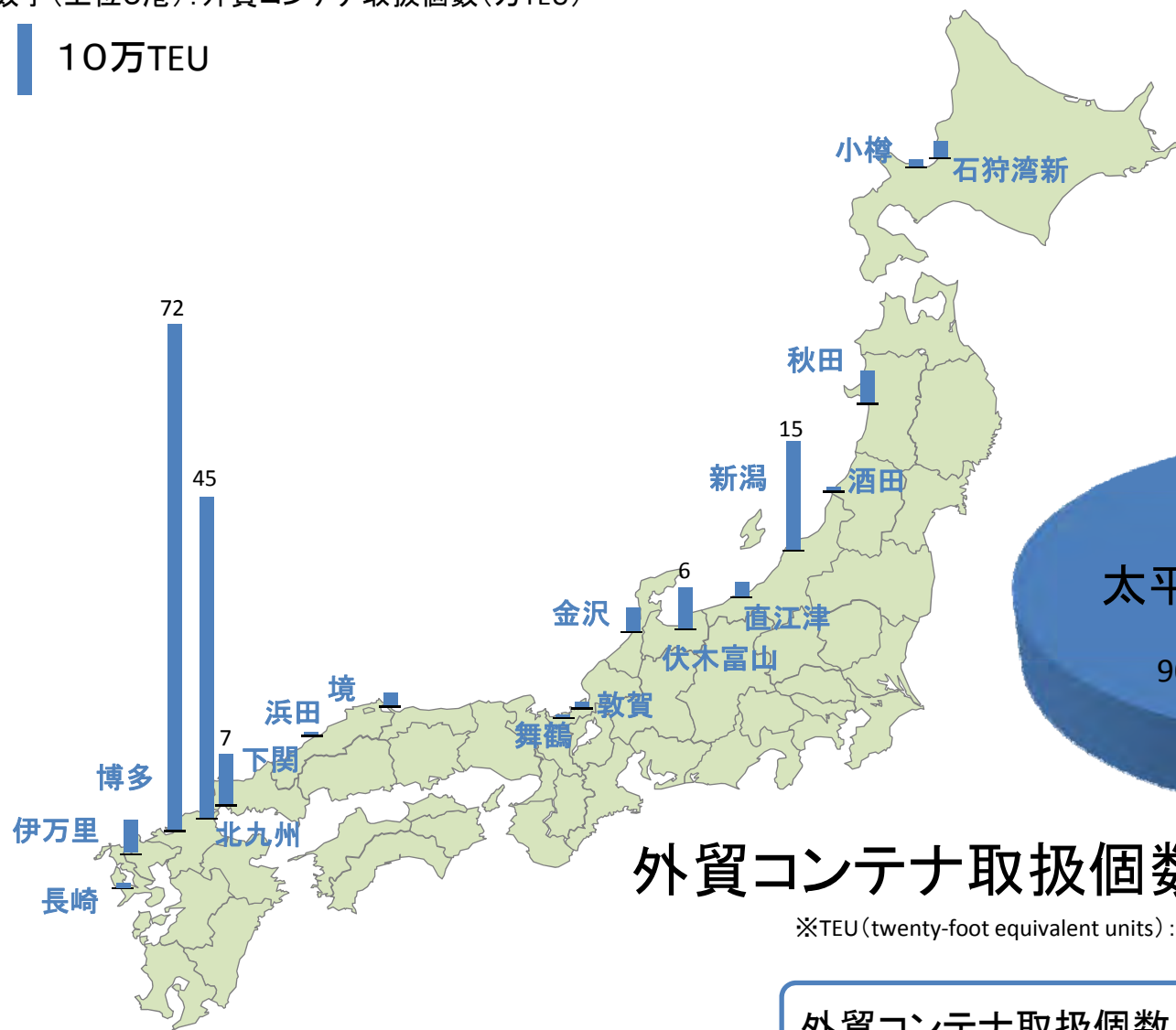
出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

# コンテナ貨物の状況

# 外貿コンテナ取扱個数(2008年)

数字(上位5港): 外貿コンテナ取扱個数(万TEU)

10万TEU



外貿コンテナ取扱個数(全国): 1,713万TEU

※TEU(twenty-foot equivalent units): 20ft(コンテナの長さ)換算のコンテナ取扱個数の単位。  
20ftコンテナ1個を1TEUとして計算。

外貿コンテナ取扱個数(日本海側港湾): 169万TEU

※日本海側港湾は、稚内~長崎としている。

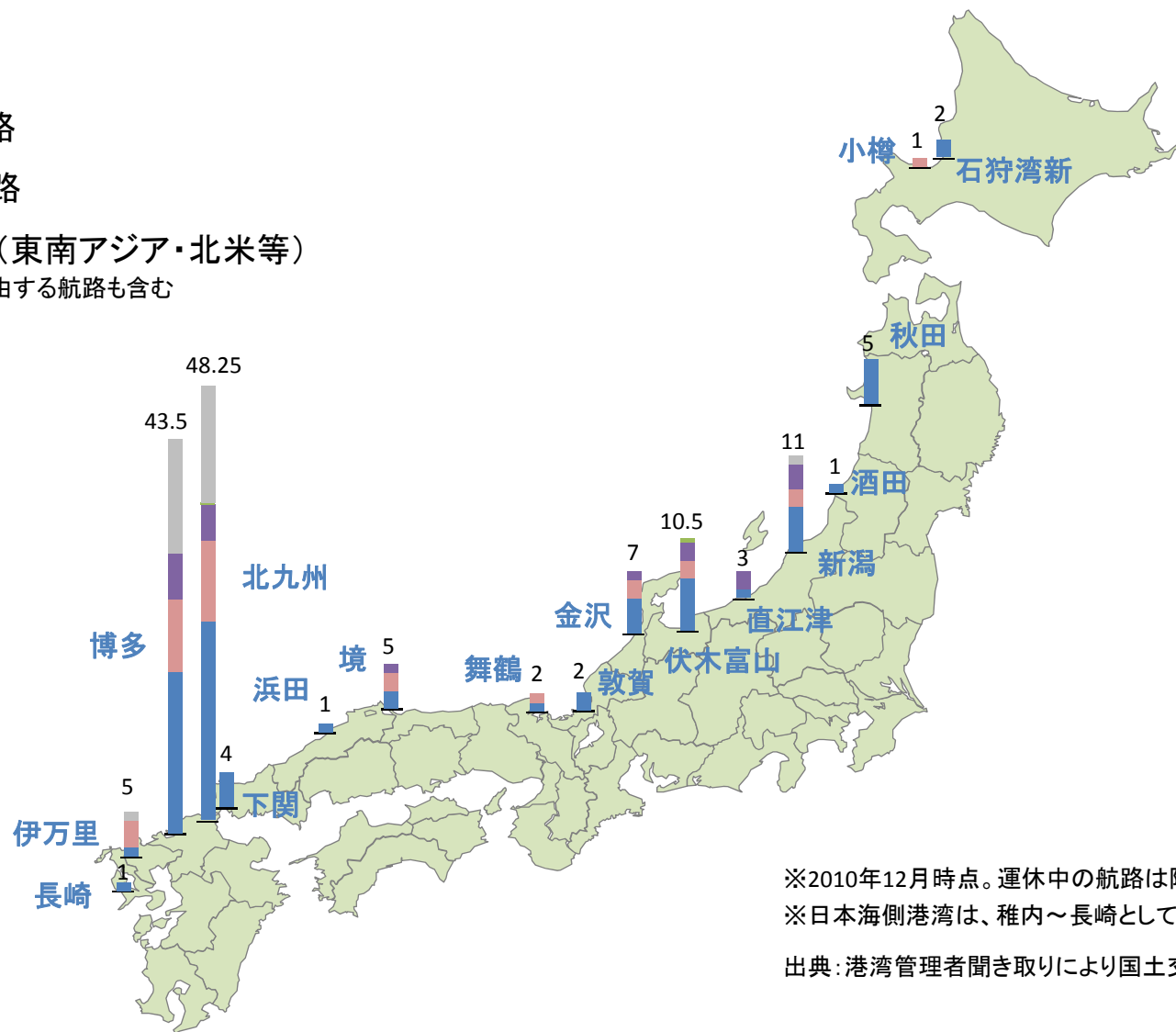


# 日本海側港湾の外貿定期コンテナ航路

数字: 外貿コンテナ航路便数(便/週)

- 韓国航路
- 中国航路
- 中国・韓国航路
- 極東ロシア航路
- その他の航路(東南アジア・北米等)  
※なお、中・韓を経由する航路も含む

10便/週



※2010年12月時点。運休中の航路は除く。

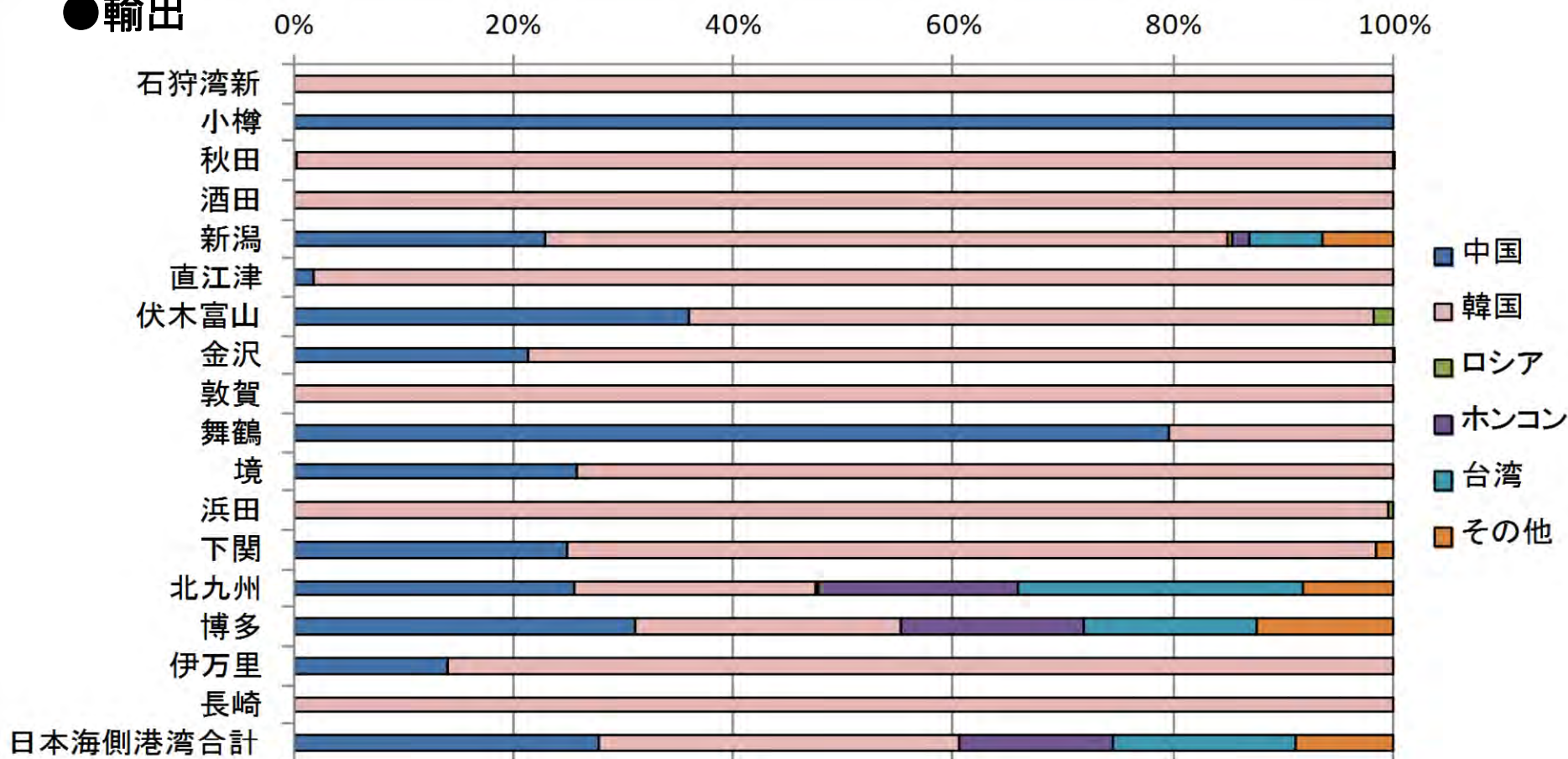
※日本海側港湾は、稚内～長崎としている。

出典: 港湾管理者聞き取りにより国土交通省港湾局作成

# 日本海側港湾における輸出コンテナ貨物の仕向国

日本海側港湾における輸出コンテナ貨物の仕向国の割合  
中国(27.7%)、韓国(32.8%)、ロシア(0.1%)

## ●輸出



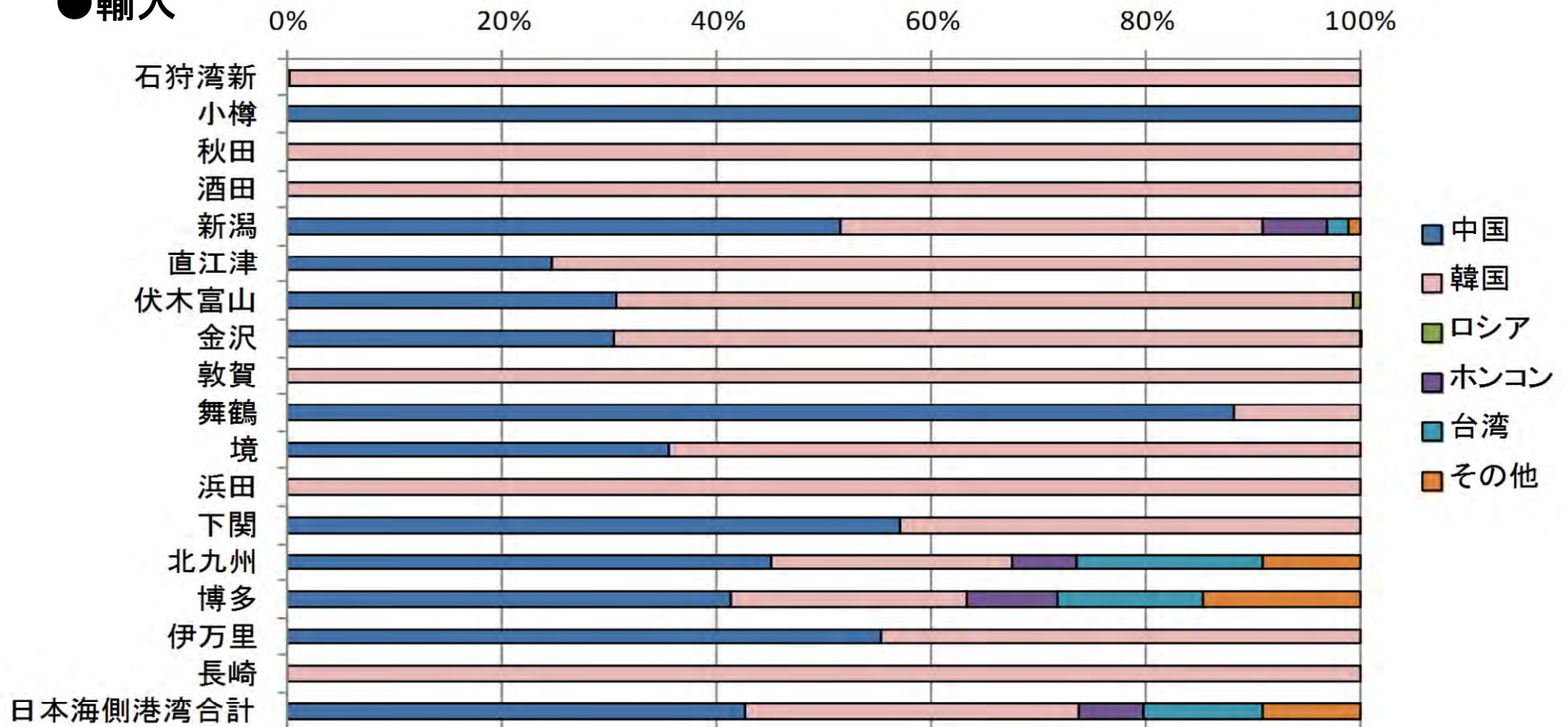
※トンベース、トランシップ貨物含む。2008年のデータ。  
 ※仕向国とは、調査港湾で船積した調査貨物を最初に船卸した国をいう。  
 ※日本海側港湾は、稚内～長崎としている。

出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

# 日本海側港湾における輸入コンテナ貨物の仕出国

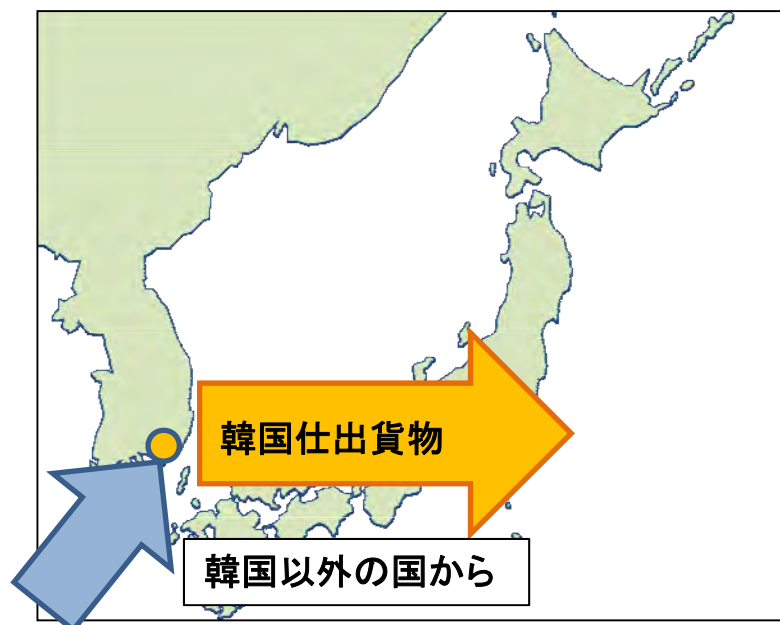
日本海側港湾における輸入コンテナ貨物の仕出国の割合  
中国(42.7%)、韓国(30.9%)、ロシア(0.1%)

## ●輸入



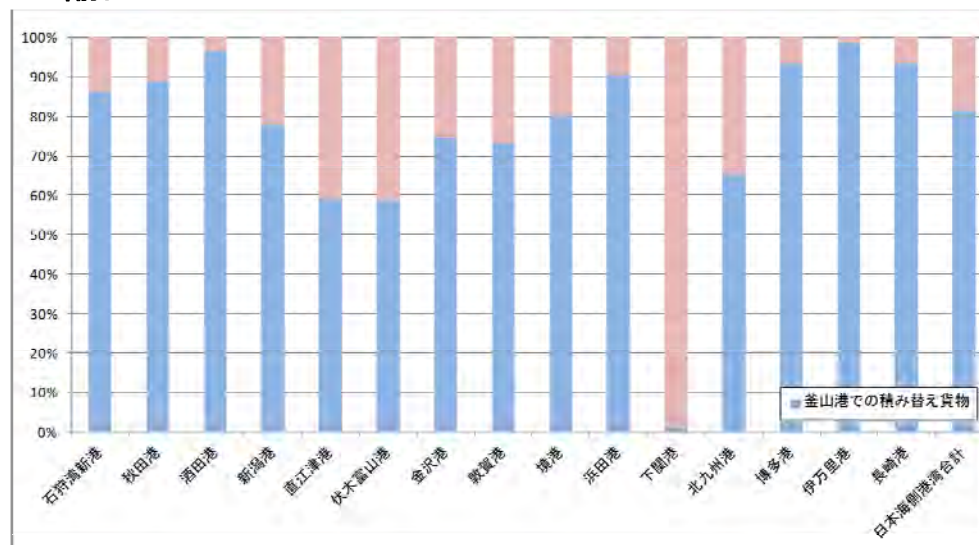
※トンベース、トランシップ貨物含む。2008年のデータ。  
 ※仕出国とは、調査港湾で船卸した調査貨物が最後に船積された国をいう。  
 ※日本海側港湾は、稚内～長崎としている。  
 出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

# 日本海側港湾の対韓国コンテナ貨物の状況

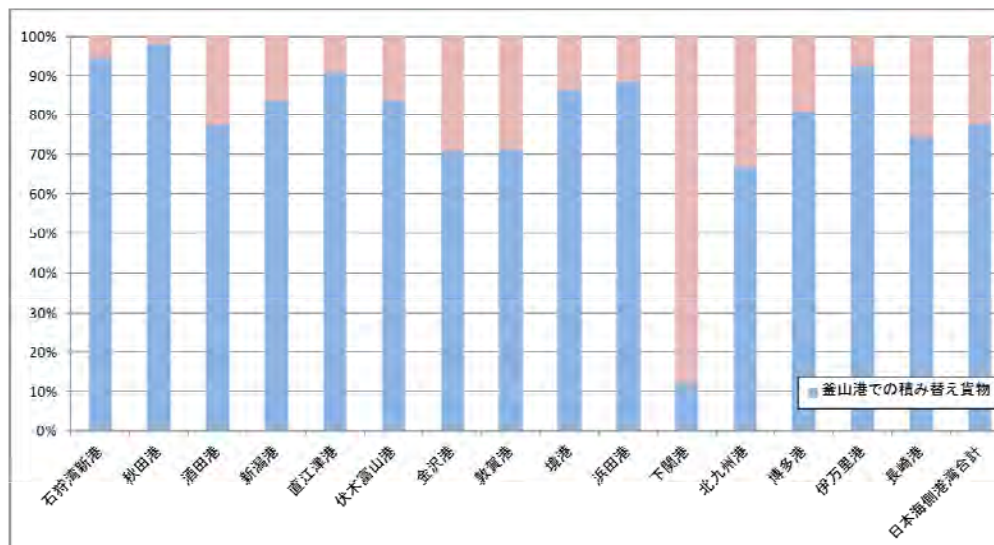


※トンベース、2008年11月1ヶ月間のデータ  
 ※日本海側港湾は、稚内～長崎としている。

## ●輸出 日韓間の外貨コンテナ貨物における 韓国直送貨物と釜山港積み替え貨物の割合



## ●輸入

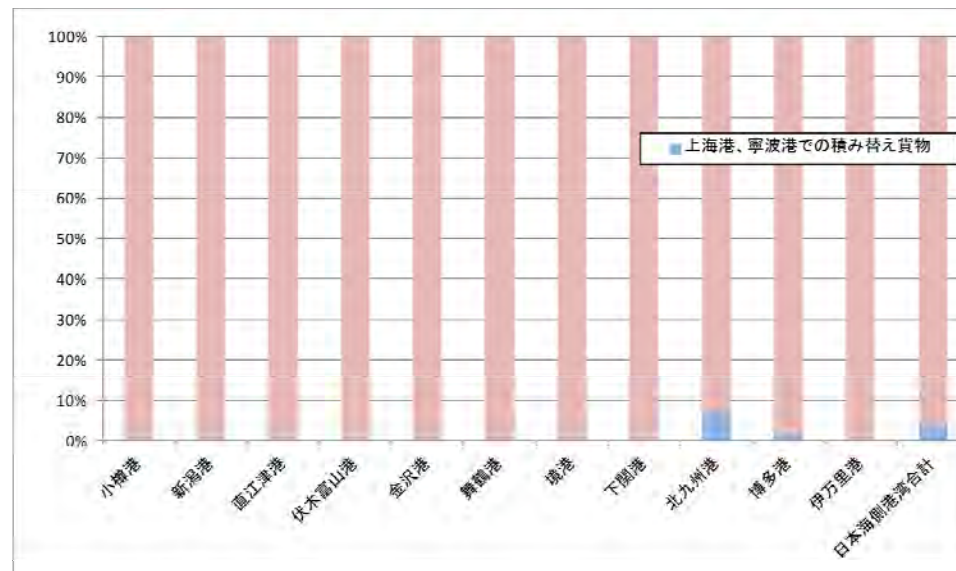


出典:「平成20年度 全国輸出入コンテナ貨物流動調査」より国土交通省港湾局作成

# 日本海側港湾の対中国コンテナ貨物の状況

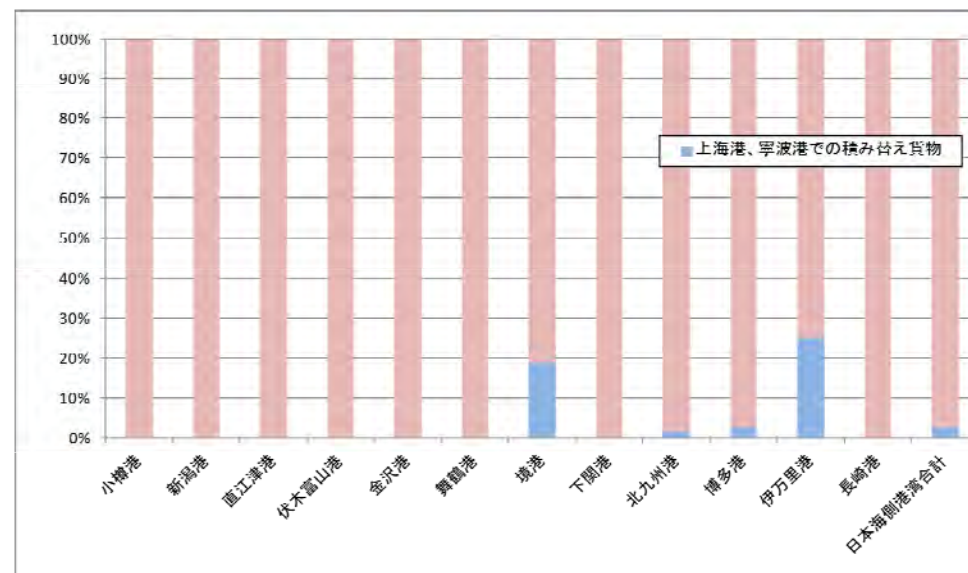
日中間の外貨コンテナ貨物における  
中国直送貨物と上海港・寧波港積み替え貨物の割合

## ●輸出



※但し、輸出の場合は上海港積み替えのみ

## ●輸入

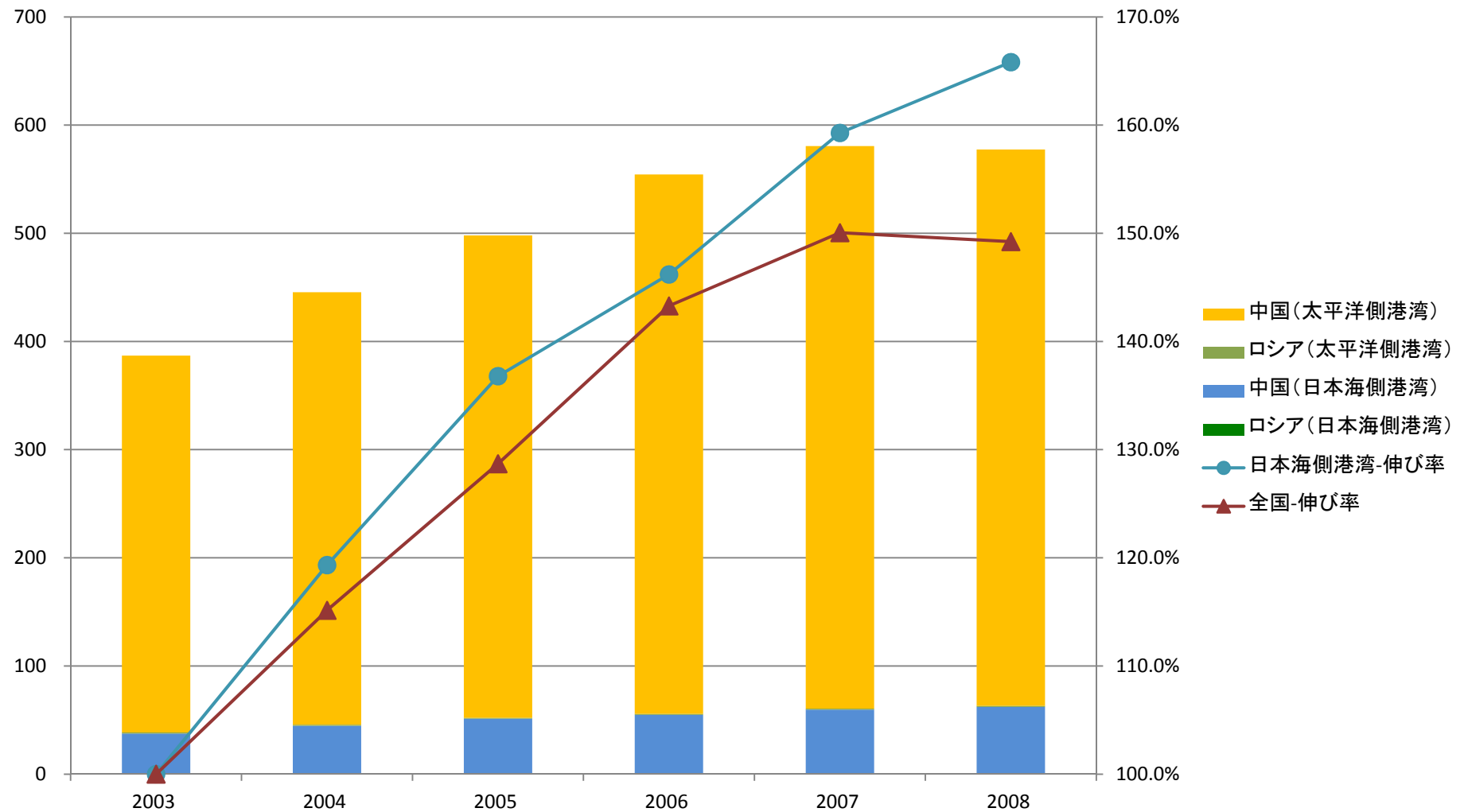


出典:「平成20年度 全国輸出入コンテナ貨物流動調査」より国土交通省港湾局作成

※トベース、2008年11月1ヶ月間のデータ  
※日本海側港湾は、稚内～長崎としている。

# 対中・露外貨コンテナ取扱個数の推移

(万TEU)

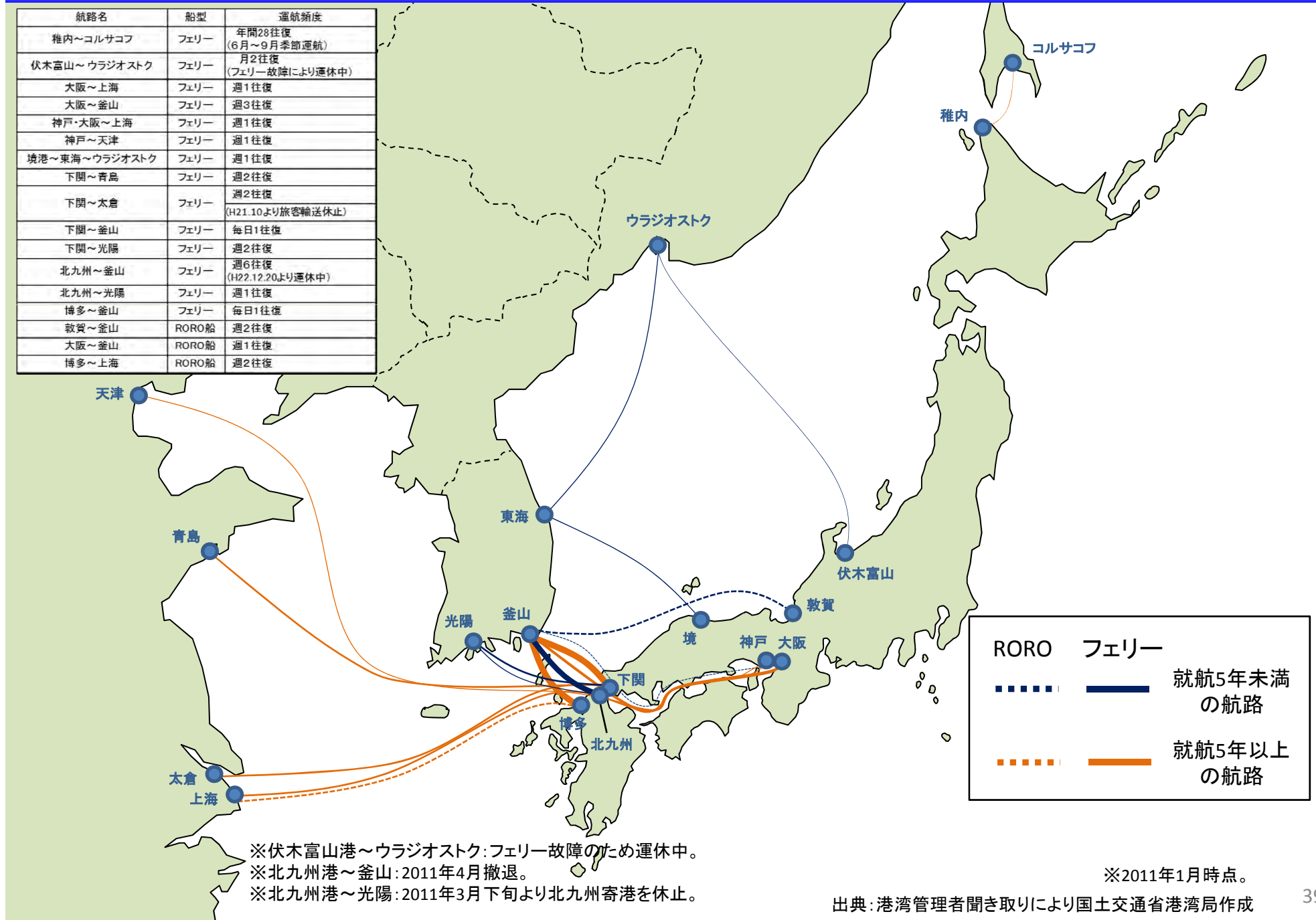


出典:「港湾統計(年報)」より国土交通省港湾局作成

# 国際フェリー・国際RORO船の状況

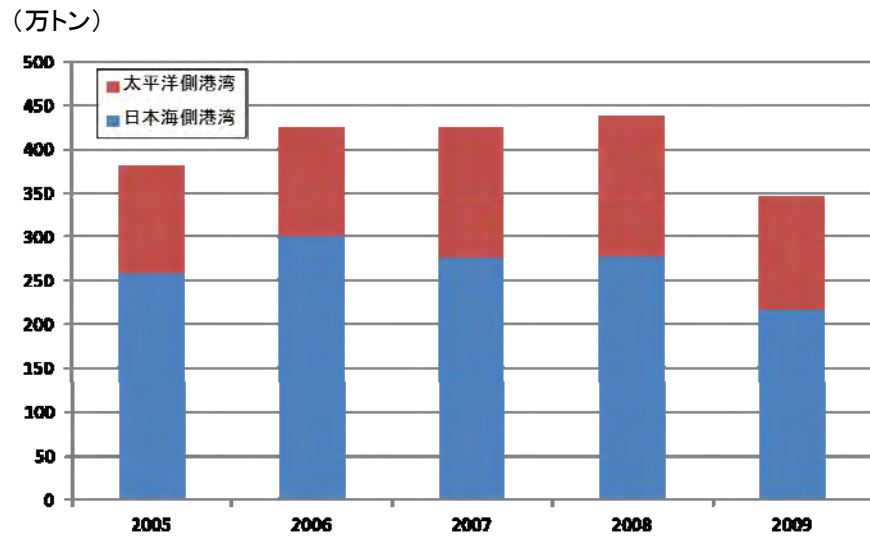
# 対岸諸国との国際フェリー・国際RORO船定期航路の就航状況

航路名	船型	運航頻度
稚内～コルサコフ	フェリー	年間28往復 (6月～9月季節運航)
伏木富山～ウラジオストク	フェリー	月2往復 (フェリー故障により運休中)
大阪～上海	フェリー	週1往復
大阪～釜山	フェリー	週3往復
神戸・大阪～上海	フェリー	週1往復
神戸～天津	フェリー	週1往復
境港～東海～ウラジオストク	フェリー	週1往復
下関～青島	フェリー	週2往復
下関～太倉	フェリー	週2往復 (H21.10より旅客輸送休止)
下関～釜山	フェリー	毎日1往復
下関～光陽	フェリー	週2往復
北九州～釜山	フェリー	週6往復 (H22.12.20より運休中)
北九州～光陽	フェリー	週1往復
博多～釜山	フェリー	毎日1往復
敦賀～釜山	RORO船	週2往復
大阪～釜山	RORO船	週1往復
博多～上海	RORO船	週2往復





# 対岸諸国との国際フェリー・国際RORO船の状況



対岸諸国との国際フェリー・国際RORO定期航路の貨物量の推移



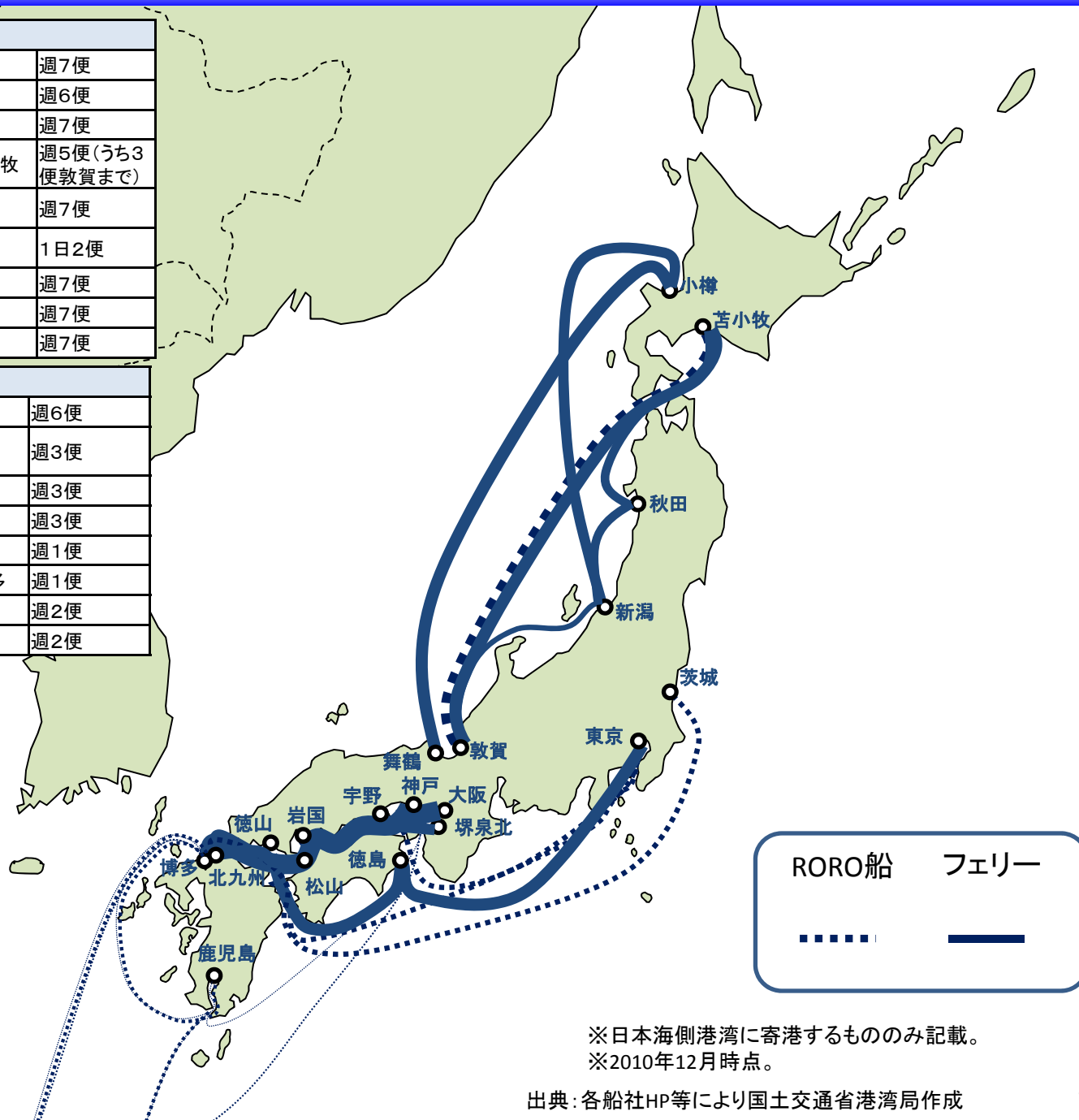
2005～2010年に運休・廃止になった  
日本海側港湾に就航していたフェリー・RORO定期航路

※日本海側港湾は、稚内～長崎としている。

出典：港湾管理者聞き取りにより国土交通省港湾局作成

# 我が国における中長距離フェリー・RORO船定期航路の状況

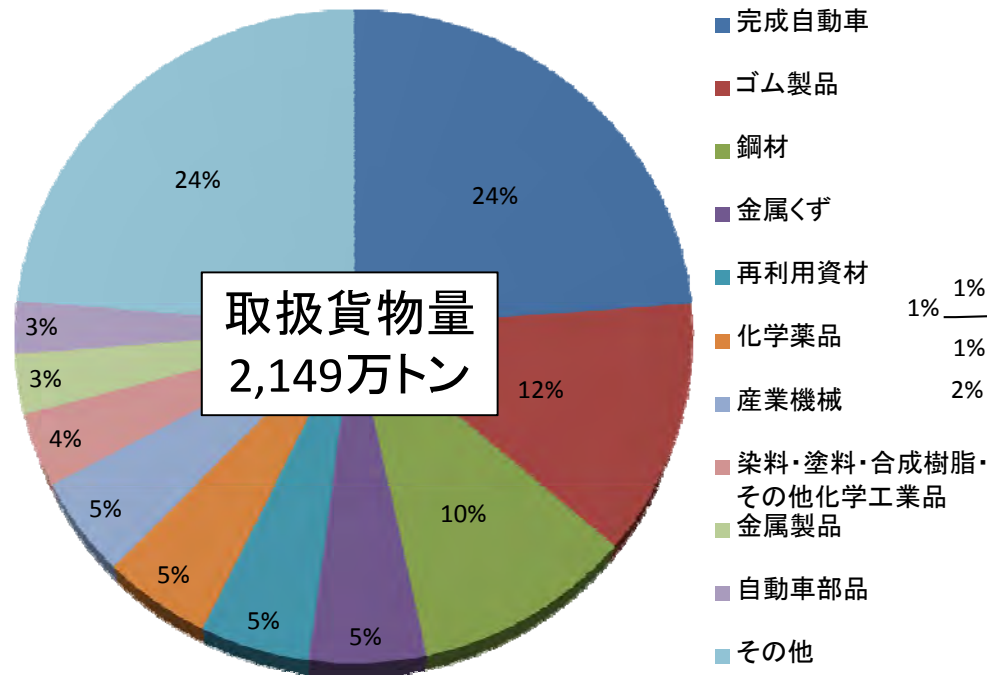
中長距離フェリー航路		
新日本海フェリー(株)	舞鶴/小樽	週7便
	新潟/小樽	週6便
	敦賀/苫小牧	週7便
	敦賀/新潟/秋田/苫小牧	週5便(うち3便敦賀まで)
関西汽船(株)	松山/北九州	週7便
(株)名門大洋フェリー	大阪/北九州	1日2便
阪九フェリー(株)	北九州/堺泉北	週7便
	北九州/神戸	週7便
オーシャンランス(株)	北九州/徳島/東京	週7便
RORO船航路		
近海郵船物流(株)	敦賀/苫小牧	週6便
日本通運(株) 商船三井フェリー(株)	東京/岩国/博多	週3便
商船三井フェリー(株)	東京/徳山/博多/宇野	週3便
川崎近海汽船(株)	北九州/茨城	週3便
南日本汽船(株)	大阪/那覇/博多	週1便
	大阪/鹿児島/那覇/博多	週1便
琉球海運(株)	博多/那覇	週2便
	博多/鹿児島/那覇	週2便



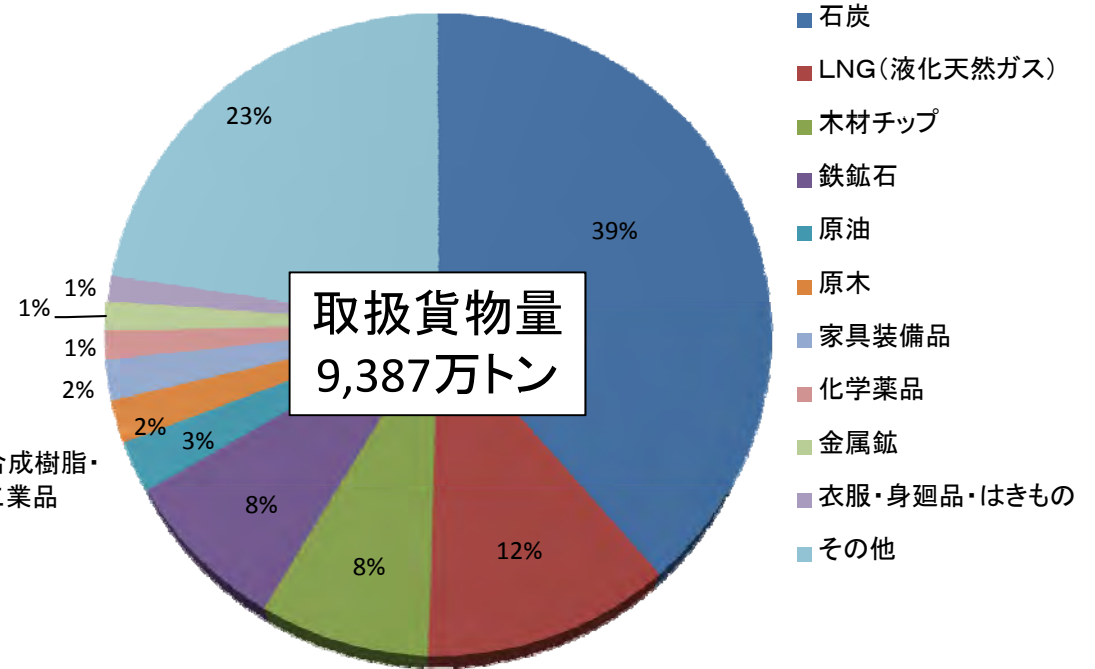
# 大宗貨物の状況

# 日本海側港湾の貨物取扱状況(2008年)

## 【輸出】



## 【輸入】



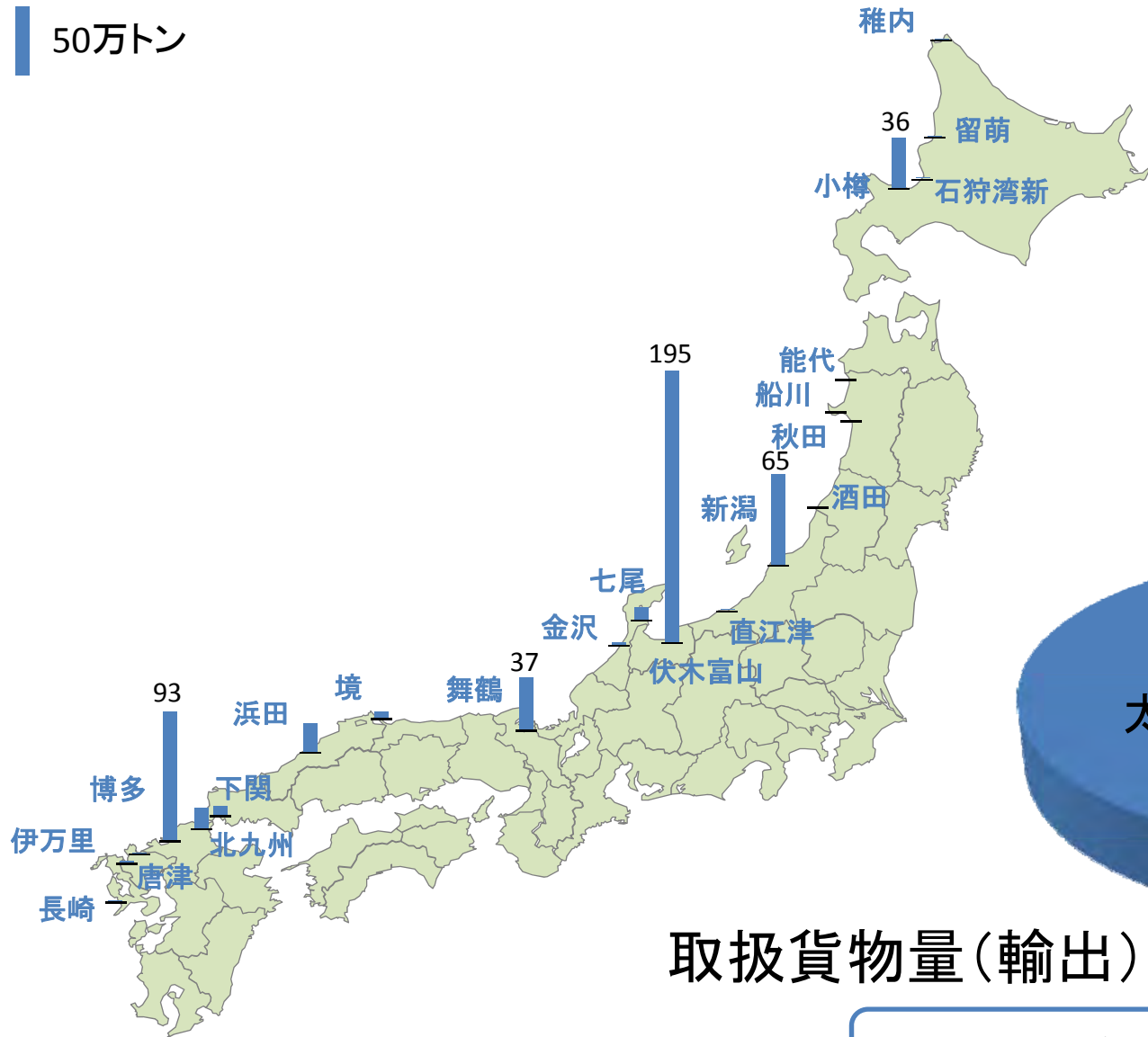
※日本海側港湾は、稚内～長崎としている。

出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

# 完成自動車の取扱貨物量(輸出)(2008年)

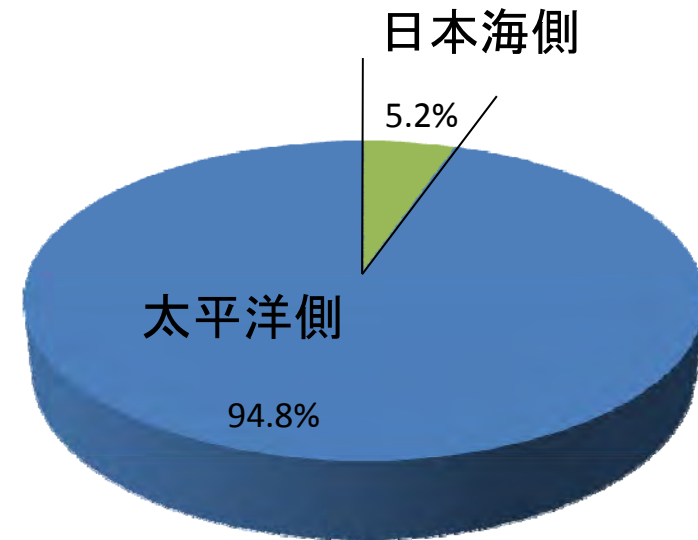
数字(上位5港):完成自動車の取扱貨物量(万トン)

50万トン



完成自動車の取扱貨物量(輸出)  
ランキング(2008)

順位	港名	貨物量(万トン)
1	名古屋	2,998
2	横浜	1,643
3	三河	1,382
4	三田尻	537
5	川崎	417
...	...	...
12	伏木富山	195



取扱貨物量(輸出)(全国):9,714万トン

取扱貨物量(輸出)(日本海側港湾):506万トン

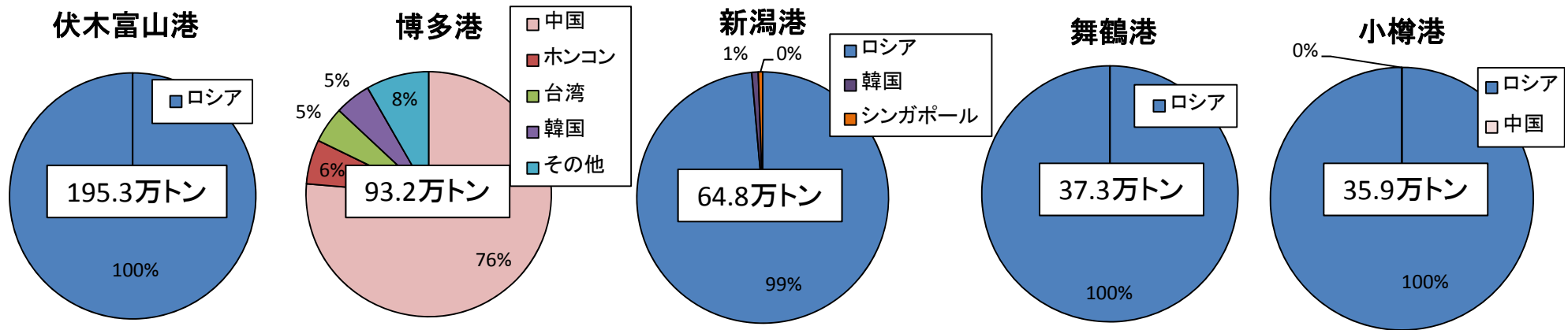
※稚内～長崎の国際拠点港湾、重要港湾(離島除く)について記載

出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

※日本海側港湾は、稚内～長崎としている。

# 完成自動車輸出の状況

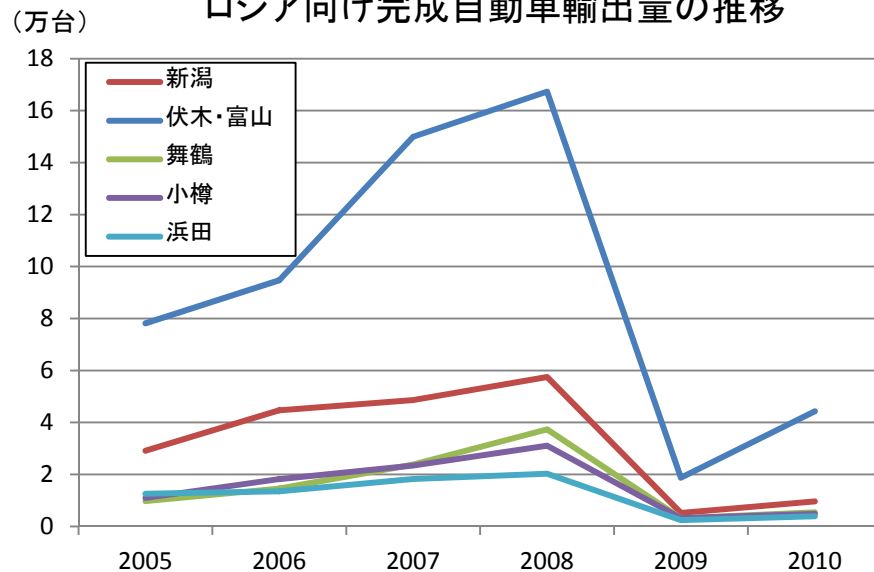
●完成自動車取扱貨物量(輸出)上位港の仕向国の割合(2008年)



※完成自動車取扱貨物量(輸出)の上位5港(日本海側)のうち、取扱貨物量10万トン以上の港湾について記載。

出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

## ロシア向け完成自動車輸出量の推移



※ロシア向け完成自動車輸出量の上位5港(日本海側)について記載。

出典:財務省「貿易統計」より国土交通省港湾局作成

- 日本海側港湾においては、ロシア向けの中古車輸出が多い状況。
- 2009年は貨物量減少。
- 博多港は、背後圏に自動車メーカーが立地しており新車の輸出が多い。

# ゴム製品の取扱貨物量(輸出)(2008年)

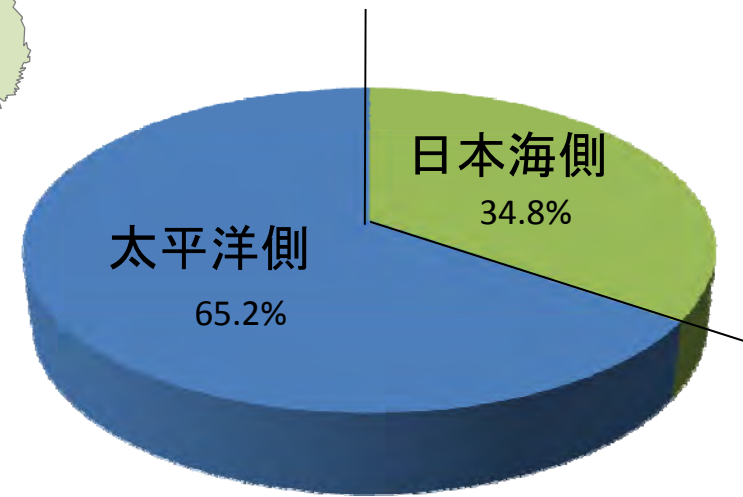
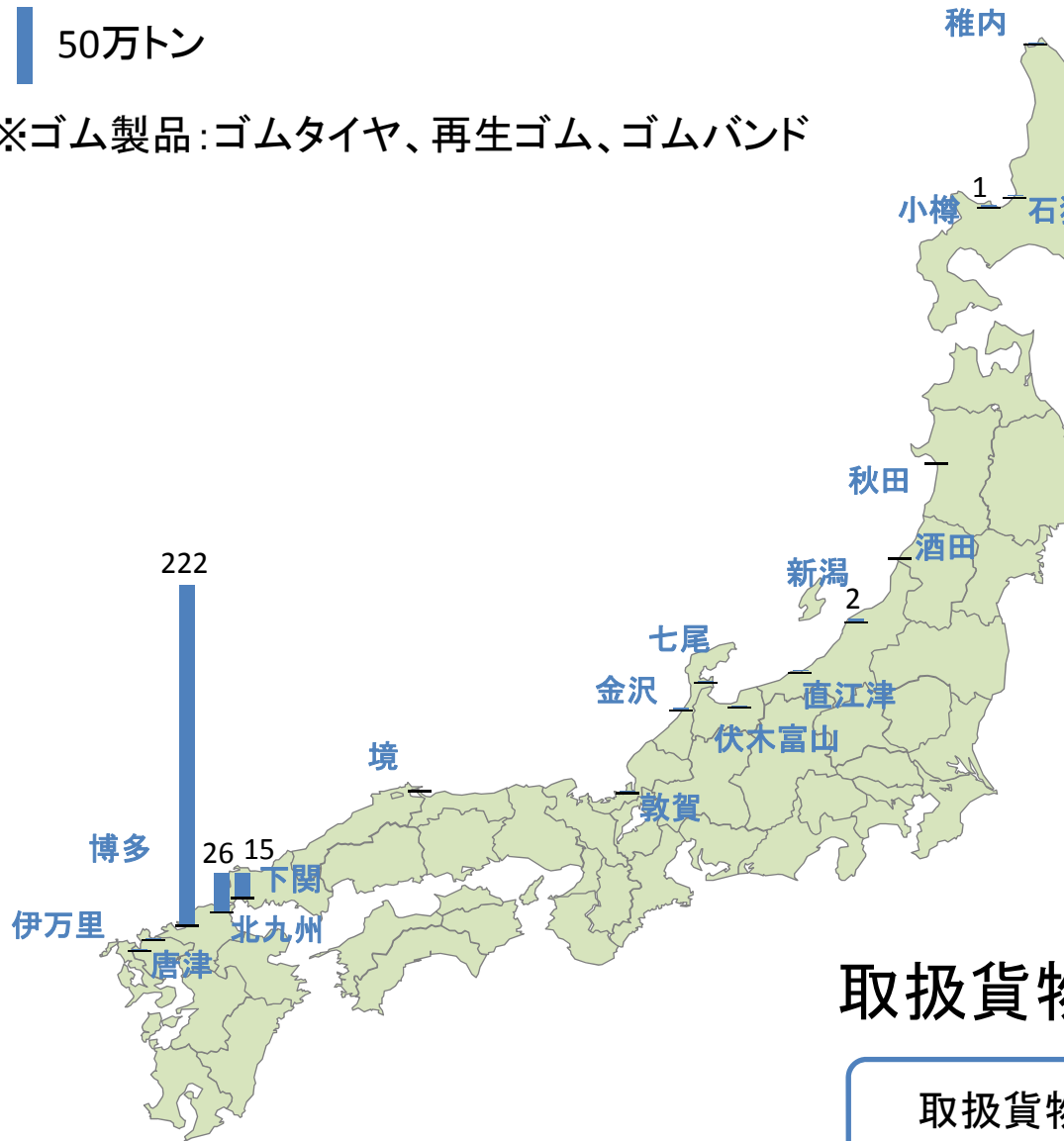
数字(上位5港):ゴム製品の取扱貨物量(輸出)(万トン)

50万トン

※ゴム製品:ゴムタイヤ、再生ゴム、ゴムバンド

ゴム製品の取扱貨物量(輸出)  
ランキング(2008)

順位	港名	貨物量(万トン)
1	博多	222
2	名古屋	175
3	横浜	150
4	東京	57
5	神戸	55



取扱貨物量(輸出)(全国) 770万トン

取扱貨物量(輸出)(日本海側港湾):268万トン

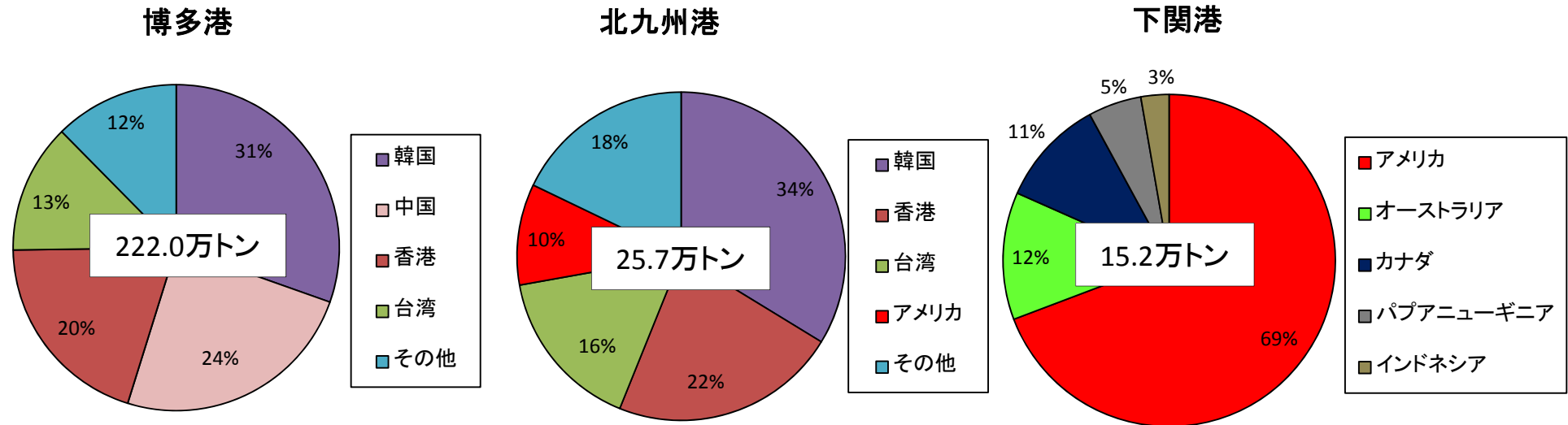
※稚内～長崎の国際拠点港湾、重要港湾(離島除く)について記載

出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

※日本海側港湾は、稚内～長崎としている。

# ゴム製品輸出の状況

## ●ゴム製品取扱貨物量(輸出)上位港の仕向国の割合(2008年)



※取扱貨物量上位5港(日本海側)のうち、取扱貨物量10万トン以上の港湾について記載。  
出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

●博多港、北九州港、下関港においては、背後圏にタイヤメーカーが立地している。



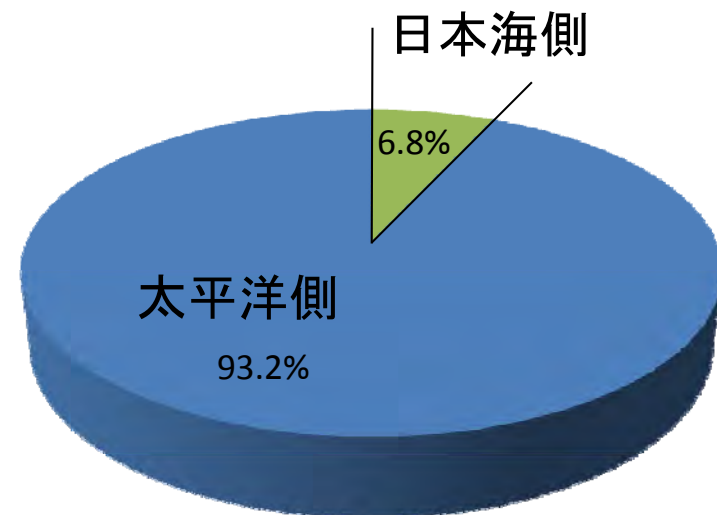
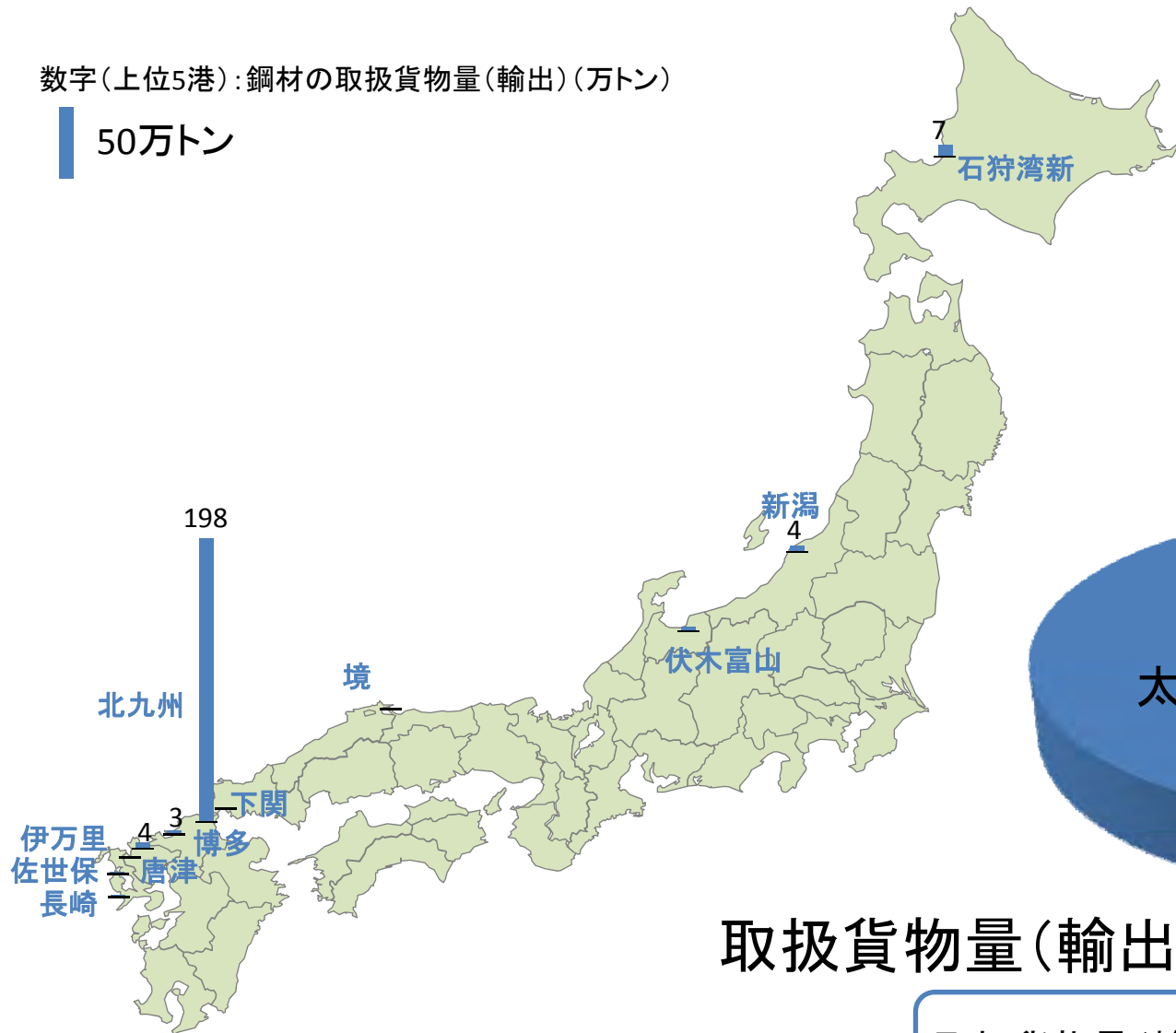
# 鋼材の取扱貨物量(輸出)(2008年)

鋼材の取扱貨物量(輸出)  
ランキング(2008)

順位	港名	貨物量(万トン)
1	福山	434
2	木更津	270
3	和歌山下津	262
4	名古屋	232
5	鹿島	226
:	:	:
10	北九州	198

数字(上位5港): 鋼材の取扱貨物量(輸出)(万トン)

50万トン



取扱貨物量(輸出)(全国): 3,229 万トン

取扱貨物量(輸出)(日本海側港湾): 218万トン

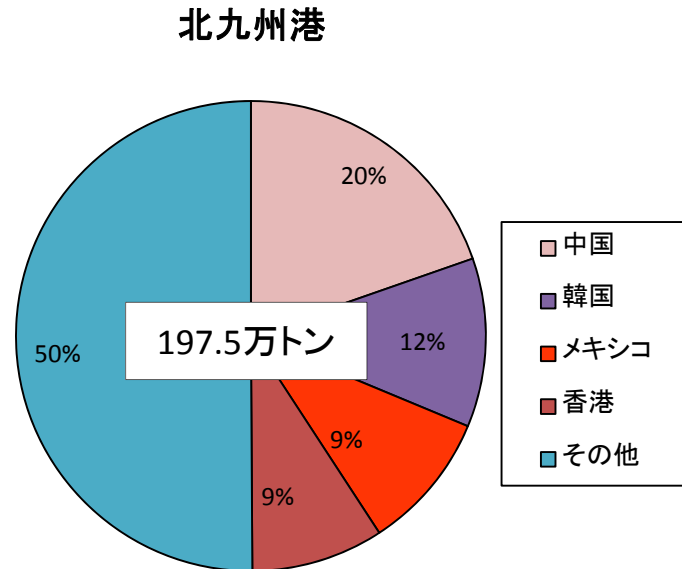
※稚内～長崎の国際拠点港湾、重要港湾(離島除く)について記載

出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

※日本海側港湾は、稚内～長崎としている。

# 鋼材輸出の状況

## ●鋼材取扱貨物量(輸出)上位港の仕向国の割合(2008年)



※取扱貨物量上位5港(日本海側)のうち、  
取扱貨物量10万トン以上の港湾について記載。

出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

●北九州港の背後圏に鉄鋼メーカーが立地。

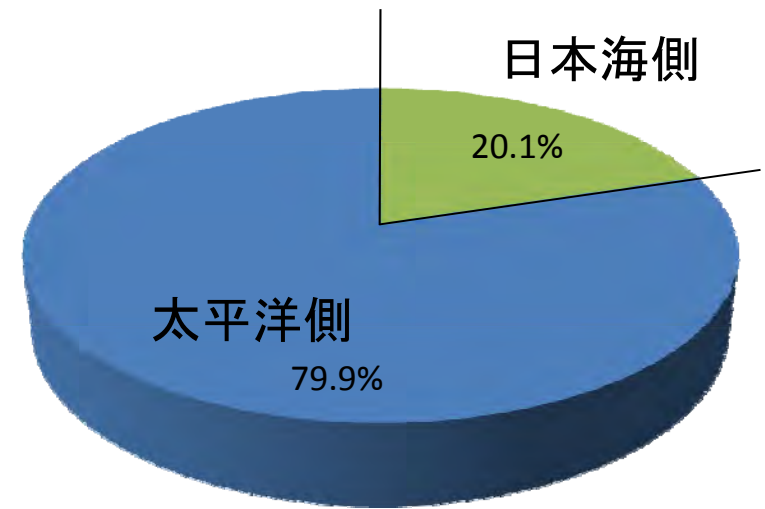
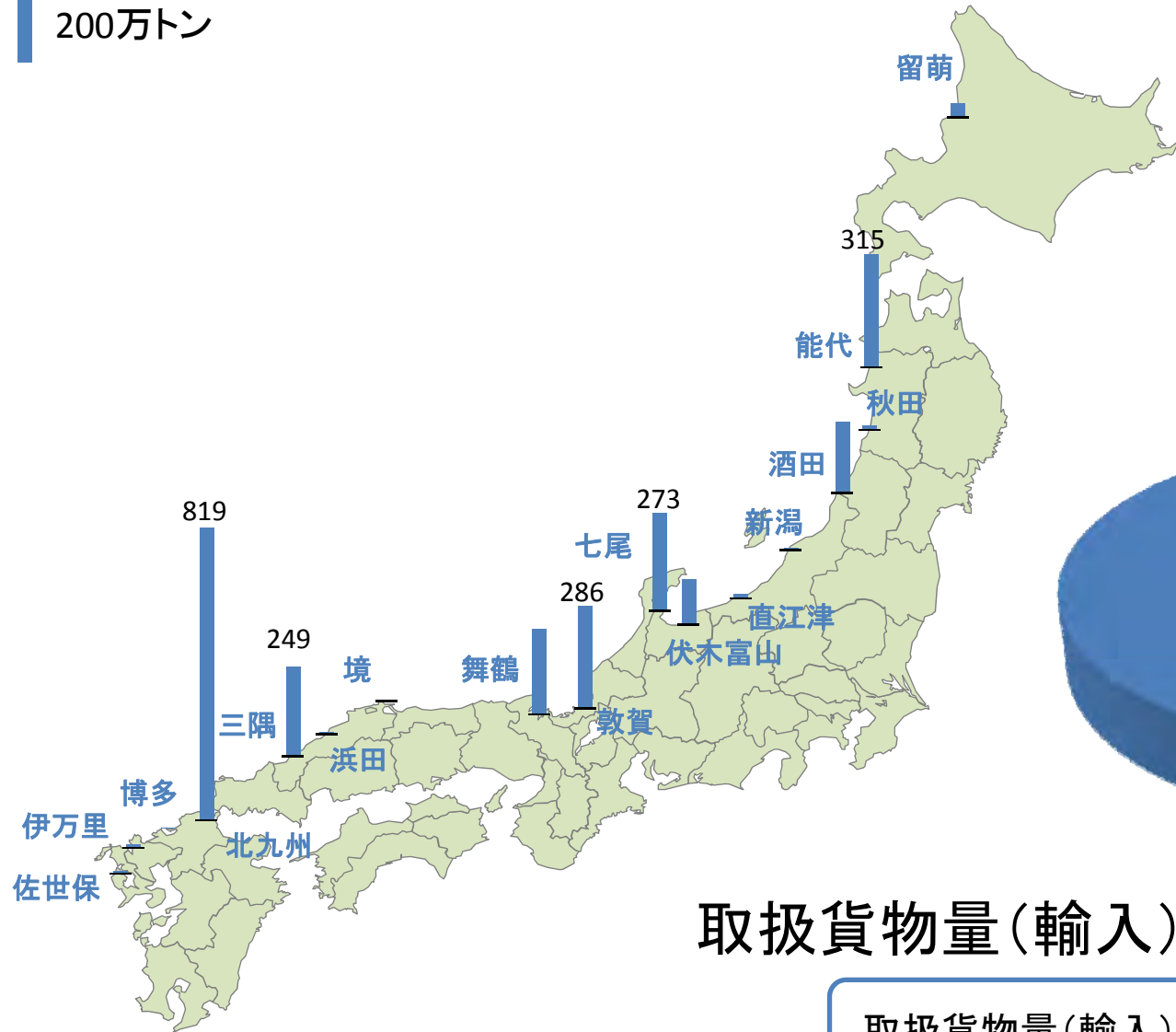
# 石炭の取扱貨物量(輸入)(2008年)

数字(上位5港):石炭の取扱貨物量(輸入)(万トン)

石炭の取扱貨物量(輸入)  
ランキング(2008)

200万トン

順位	港名	貨物量(万トン)
1	衣浦	1,008
2	福山	871
3	北九州	819
4	木更津	759
5	鹿島	744



取扱貨物量(輸入)(全国):18,283万トン

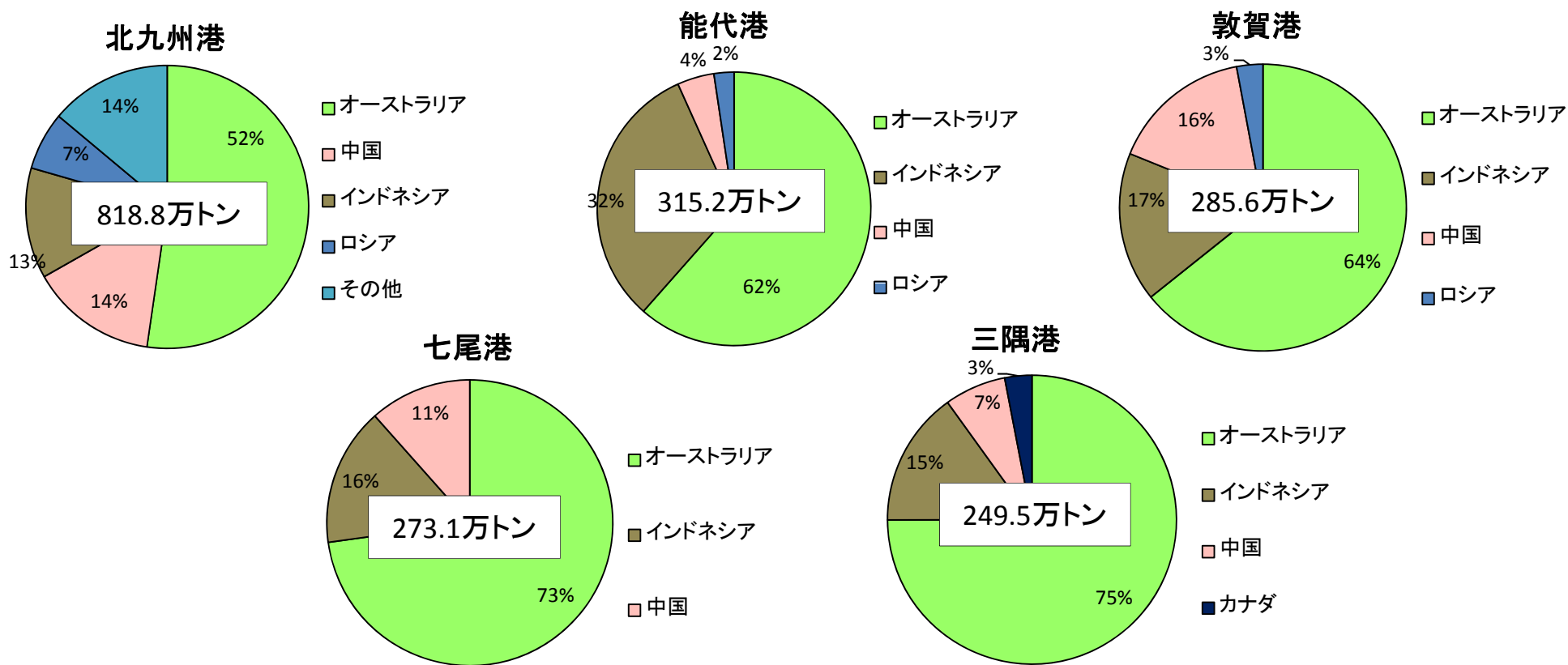
取扱貨物量(輸入)(日本海側港湾):3,637万トン

※稚内～長崎の国際拠点港湾、重要港湾(離島除く)について記載  
出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

※日本海側港湾は、稚内～長崎としている。

# 石炭輸入の状況

## ●石炭取扱貨物量(輸入)上位港の仕出国の割合(2008年)



※取扱貨物量上位5港(日本海側)のうち、取扱貨物量10万トン以上の港湾について記載。

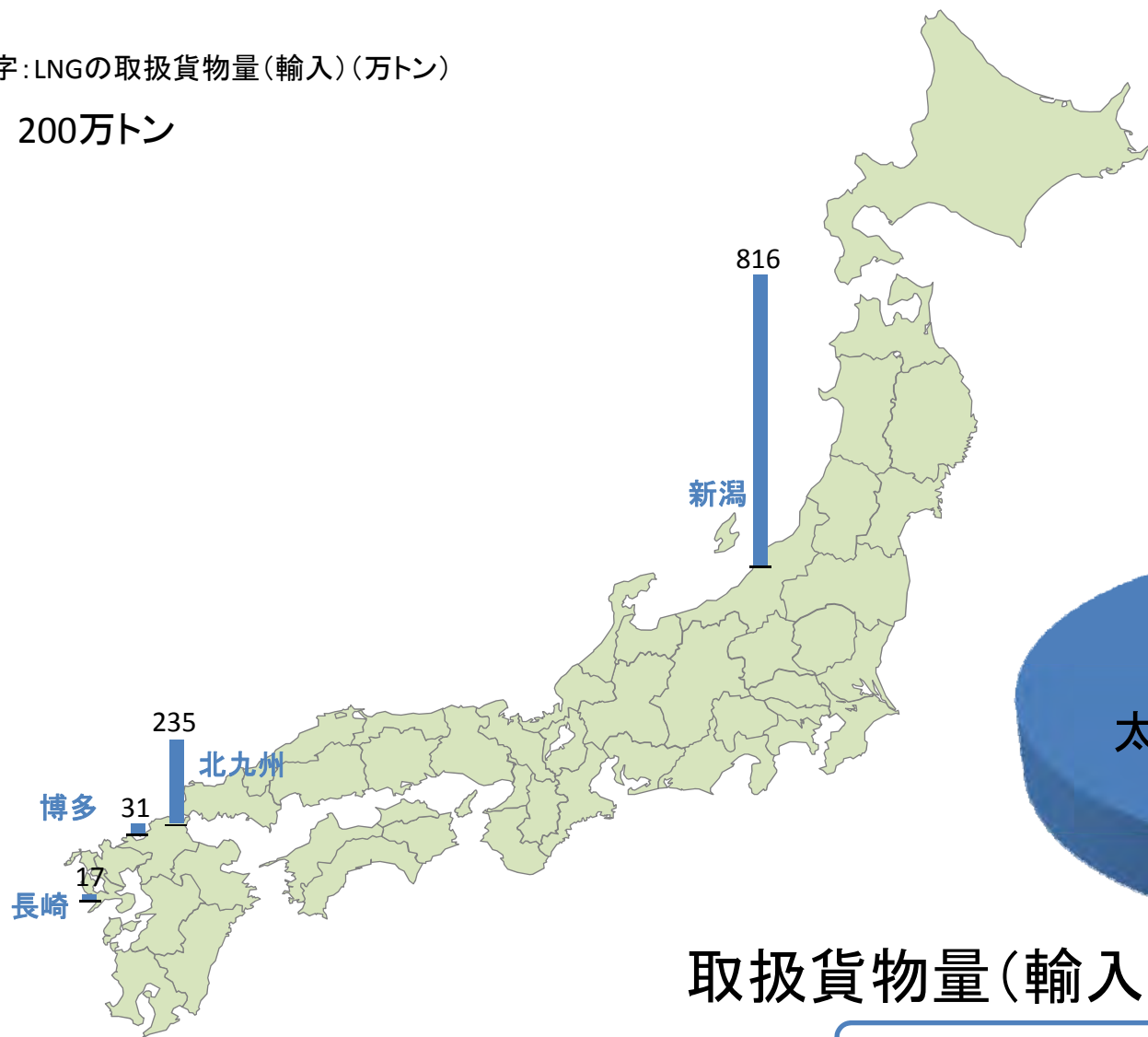
出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

- 北九州港の背後圏に、鉄鋼メーカーが立地。
- 能代港、敦賀港、七尾港、三隅港の背後圏には、発電所が立地。

# LNG(液化天然ガス)の取扱貨物量(輸入)(2008年)

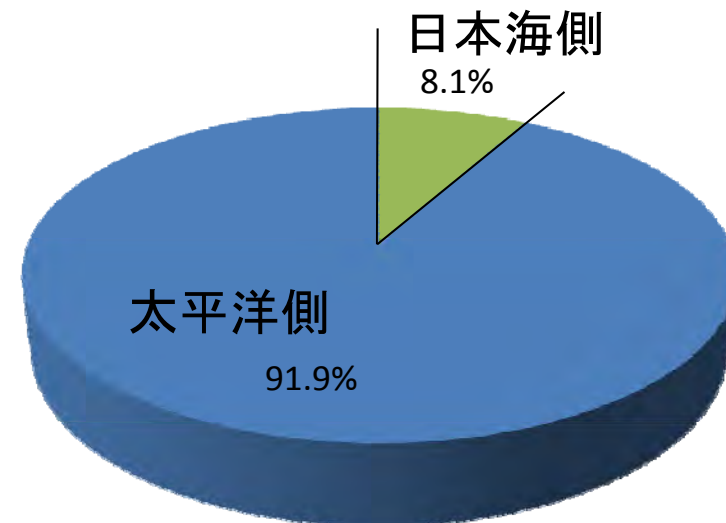
数字:LNGの取扱貨物量(輸入)(万トン)

200万トン



LNGの取扱貨物量(輸入)  
ランキング(2008)

順位	港名	貨物量(万トン)
1	千葉	2,550
2	名古屋	2,045
3	木更津	1,985
4	川崎	1,341
5	姫路	1,252
:	:	:
8	新潟	816



取扱貨物量(輸入)(全国): 13,597万トン

取扱貨物量(輸入)(日本海側港湾): 1,099万トン

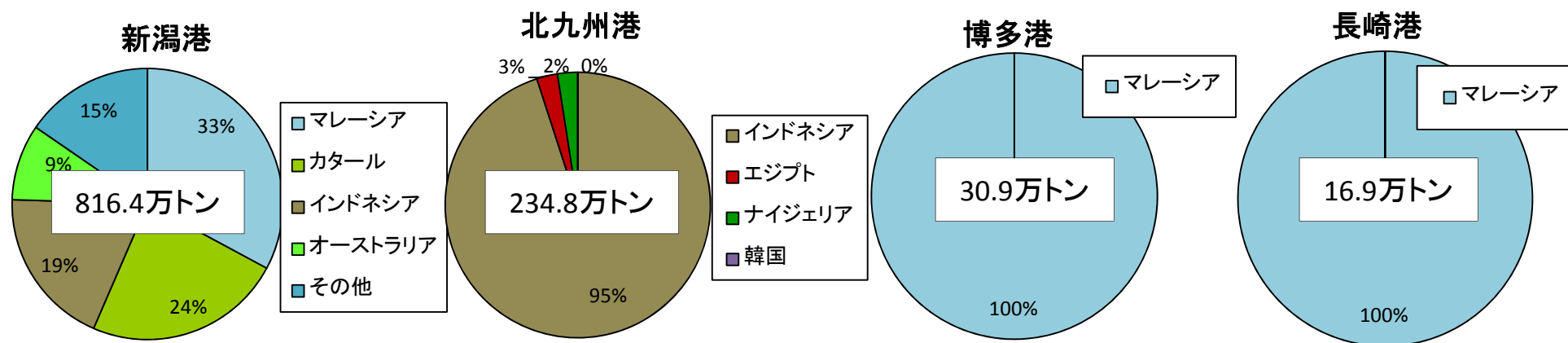
※稚内～長崎の国際拠点港湾、重要港湾(離島除く)について記載

出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

※日本海側港湾は、稚内～長崎としている。

# LNG輸入の状況

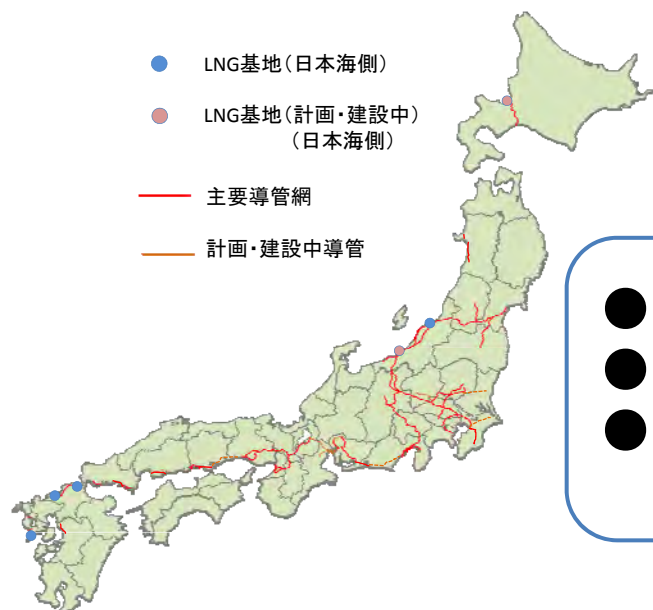
## ●LNG取扱貨物量(輸入)上位港の仕出国の割合(2008年)



※取扱貨物量上位5港(日本海側)のうち、取扱貨物量10万トン以上の港湾について記載。

出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

## ●日本のLNG受入基地・ガスパイプラインの状況



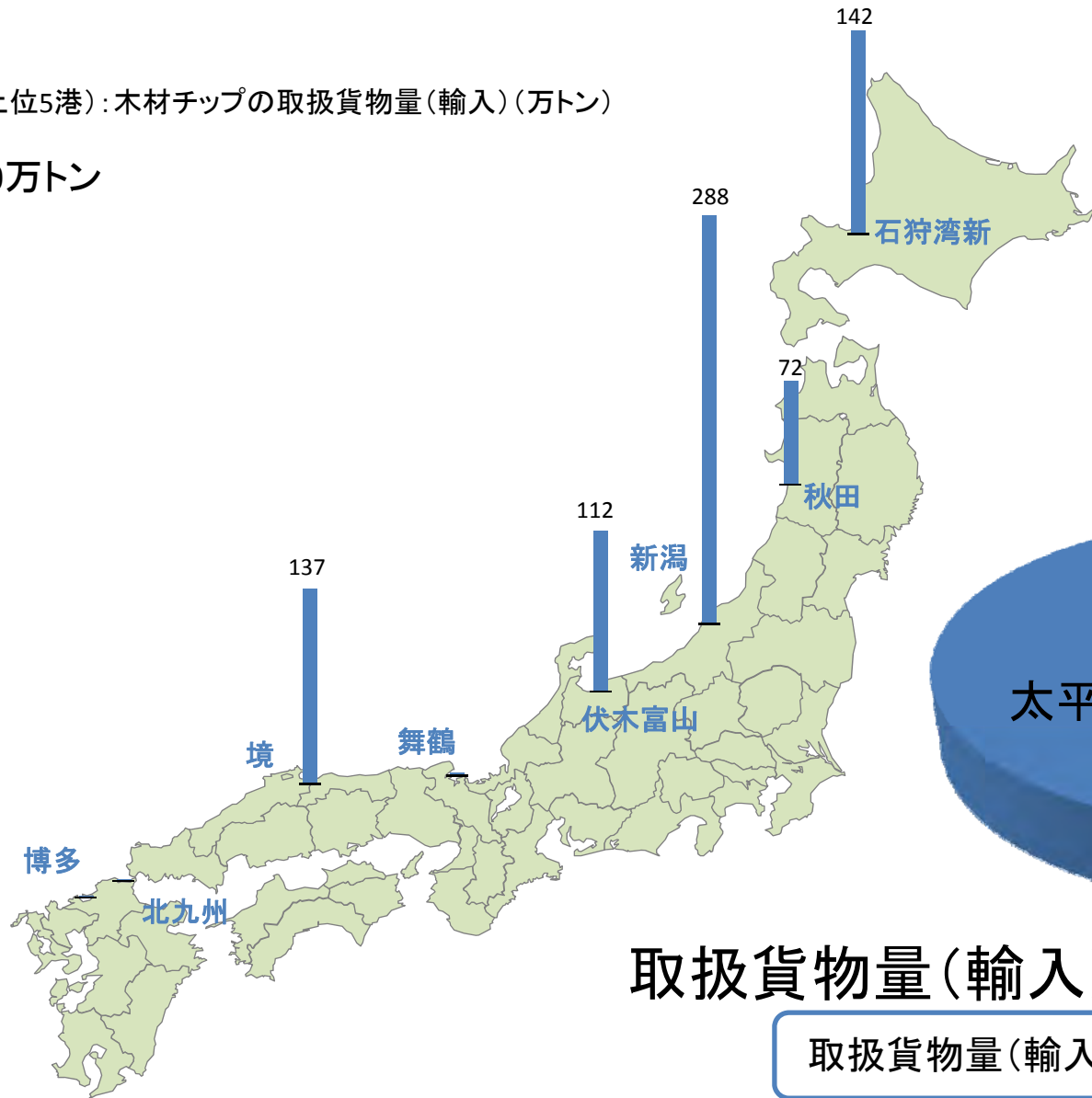
- 新潟港、北九州港、博多港、長崎港にLNG受入基地が立地。
- 現在、直江津港、石狩湾新港に、LNG受入基地を建設中。
- 新潟県から首都圏及び東北地方までガスパイプラインが伸びている。

出典:資源エネルギー庁資料より国土交通省港湾局作成

# 木材チップの取扱貨物量(輸入)(2008年)

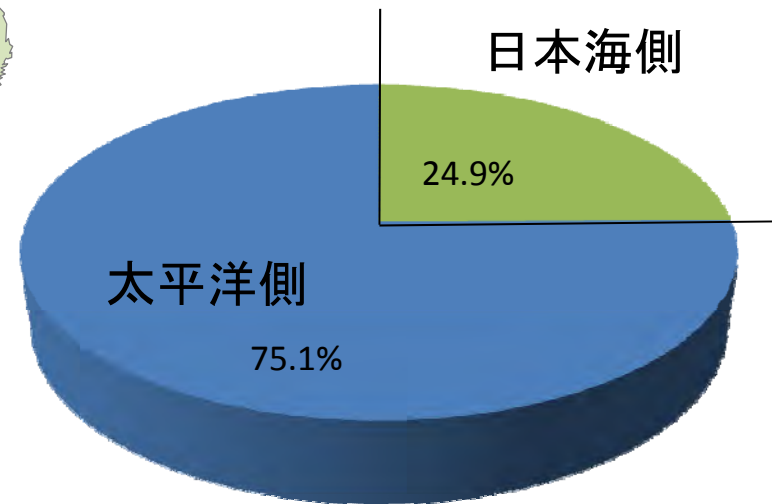
数字(上位5港):木材チップの取扱貨物量(輸入)(万トン)

50万トン



木材チップの取扱貨物量(輸入)  
ランキング(2008)

順位	港名	貨物量(万トン)
1	三島川之江	396
2	新潟	288
3	苫小牧	249
4	釧路	199
5	名古屋	173



取扱貨物量(輸入)(全国):3,031万トン

取扱貨物量(輸入)(日本海側港湾):754万トン

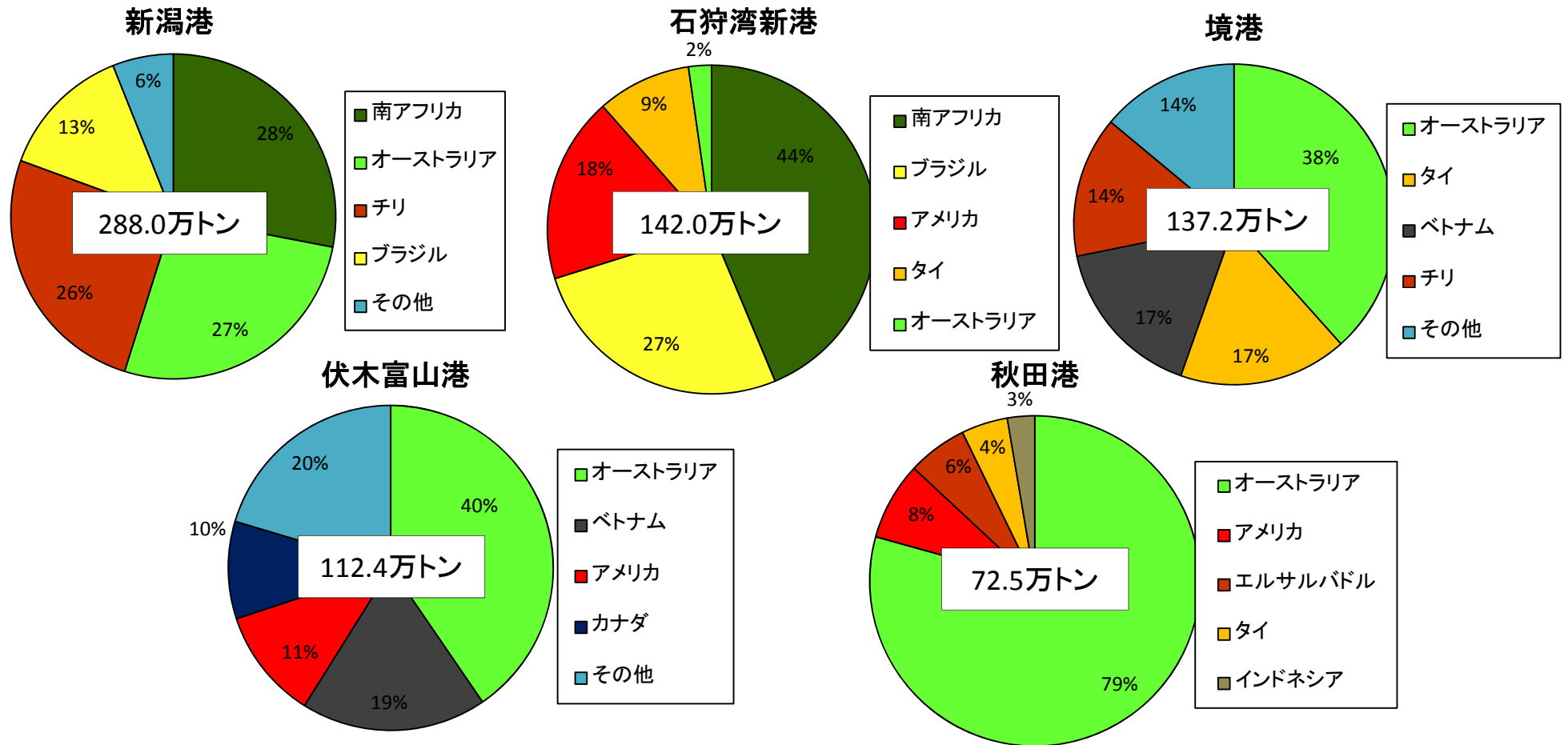
※日本海側港湾は、稚内~長崎としている。

※稚内~長崎の国際拠点港湾、重要港湾(離島除く)について記載

出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

# 木材チップ輸入の状況

●木材チップ取扱貨物量(輸入)上位港の仕出国の割合(2008年)



※取扱貨物量上位5港(日本海側)のうち、取扱貨物量10万トン以上の港湾について記載。

出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

- 取扱量上位港の背後圏には、製紙企業が立地。
- アフリカ、南米、オセアニア方面からの輸入が多い。

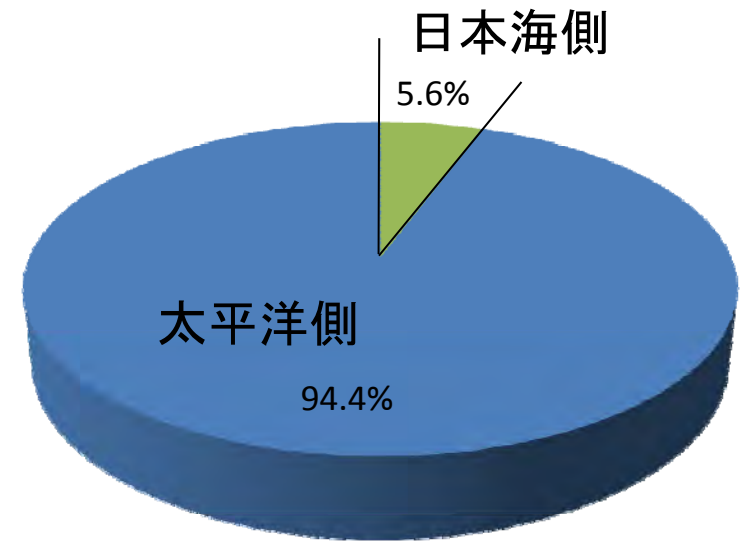
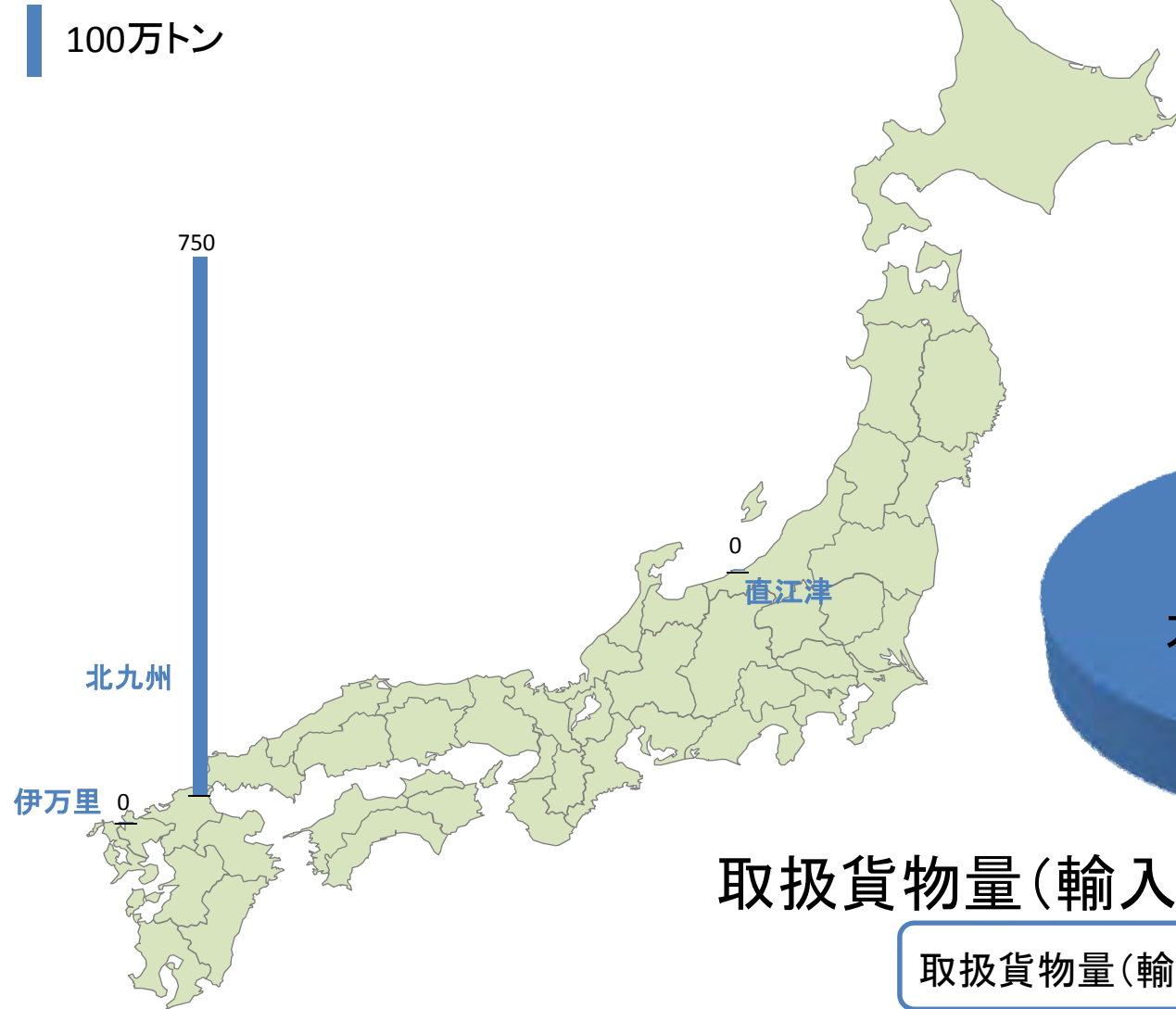


# 鉄鉱石の取扱貨物量(輸入)(2008年)

鉄鉱石の取扱貨物量(輸入)  
ランキング(2008)

順位	港名	貨物量(万トン)
1	水島	1,618
2	福山	1,563
3	木更津	1,537
4	大分	1,356
5	東播磨	1,335
⋮	⋮	⋮
8	北九州	750

数字:鉄鉱石の取扱貨物量(輸入)(万トン)



取扱貨物量(輸入)(全国):13,516万トン

取扱貨物量(輸入)(日本海側港湾):750万トン

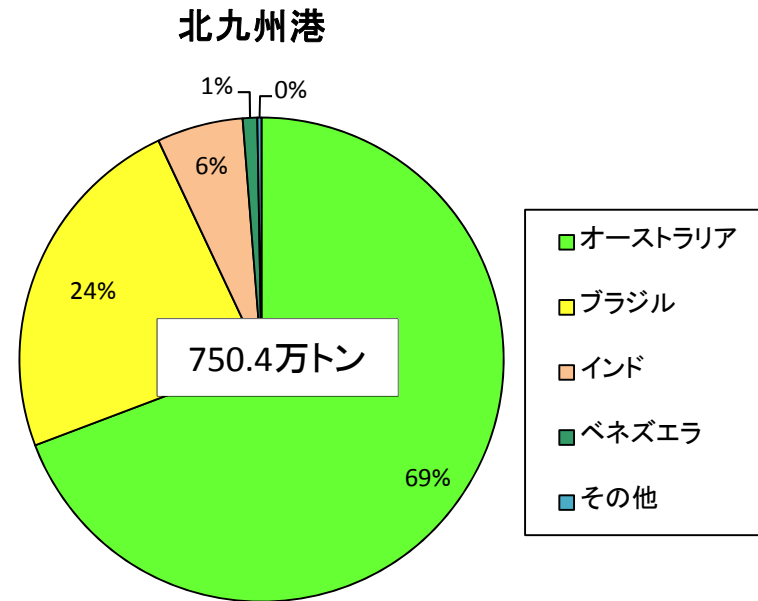
※日本海側港湾は、稚内～長崎としている。

※稚内～長崎の国際拠点港湾、重要港湾(離島除く)について記載

出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

# 鉄鉱石輸入の状況

## ●鉄鉱石取扱貨物量(輸入)上位港の仕出国の割合(2008年)



※取扱貨物量上位5港(日本海側)のうち、  
取扱貨物量10万トン以上の港湾について記載。

出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

- 北九州港の背後圏には、製鉄メーカーが立地。
- オーストラリア、ブラジルからの輸入が多い。

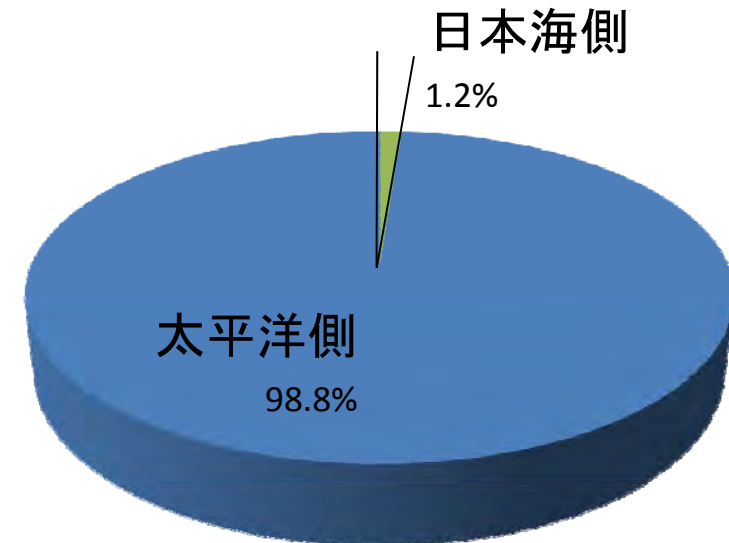
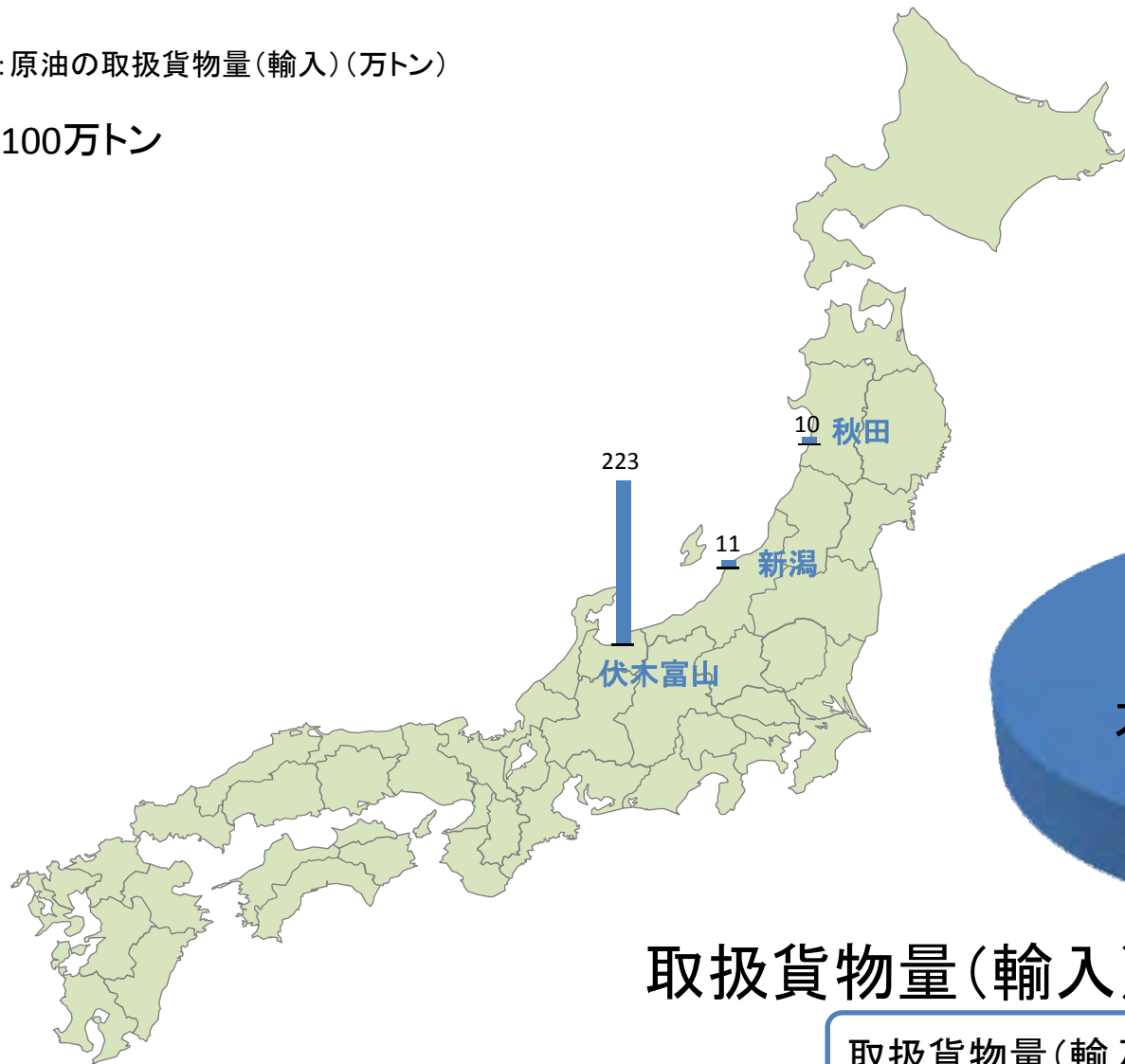
# 原油の取扱貨物量(輸入)(2008年)

原油の取扱貨物量(輸入)  
ランキング(2008)

順位	港名	貨物量(万トン)
1	喜入	3,174
2	千葉	2,867
3	川崎	2,060
4	水島	1,891
5	四日市	1,712
:	:	:
19	伏木富山	223

数字:原油の取扱貨物量(輸入)(万トン)

100万トン



取扱貨物量(輸入)(全国):20,884万トン

取扱貨物量(輸入)(日本海側港湾):244万トン

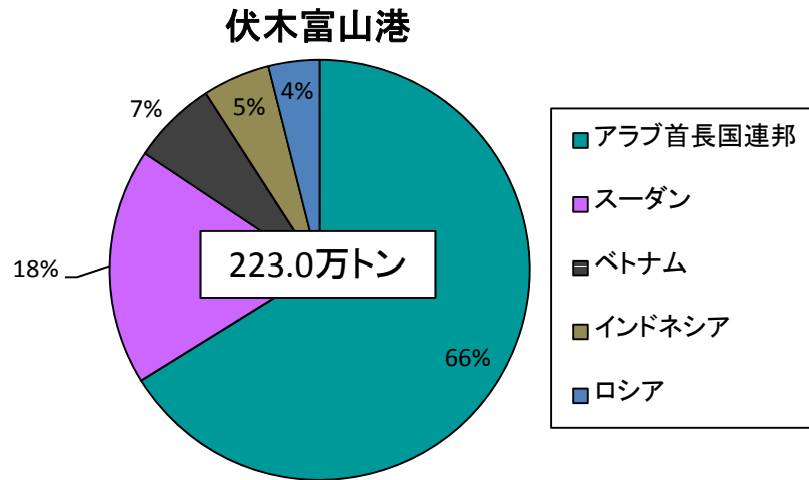
※稚内～長崎の国際拠点港湾、重要港湾(離島除く)について記載

※日本海側港湾は、稚内～長崎としている。

出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

# 原油輸入の状況

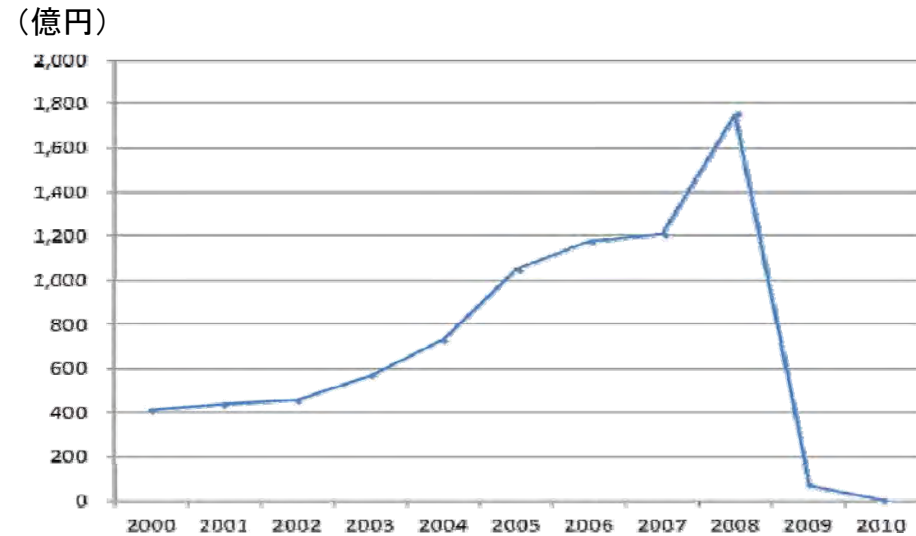
## ●原油取扱貨物量(輸入)上位港の仕出国の割合(2008年)



出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

※取扱貨物量上位5港(日本海側)のうち、  
取扱貨物量10万トン以上の港湾について記載。

## ●富山税関における原油輸入額の推移



※伏木税関における取扱いは無し。

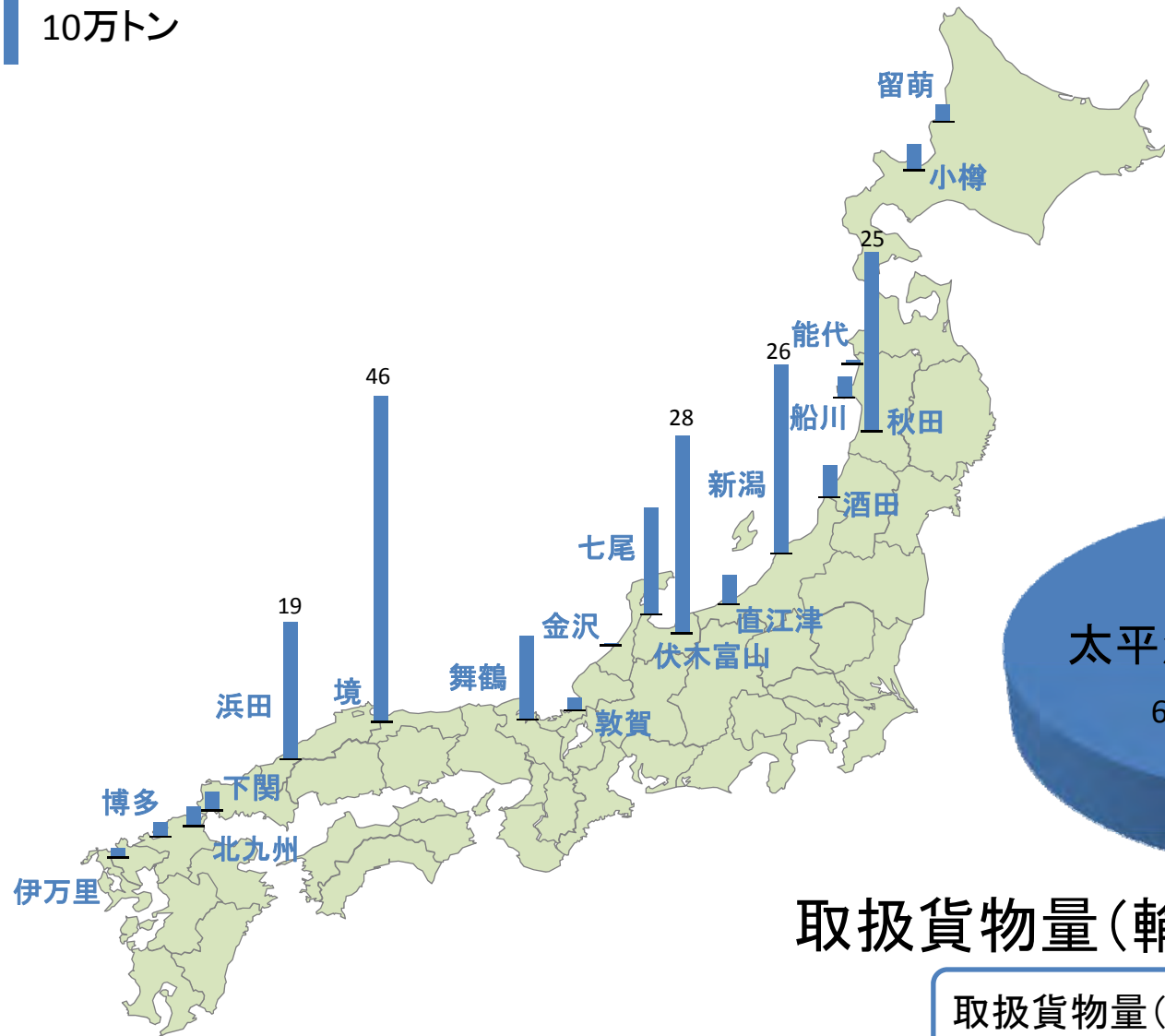
出典:財務省「貿易統計」より国土交通省港湾局作成

●2009年より貨物量減少。

# 原木の取扱貨物量(輸入)(2008年)

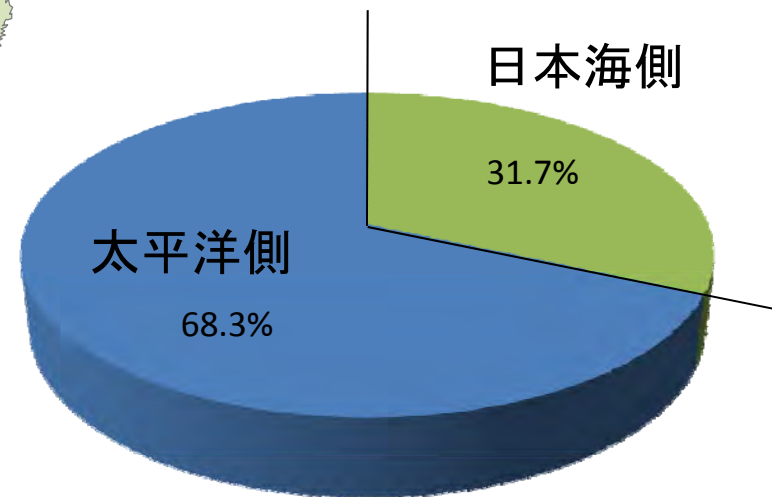
数字(上位5港):原木の取扱貨物量(輸入)(万トン)

10万トン



原木の取扱貨物量(輸入)  
ランキング(2008)

順位	港名	貨物量(万トン)
1	呉	128
2	境	46
3	尾道系崎	45
4	三河	43
5	石巻	32



取扱貨物量(輸入)(全国):635万トン

取扱貨物量(輸入)(日本海側港湾):202万トン

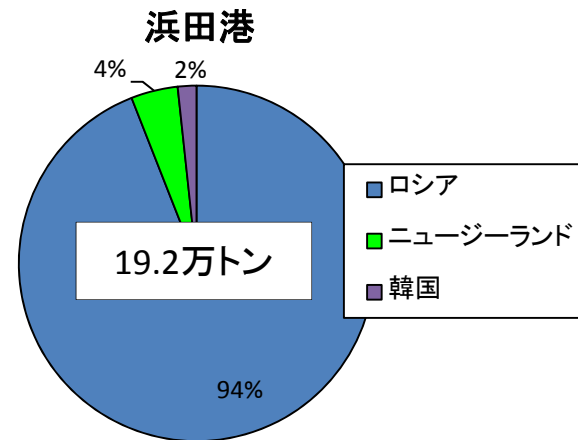
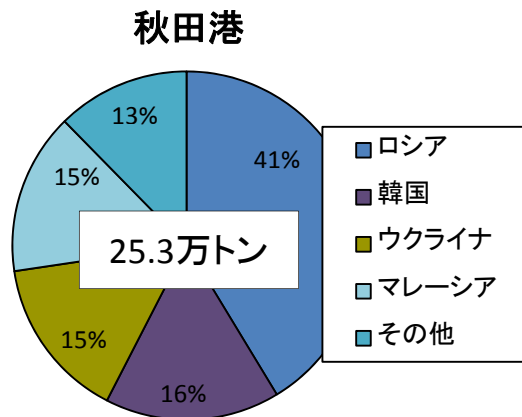
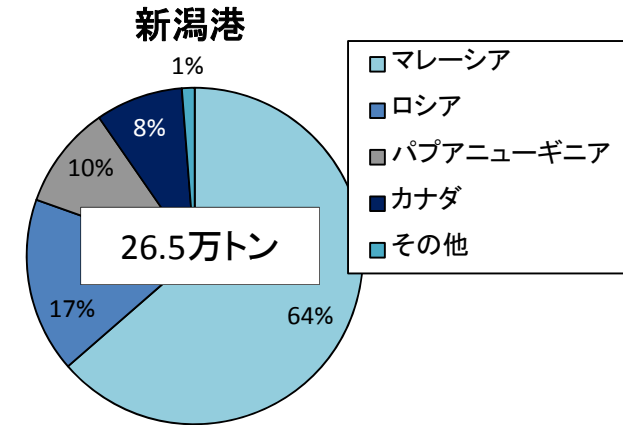
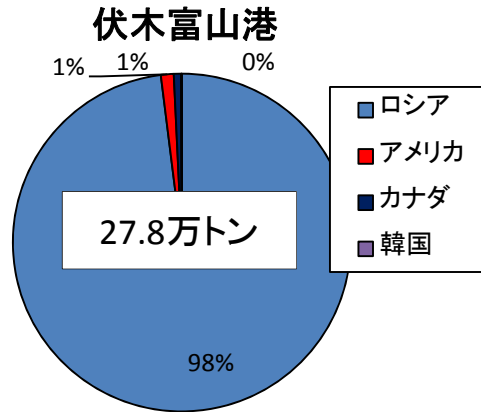
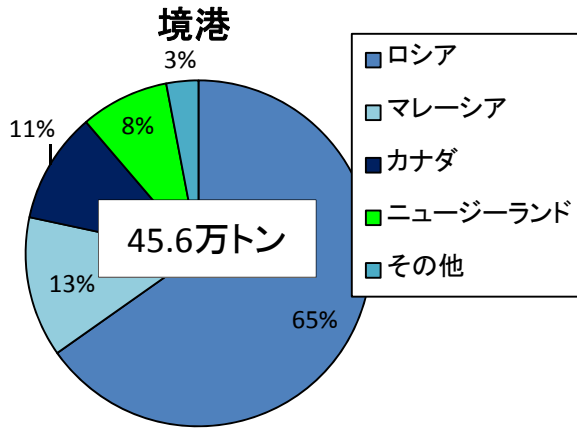
※日本海側港湾は、稚内～長崎としている。

※稚内～長崎の国際拠点港湾、重要港湾(離島除く)について記載

出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

# 原木輸入の状況

●原木の取扱貨物量(輸入)上位港の仕出国の割合(2008年)



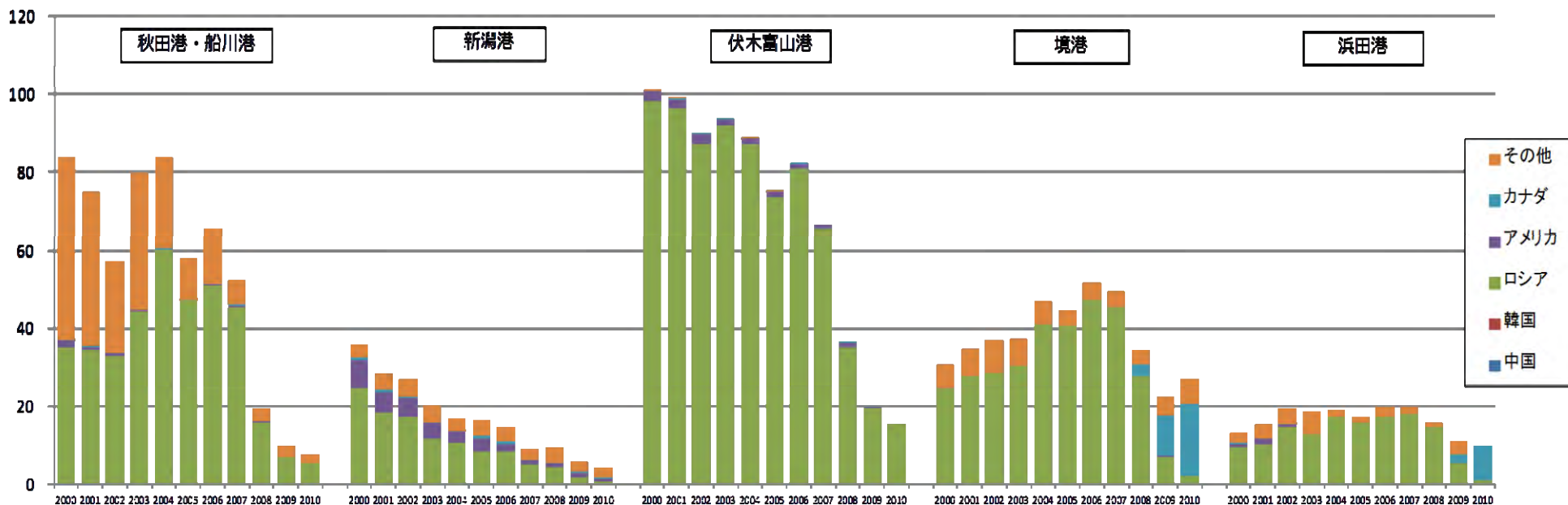
※取扱貨物量上位5港(日本海側)のうち、取扱貨物量10万トン以上の港湾について記載。

出典:「港湾統計(年報)2008年」より国土交通省港湾局作成

# 原木輸入の状況

## ●原木輸入量の推移(相手国別)(2000～2010年)

(万立方メートル)



※取扱貨物量上位5港(日本海側)のうち、  
取扱貨物量10万トン以上の港湾について記載  
※伏木富山港は、伏木税関、富山税関の合計値  
※秋田港・船川港は、秋田船川税関の値  
※貿易統計における概況品目-丸太で記載

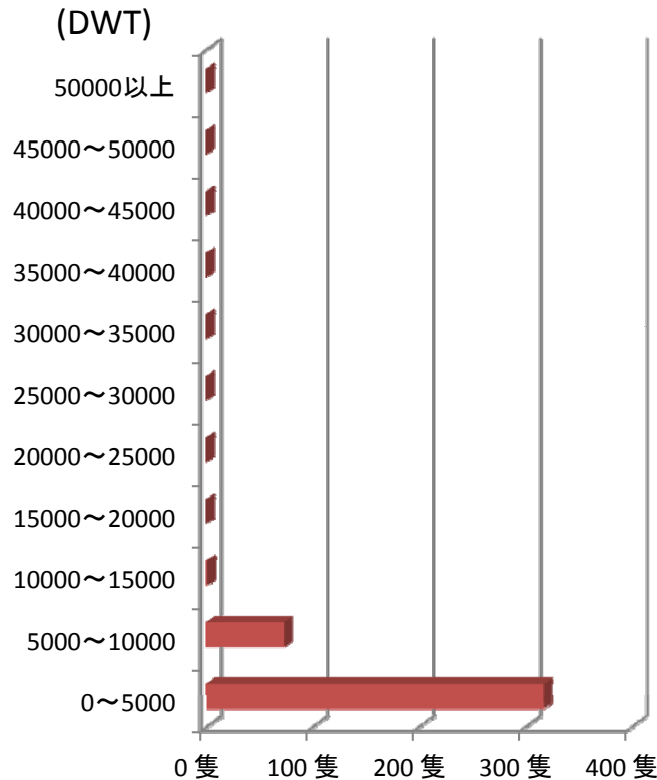
出典:財務省「貿易統計」より国土交通省港湾局作成

- 日本海側港湾では、ロシア産の北洋材の輸入が多い状況。
- 2008年以降ロシアからの輸入量が減少。
- 一部の港で、北米材へのシフトが見られる。

# 原木運搬船の状況(2008年)

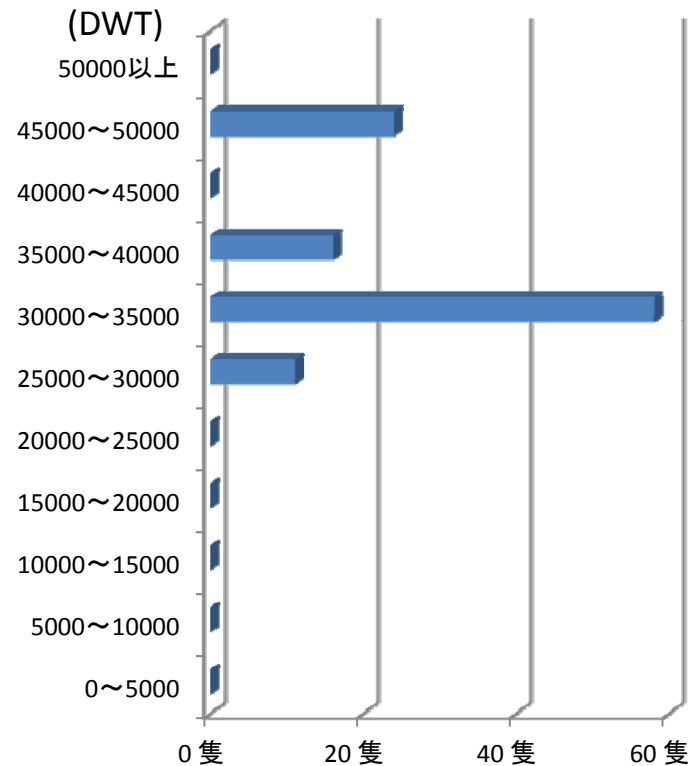
●北米材は、ロシア産の北洋材に比べて大型の運搬船にて輸送されている。

原木運搬船の分布(トン数別)(ロシア)



※ロシア仕出しの  
原木取扱貨物量上位5港のデータ  
上位5港: 境港、石巻港、伏木富山港、  
浜田港、七尾港

原木運搬船の分布(トン数別)(北米)

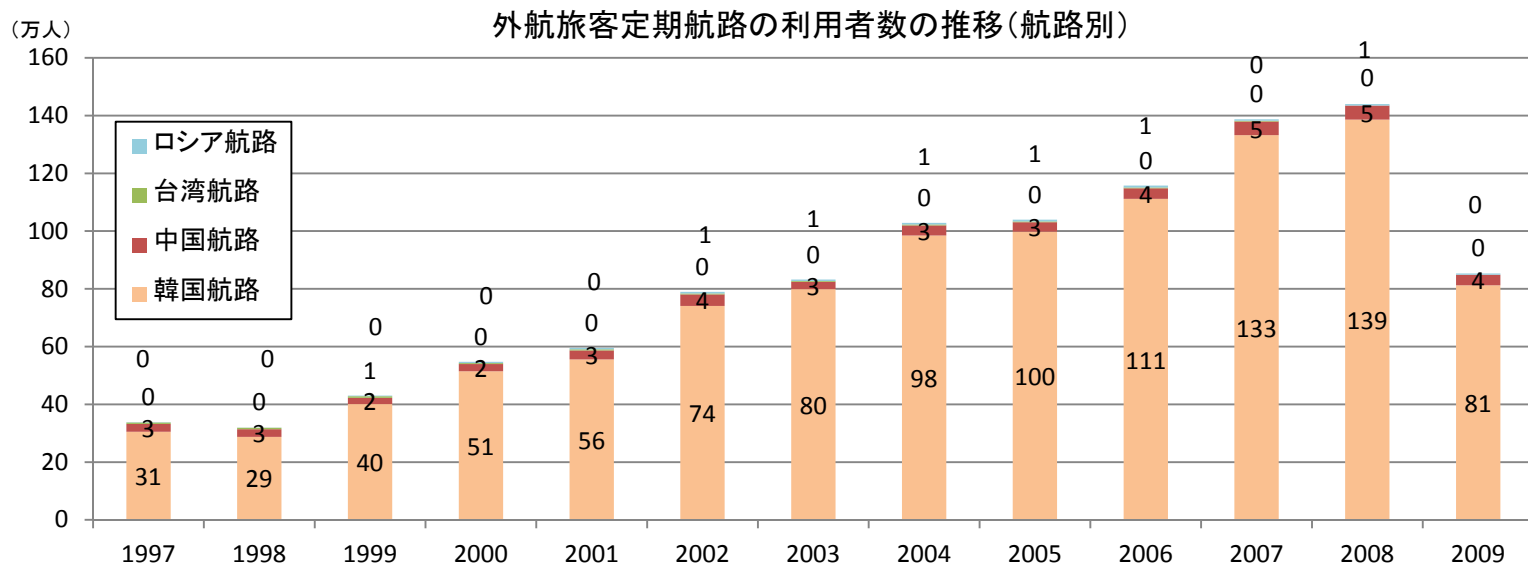
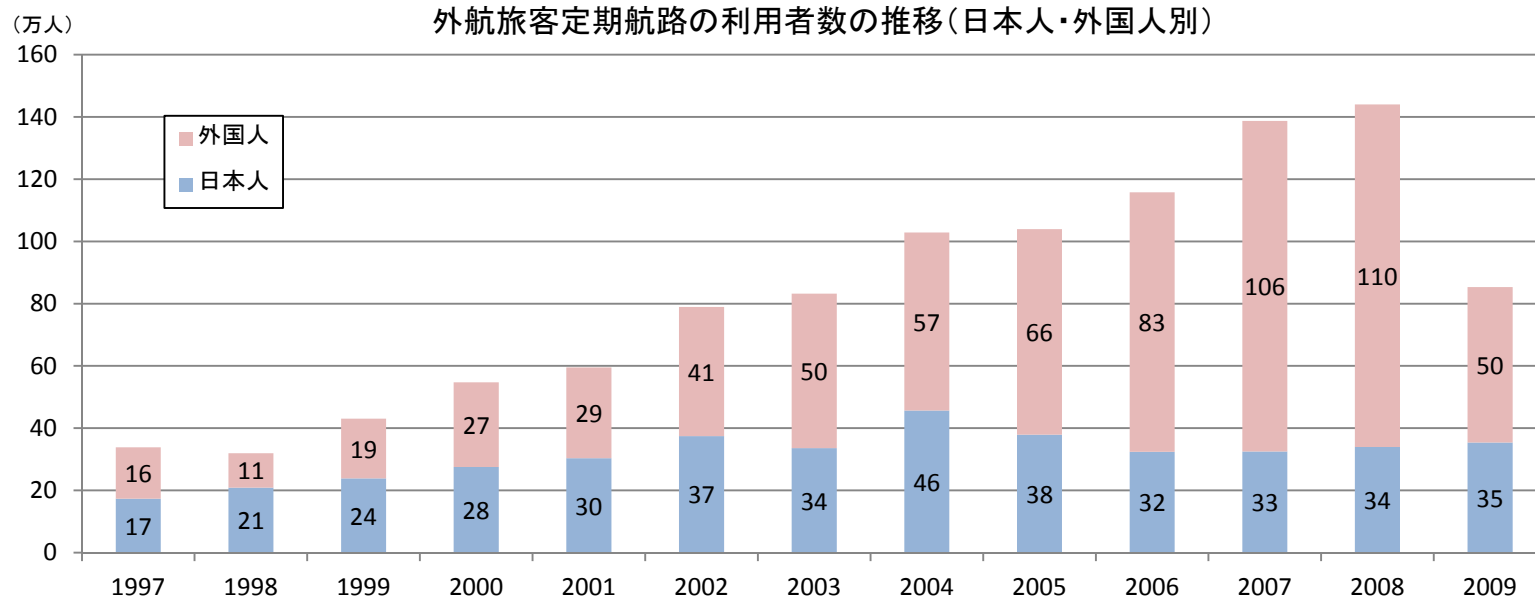


※北米(カナダ、アメリカ)仕出しの  
原木取扱貨物量上位5港のデータ  
上位5港: 呉港、尾道系崎港、鹿島港、  
岩国港、松山港



# 国際旅客の状況

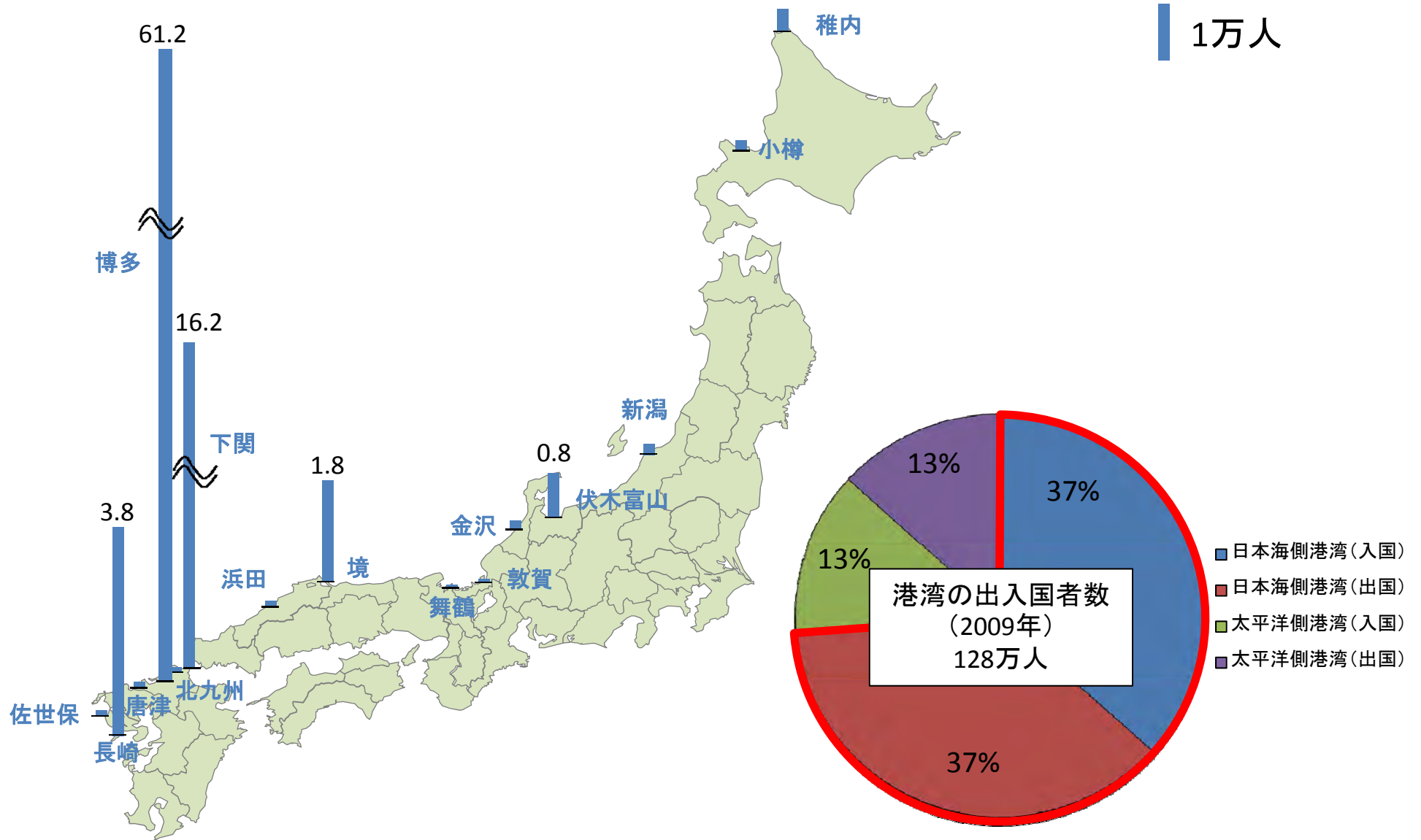
# 外航旅客定期航路の輸送人員数の推移



※船社へのアンケートによる。

# 日本海側港湾の出入国者数

数字(上位5港): 出入国者数(万人)

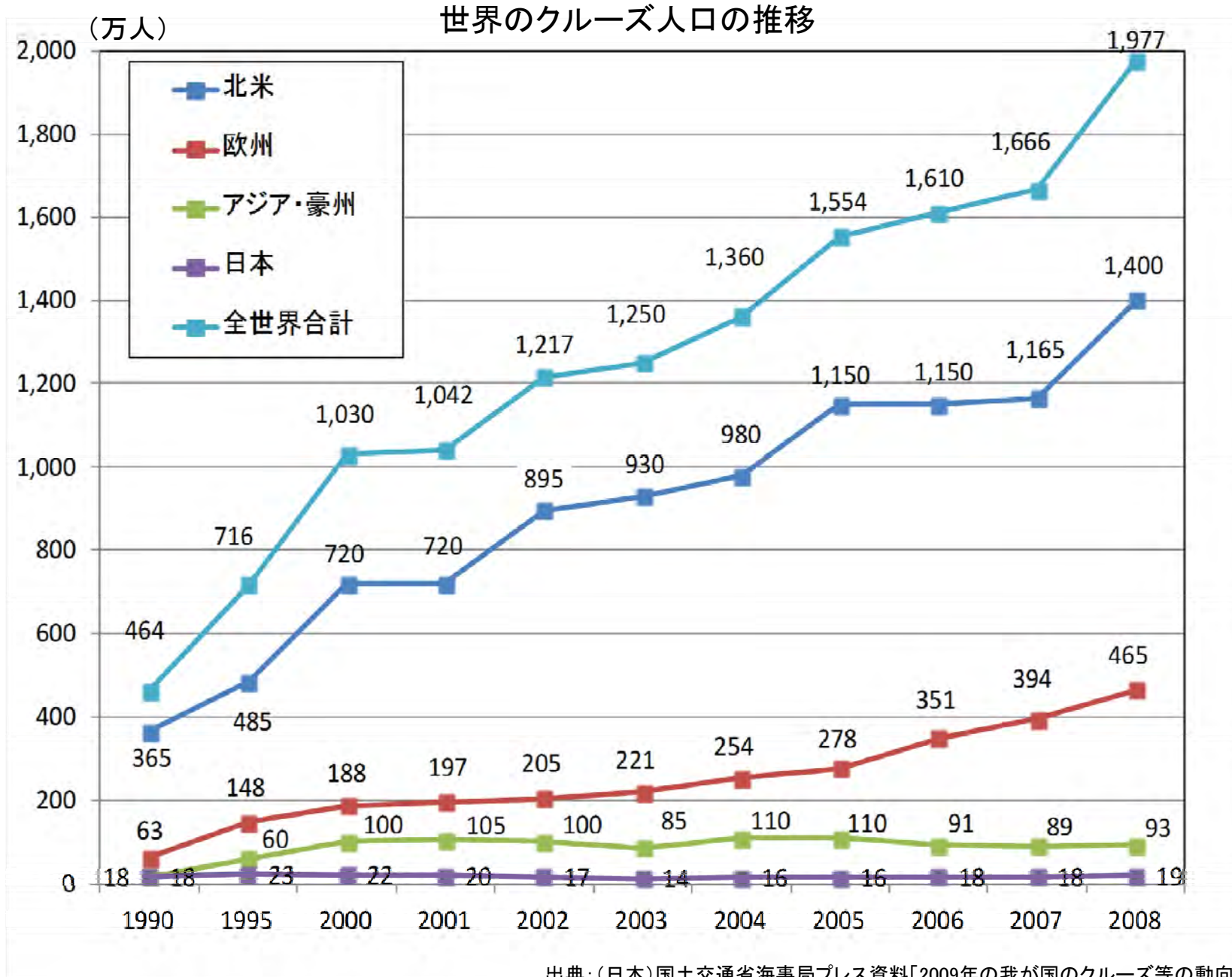


※日本海側港湾は、稚内～長崎としている。

※出入国者数100人以上の港湾を記載。

出典: 法務省「出入国管理統計」より国土交通省港湾局作成

# 増大する世界のクルーズ需要

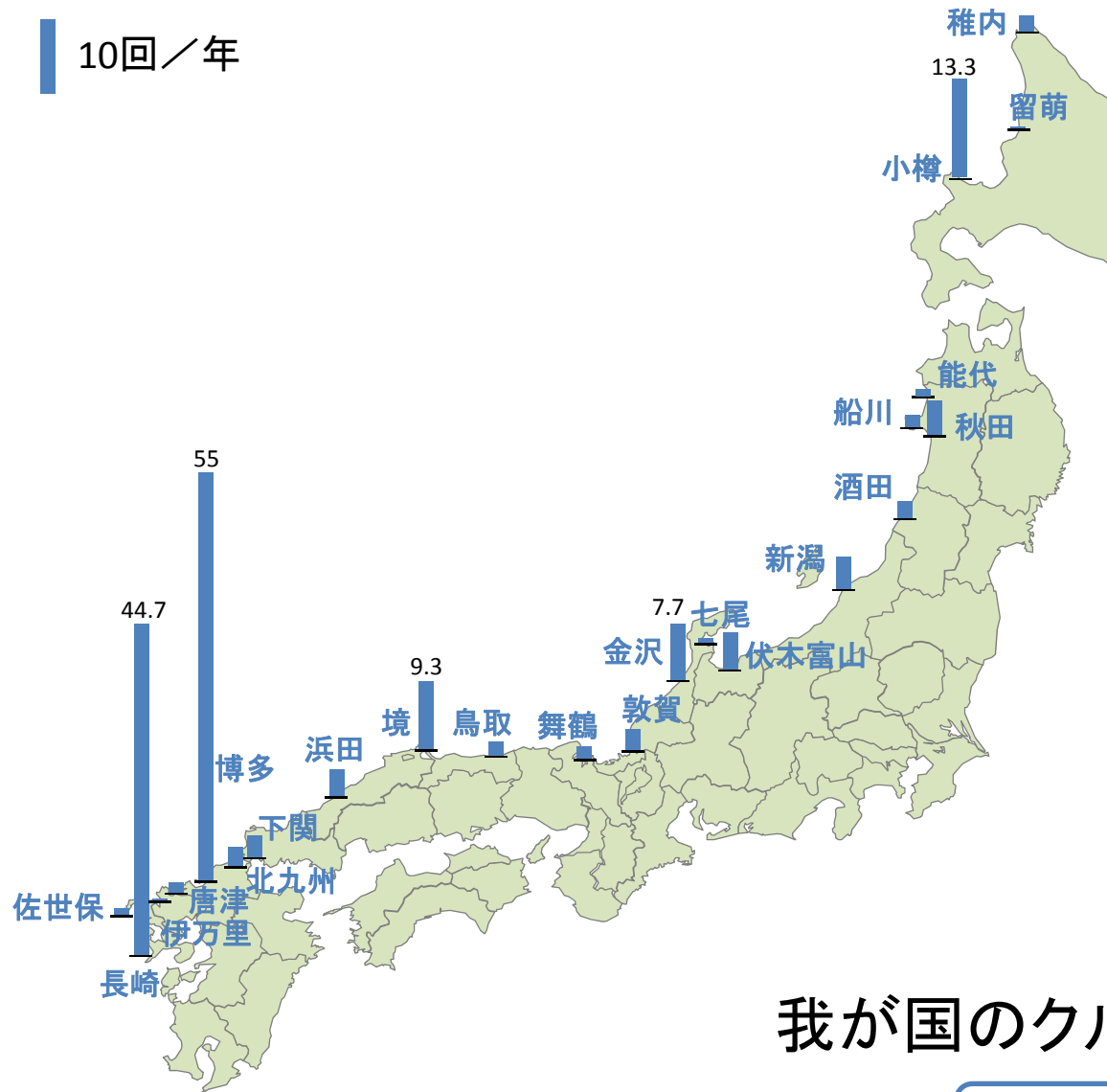


出典：(日本)国土交通省海事局プレス資料「2009年の我が国のクルーズ等の動向について」  
 (日本以外)Douglas Ward “Complete Guide to Cruising & Cruise Ships”

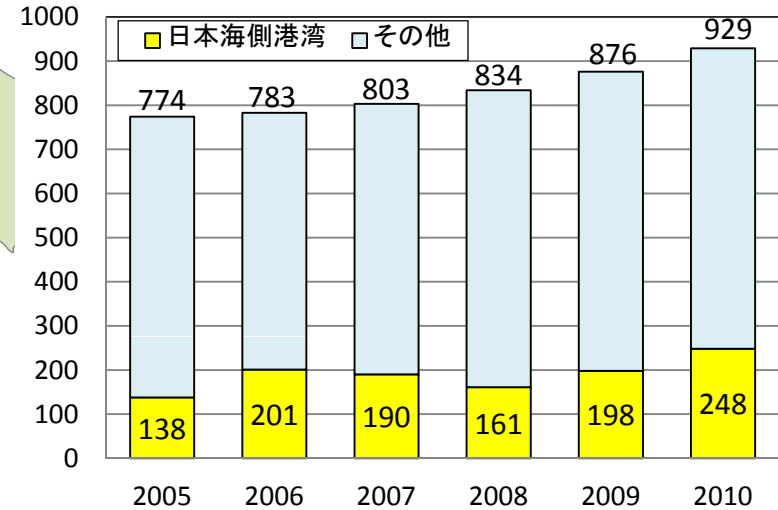
# クルーズ船の寄港回数(2008~2010年)

数字(上位5港):クルーズ船の寄港回数(過去3年間(2008~2010年)の年平均)

10回/年



クルーズ船の寄港回数推移



クルーズ船の寄港回数ランキング

2009年

順位	港名	回数
1	横浜	127
2	神戸	93
3	那覇	57
4	長崎	49
5	博多	46

2010年

順位	港名	回数
1	横浜	122
2	神戸	103
3	博多	84
4	長崎	54
5	鹿児島	52
5	那覇	52

我が国のクルーズ船寄港回数 880回/年

日本海側港湾の寄港回数: 202回/年

※稚内~長崎の国際拠点港湾、重要港湾(離島除く)について記載

出典: 港湾管理者からの聞き取り調査結果を基に国土交通省港湾局作成

※日本海側港湾は、稚内~長崎としている。

# 東日本大震災における 日本海側港湾の状況

# 港湾を活用した緊急物資(燃料油等)輸送の状況

発災直後

発災10日後

発災10日後以降

日本海側港湾  
を活用した緊急輸送

太平洋側港湾  
への緊急輸送開始

太平洋側港湾の順次復  
旧



# 震災時に太平洋側港湾の代替機能を果たした事例

